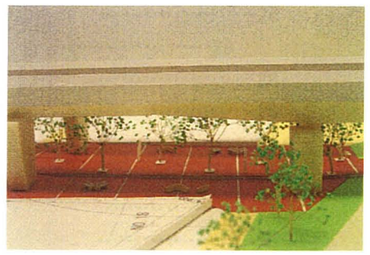
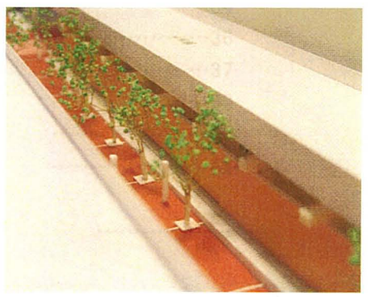
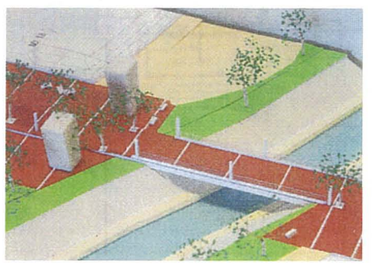
# 港北中央地区
# 港北ニュータウン１４号線歩行者専用道路デザイン他設計業務

## 報　告　書









平成１５年３月

都市基盤整備公団　神奈川地域支社
横　浜　北　部　開　発　事　務　所

株式会社　山手総合計画研究所

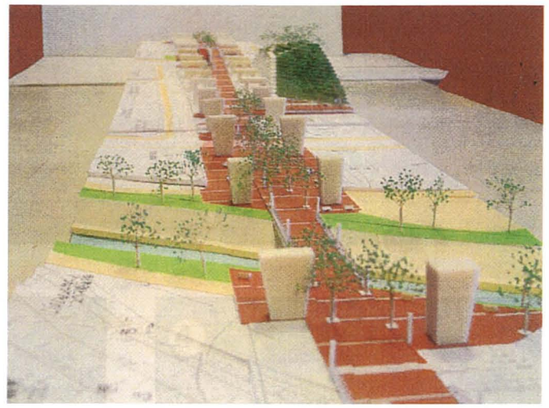
# １．全体図・目次



本業務は、平成14年12月の「港北中央地区　歩行者空間エリア整備計画策定業務」においてまとめられている港北コリドーの整備コンセプトおよび鉄道用地（市営地下鉄３号線・４号線高架下の空間）の土地利用区分の成果を受け、港北コリドーの総合デザインイメージを検討するとともに各部詳細設計に向けた基本的なデザインを設計するものである。

なお、作業にあたっては、港北コリドーの今後の維持・管理に関する調整等も必要なことから、発注者である都市基盤整備公団神奈川地域支社横浜北部開発事務所に加え、横浜市道路局、横浜市交通局、横浜市都市計画局北部開発課、都筑区役所の各担当者を交えた全体の調整会議をおこなっており、本報告書はその会議を経て取りまとめられている。

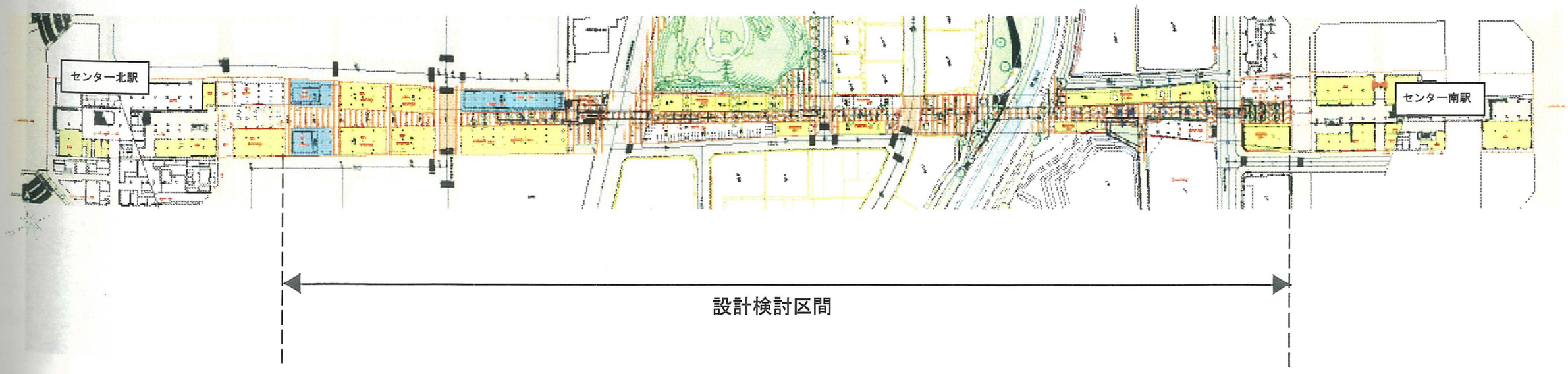
平成15年３月



１．全体図・目次 …… 1
２．計画コンセプト …… 2
３．コリドー総合計画の検討 …… 3
　３－１．平面図①～⑦ …… 3
　３－２．断面図①～⑧・縦断図①～⑥ …… 11
４．舗装計画 …… 24
　４－１．基本的なデザイン方針 …… 24
　４－２．舗装材の比較 …… 25
　４－３．舗装標準平面図 …… 26
５．照明計画 …… 28
　５－１．基本的な配置およびデザインの方針 …… 28
　５－２．照明器具の検討 …… 29
　５－３．照度分布の想定 …… 31
６．植栽計画 …… 32
　６－１．樹種の選定および基本的な配置の方針 …… 32
　６－２．植栽の候補 …… 33
７．高欄デザインと照明・擁壁との関係検討 …… 34
８．雨水排水計画 …… 36
９．ストリートファニチュア等のデザイン計画 …… 37
10．歩道橋デザイン計画 …… 38
11．コリドー魅力活性化への提案事項 …… 41
12．概算工事費 …… 42

参考資料　港北コリドー全体模型による検討 …… 43

■港北コリドーの全体



## 港北センター基幹空間整備計画

**1. 基幹空間とは**　・南北ペデとその両側の鉄道用地及びそれに隣接する公共用地のセットで構成される空間。

**2. 基幹空間の整備コンセプト**

### 「港北セントラル・コリドー」

・港北タウンセンター地区の北・中央・南地区を貫き３地区を連携・一体化する都市軸。
・港北センターの４つのシンボリックなオープンスペースである北地区のシンボル広場、中央地区の近隣公園、早渕川河川広場、南地区のシンボル広場を結ぶ800ｍの歩行者空間。

### 3. コリドーの空間構造的特性

・南北、中央の３つのセンターゾーンを直接結ぶ唯一の歩行者空間。

・平面的には一直線の長さ800ｍの歩行者空間。

・両側を鉄道高架構造物に挟まれた幅８ｍの空間。
両側に10ｍ内外の鉄道用地が接する。

・縦断的には１／15のスロープのアップダウンの連続する道。

・早渕川の橋が一番低いレベル、南北の駅の上のコンコースが一番高いレベル。

### 4. コリドーの整備方針

・鉄道用地は鉄道事業に必要な施設・空間以外の場所は歩行者空間や公共公益施設等に活用してコリドーの利便性・快適性を向上させる。

・鉄道高架橋下を極力歩行者空間に解放することにより東西方向への動線や視覚的開放感、たまり空間のまとまりを得る。

・高架構造物に挟まれた歩行者空間のうっとうしさを軽減する。

・３つのセンターゾーンを繋いでいることを視覚的にも強調する。

・一直線で早渕川橋梁を最低部とする弓なりの空間の持つビスタを活かす。

### 5. コリドーの整備手法

・高架下空間の土地利用について、沿線の土地利用や接道条件、景観などを考慮してゾーニングを設定する。

・高架下空間の歩行者空間化や造成地盤の高低差を利用により横方向への視界の広がりを確保する。

・コリドーを緑で演出し潤いをつくりだす。

・コリドーのビスタを確保するため、歩行者路内部に配置するストリートファニチュアや植栽は最小限に止める。

・街角広場など節目の空間を特徴づける。

・舗装や照明・ストリートファニチュアを統一する。

・照明のリズミカルな連なりや特徴的な照明で夜景観を演出する。

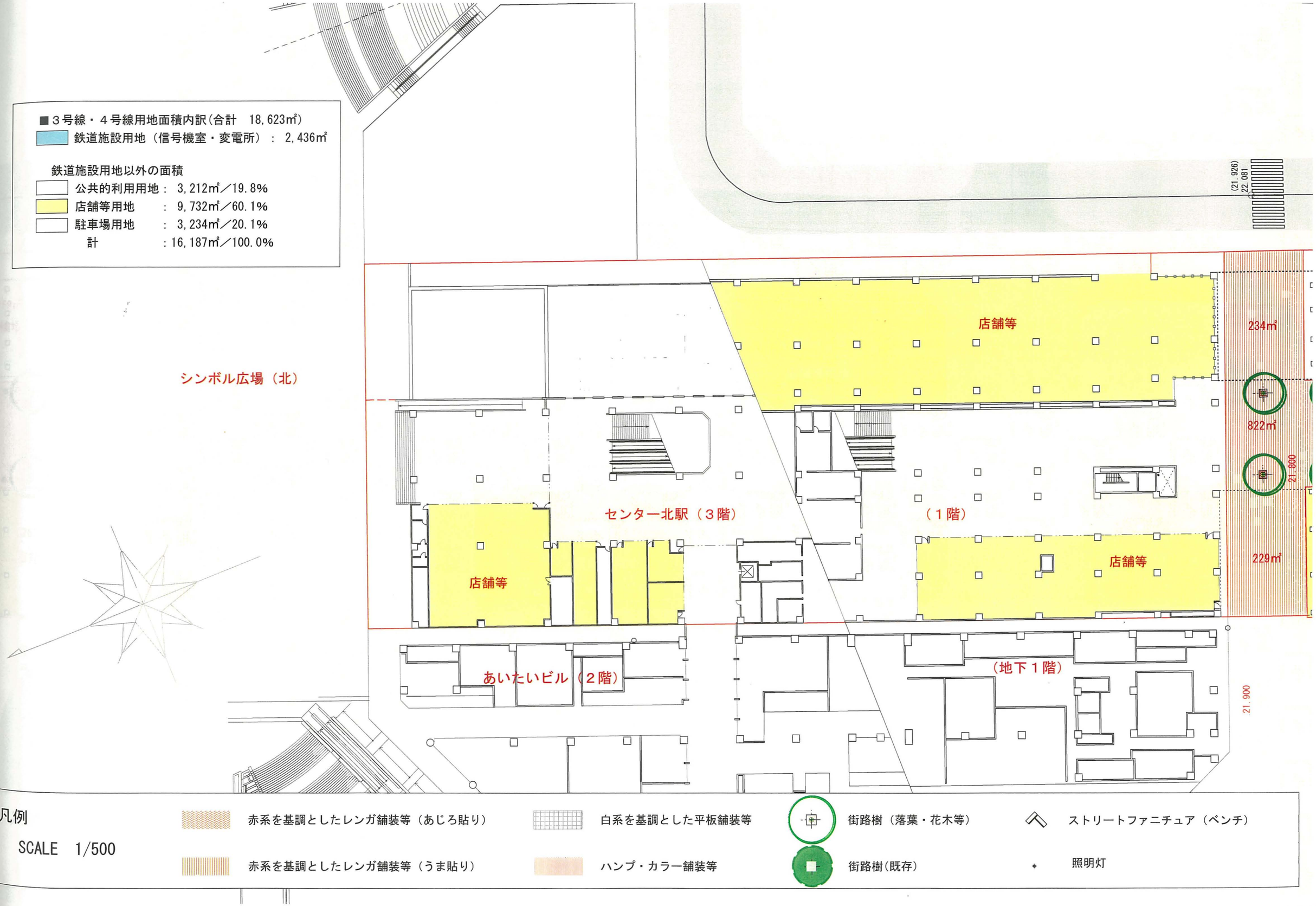
・舗装パターンや照明ポールの列によりビスタを強調するリズムをつくる。

・彫刻などにより、センター空間のコリドーとしての個性を演出する。

・高架下の公共公益施設や鉄道施設のデザイン（形態、壁などの素材や色彩、サインなど）はコリドー全体の雰囲気を醸成するようデザインガイドラインに従って整備する。

■３号線・４号線用地面積内訳（合計　18,623㎡）
鉄道施設用地（信号機室・変電所）：　2,436㎡

鉄道施設用地以外の面積
公共的利用用地：　3,212㎡／19.8%
店舗等用地　　：　9,732㎡／60.1%
駐車場用地　　：　3,234㎡／20.1%
計　　：16,187㎡／100.0%




凡例
SCALE　1/500

赤系を基調としたレンガ舗装等（あじろ貼り）
赤系を基調としたレンガ舗装等（うま貼り）
白系を基調とした平板舗装等
ハンプ・カラー舗装等
街路樹（落葉・花木等）
街路樹（既存）
ストリートファニチュア（ベンチ）
照明灯


759㎡
駐輪場
612㎡
信号機室
22.00
663㎡
店舗等用地
22.00
605㎡
店舗等用地
21.00
変電所 1,205㎡
20.50
763㎡
店舗等用地
619㎡
信号機室
22.00
686㎡
店舗等用地
22.00
639㎡
店舗等用地
21.00
(20.852)
20.869
20.543
20.651
20.644
20.533
20.633
NO.-7
NO.-6
NO.-5
NO.-4
NO.-3
NO.-2
NO.-1
NO.0
21.620
21.400
21.450
21.310
21.090
21.110
20.650
20.491
20.490
21.598
20.901
809
(20.325)
20.342
20.222
20.332
市道中川638号線
凡例
SCALE　1/500
赤系を基調としたレンガ舗装等（あじろ貼り）
赤系を基調としたレンガ舗装等（うま貼り）
白系を基調とした平板舗装等
ハンプ・カラー舗装等
街路樹（落葉・花木等）
街路樹(既存)
ストリートファニチュア（ベンチ）
照明灯

横浜市歴史博物館

K2201（主要地方道横浜生田線）

NO. 1

NO. 2

NO. 3

813

1202

144㎡

142㎡

217㎡

店舗等用地
1,159㎡
FH=21.7

FH=19.7

FH=21.1

FH=20.25

FH=19.5

FH=18.5

店舗等用地　1,641㎡

駐車場　1,172㎡

駐車場

FH=17.9

凡例

SCALE　1/500

赤系を基調としたレンガ舗装等（あじろ貼り）

赤系を基調としたレンガ舗装等（うま貼り）

白系を基調とした平板舗装等

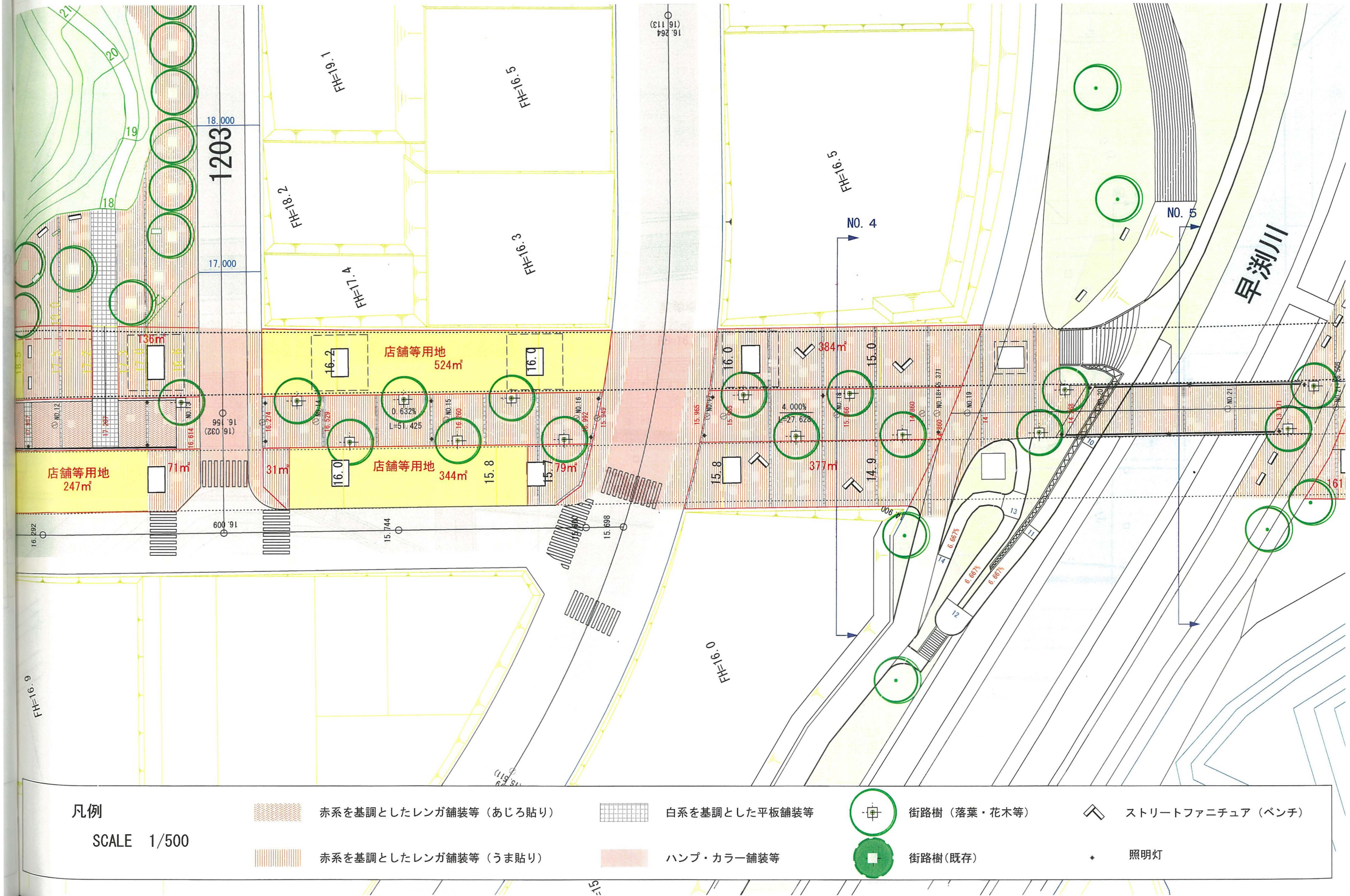
ハンプ・カラー舗装等

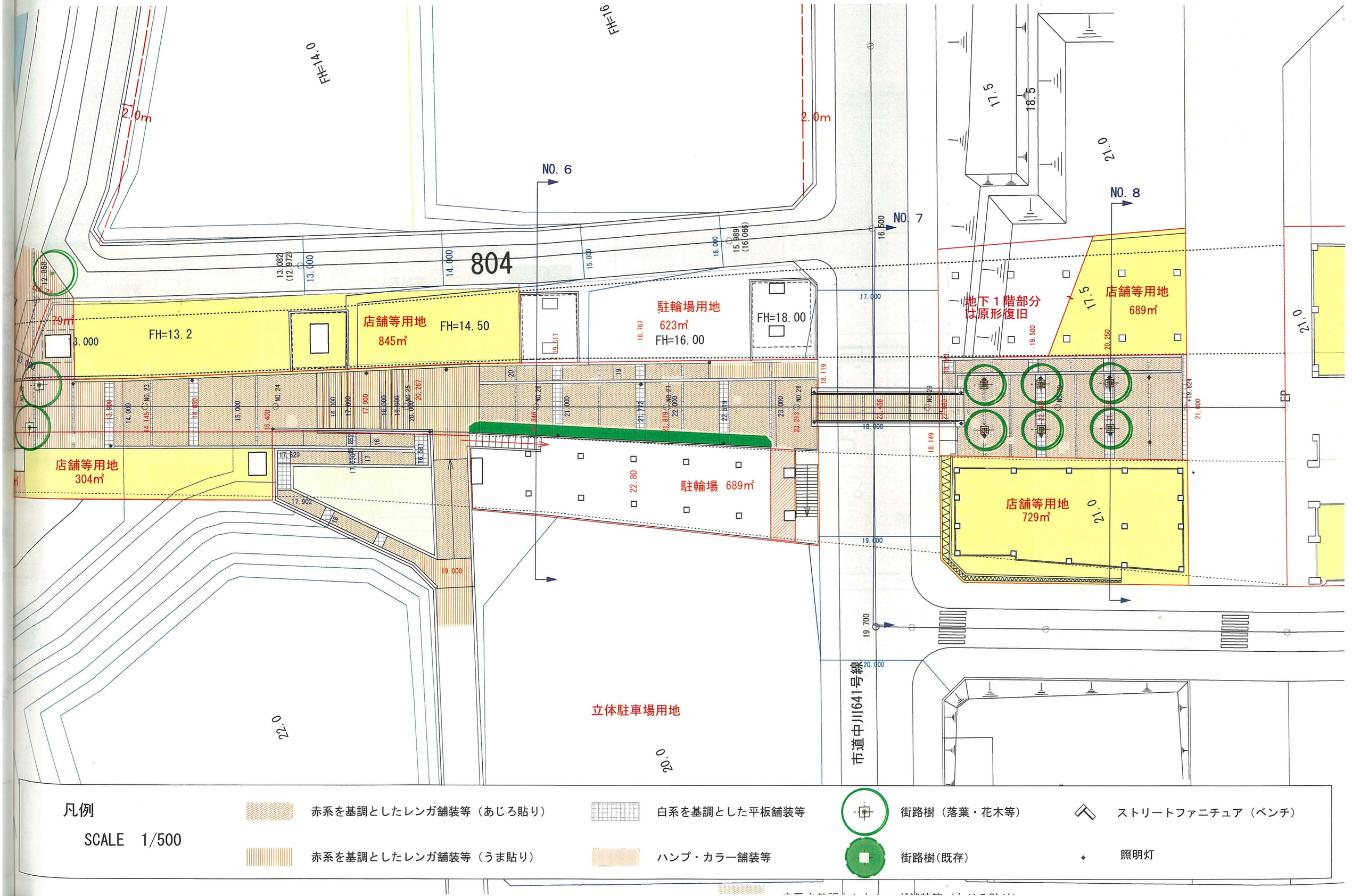
街路樹（落葉・花木等）

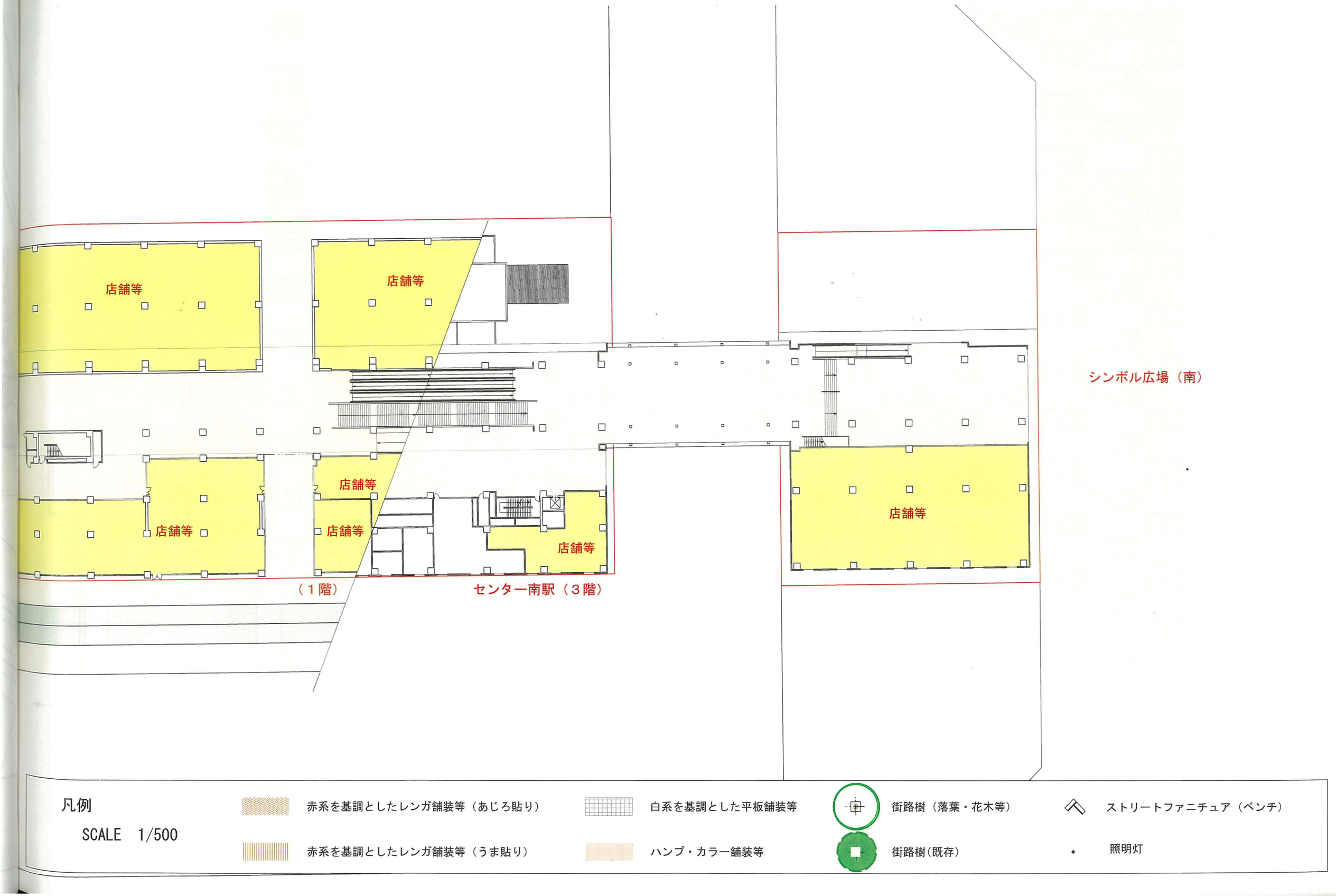
街路樹(既存)

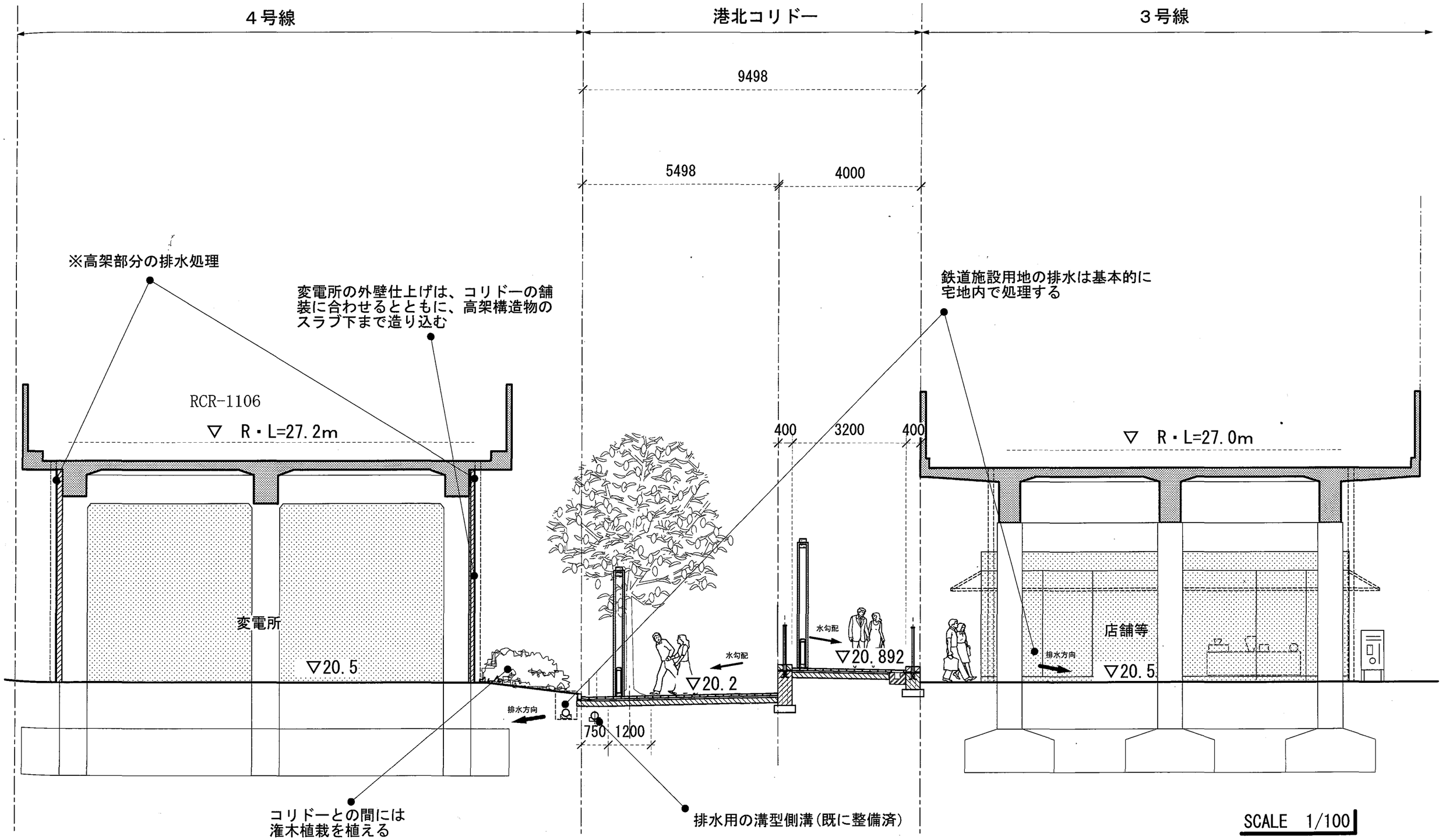
ストリートファニチュア（ベンチ）

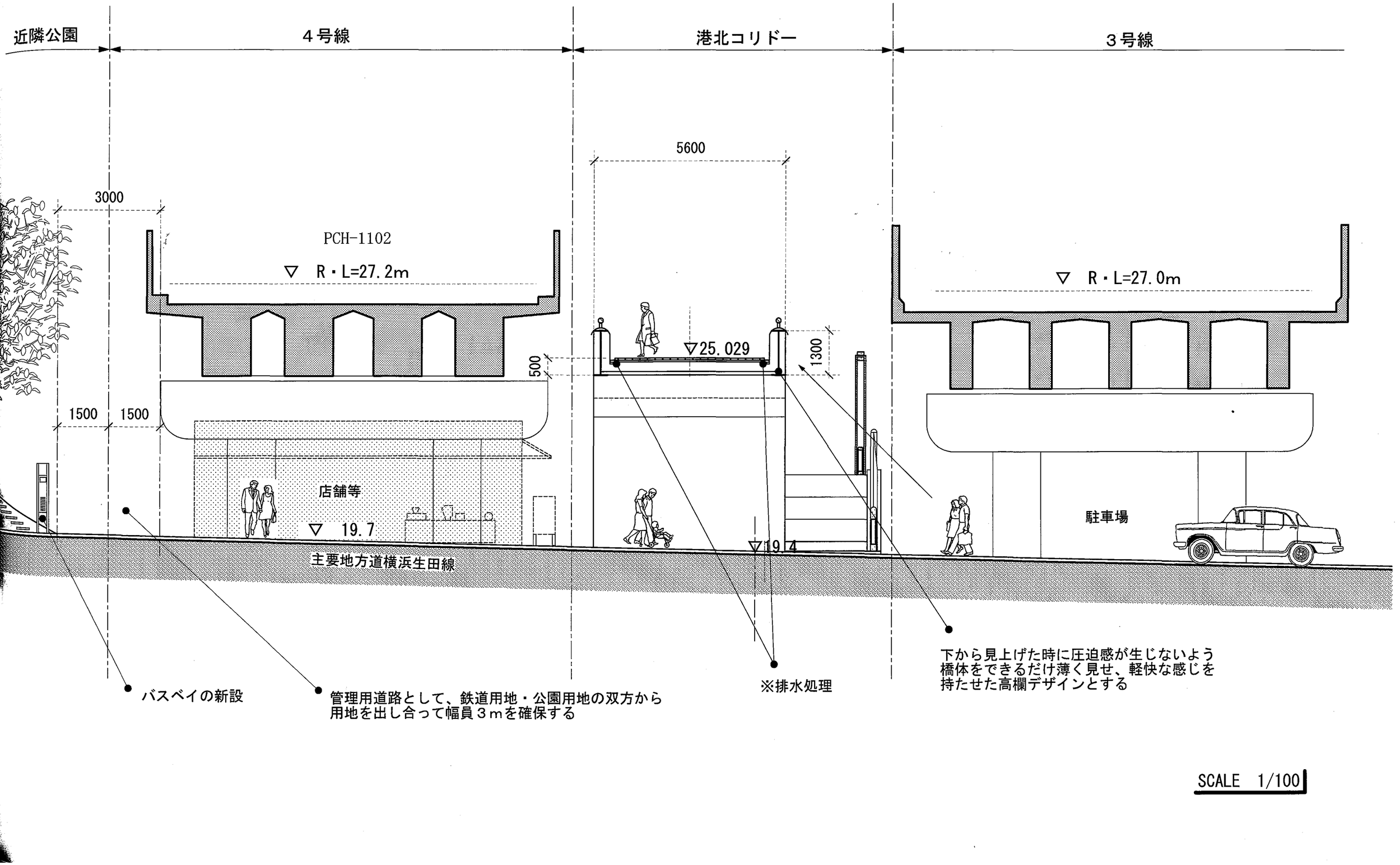
照明灯


1203
18.000
17.000
FH=19.1
FH=16.5
FH=18.2
FH=16.3
FH=17.4
FH=16.5
NO. 4
NO. 5
早渕川
店舗等用地
524㎡
店舗等用地
247㎡
店舗等用地
344㎡
136㎡
71㎡
31㎡
79㎡
384㎡
377㎡
4.000%
L=27.628
0.632%
L=51.425
6.667%
FH=16.9
FH=16.0
凡例
SCALE　1/500
赤系を基調としたレンガ舗装等（あじろ貼り）
赤系を基調としたレンガ舗装等（うま貼り）
白系を基調とした平板舗装等
ハンプ・カラー舗装等
街路樹（落葉・花木等）
街路樹(既存)
ストリートファニチュア（ベンチ）
照明灯

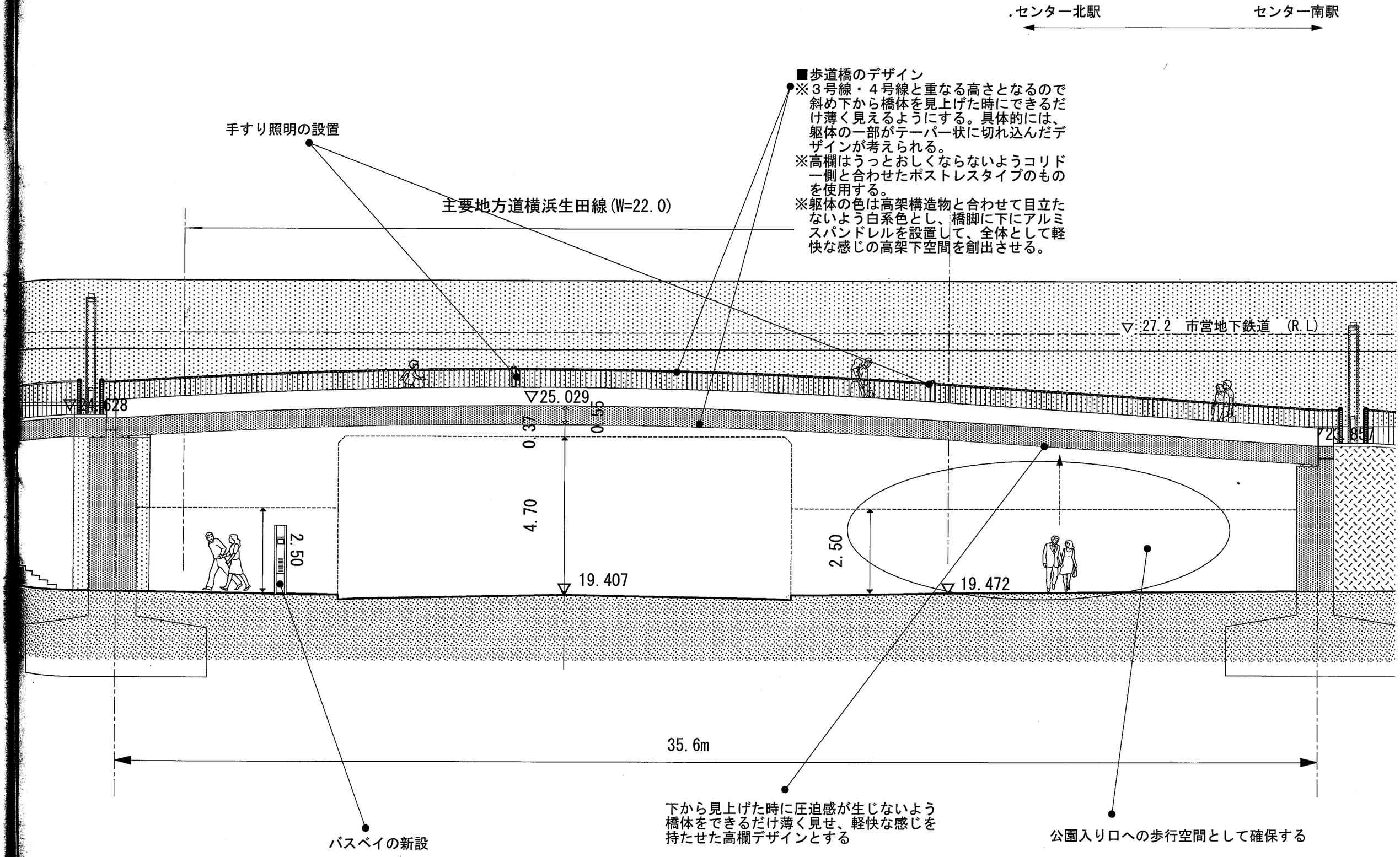

FH=14.0
FH=16
2.0m
2.0m
NO. 6
NO. 7
NO. 8
804
13.082
(12.972)
13.000
14.000
15.000
16.000
15.989
(16.066)
16.500
17.000
12.858
79㎡
13.000
FH=13.2
店舗等用地
845㎡
FH=14.50
駐輪場用地
623㎡
FH=16.00
18.767
19.517
FH=18.00
地下１階部分
は原形復旧
17.5
18.5
21.0
店舗等用地
689㎡
19.500
20.250
店舗等用地
304㎡
17.629
17.902
19.000
22.80
駐輪場 689㎡
店舗等用地
729㎡
19.700
20.000
立体駐車場用地
22.0
20.0
市道中川641号線
EP
凡例
SCALE 1/500
赤系を基調としたレンガ舗装等（あじろ貼り）
赤系を基調としたレンガ舗装等（うま貼り）
白系を基調とした平板舗装等
ハンプ・カラー舗装等
街路樹（落葉・花木等）
街路樹(既存)
ストリートファニチュア（ベンチ）
照明灯


店舗等
店舗等
店舗等
店舗等
店舗等
店舗等
店舗等
（１階）
センター南駅（３階）
シンボル広場（南）
凡例
SCALE　1/500
赤系を基調としたレンガ舗装等（あじろ貼り）
赤系を基調としたレンガ舗装等（うま貼り）
白系を基調とした平板舗装等
ハンプ・カラー舗装等
街路樹（落葉・花木等）
街路樹(既存)
ストリートファニチュア（ベンチ）
照明灯


４号線
港北コリドー
３号線
9498
5498
4000
※高架部分の排水処理
変電所の外壁仕上げは、コリドーの舗装に合わせるとともに、高架構造物のスラブ下まで造り込む
鉄道施設用地の排水は基本的に宅地内で処理する
RCR-1106
▽ R・L=27.2m
▽ R・L=27.0m
400
3200
400
変電所
▽20.5
水勾配
▽20.2
水勾配
▽20.892
排水方向
排水方向
店舗等
▽20.5
750
1200
コリドーとの間には潅木植栽を植える
排水用の溝型側溝(既に整備済)
SCALE 1/100


近隣公園
４号線
港北コリドー
３号線
3000
PCH-1102
▽ R・L=27.2m
1500
1500
店舗等
▽ 19.7
主要地方道横浜生田線
5600
500
▽25.029
1300
▽19.4
▽ R・L=27.0m
駐車場
バスベイの新設
管理用道路として、鉄道用地・公園用地の双方から
用地を出し合って幅員３ｍを確保する
※排水処理
下から見上げた時に圧迫感が生じないよう
橋体をできるだけ薄く見せ、軽快な感じを
持たせた高欄デザインとする

SCALE 1/100


.センター北駅
センター南駅
■歩道橋のデザイン
※３号線・４号線と重なる高さとなるので斜め下から橋体を見上げた時にできるだけ薄く見えるようにする。具体的には、躯体の一部がテーパー状に切れ込んだデザインが考えられる。
※高欄はうっとおしくならないようコリドー側と合わせたポストレスタイプのものを使用する。
※躯体の色は高架構造物と合わせて目立たないよう白系色とし、橋脚に下にアルミスパンドレルを設置して、全体として軽快な感じの高架下空間を創出させる。
手すり照明の設置
主要地方道横浜生田線(W=22.0)
▽27.2　市営地下鉄道　(R.L)
▽24.628
▽25.029
0.375
0.555
4.70
2.50
19.407
2.50
19.472
35.6m
バスベイの新設
下から見上げた時に圧迫感が生じないよう橋体をできるだけ薄く見せ、軽快な感じを持たせた高欄デザインとする
公園入り口への歩行空間として確保する
SCALE　1/100

近隣公園

４号線

港北コリドー

３号線

※高架部分の排水処理

店舗等の土地活用がおこなえるよう
コリドーの高さに合わせて、店舗等
用地の造成宅盤高を設定する

3000

1500　1500

8652

400

400

駐車場上部を開放し、コリドーからの
視界の抜けを確保する

P-1202

▽　R・L=27.2m

▽　R・L=27.0m

▽27.0

▽21.0

店舗等

水勾配

水勾配

▽20.957

排水方向

▽19.7

駐車場

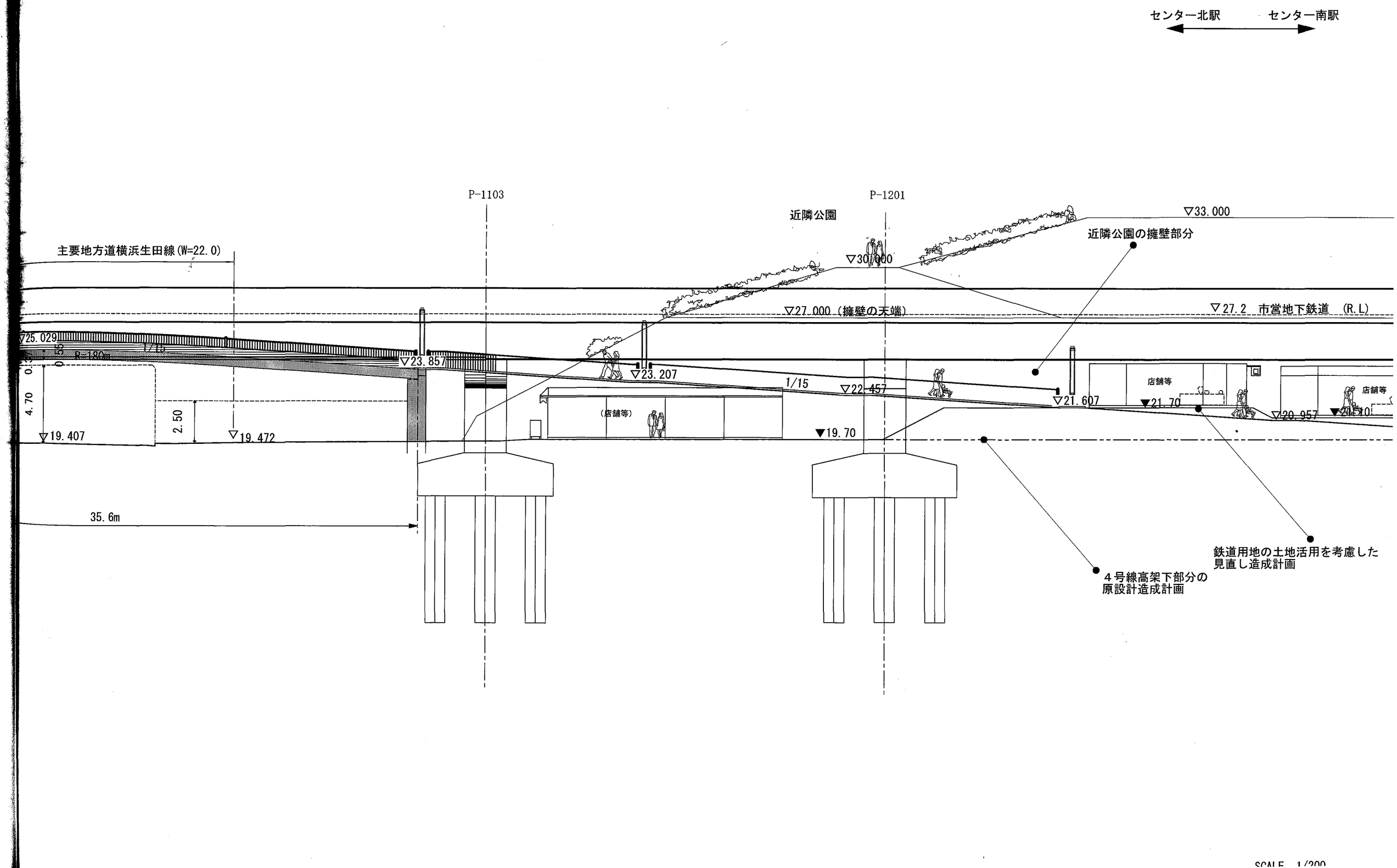
▽17.5

管理用道路として、鉄道用地・公園用地の双方から
用地を出し合って幅員３ｍを確保する

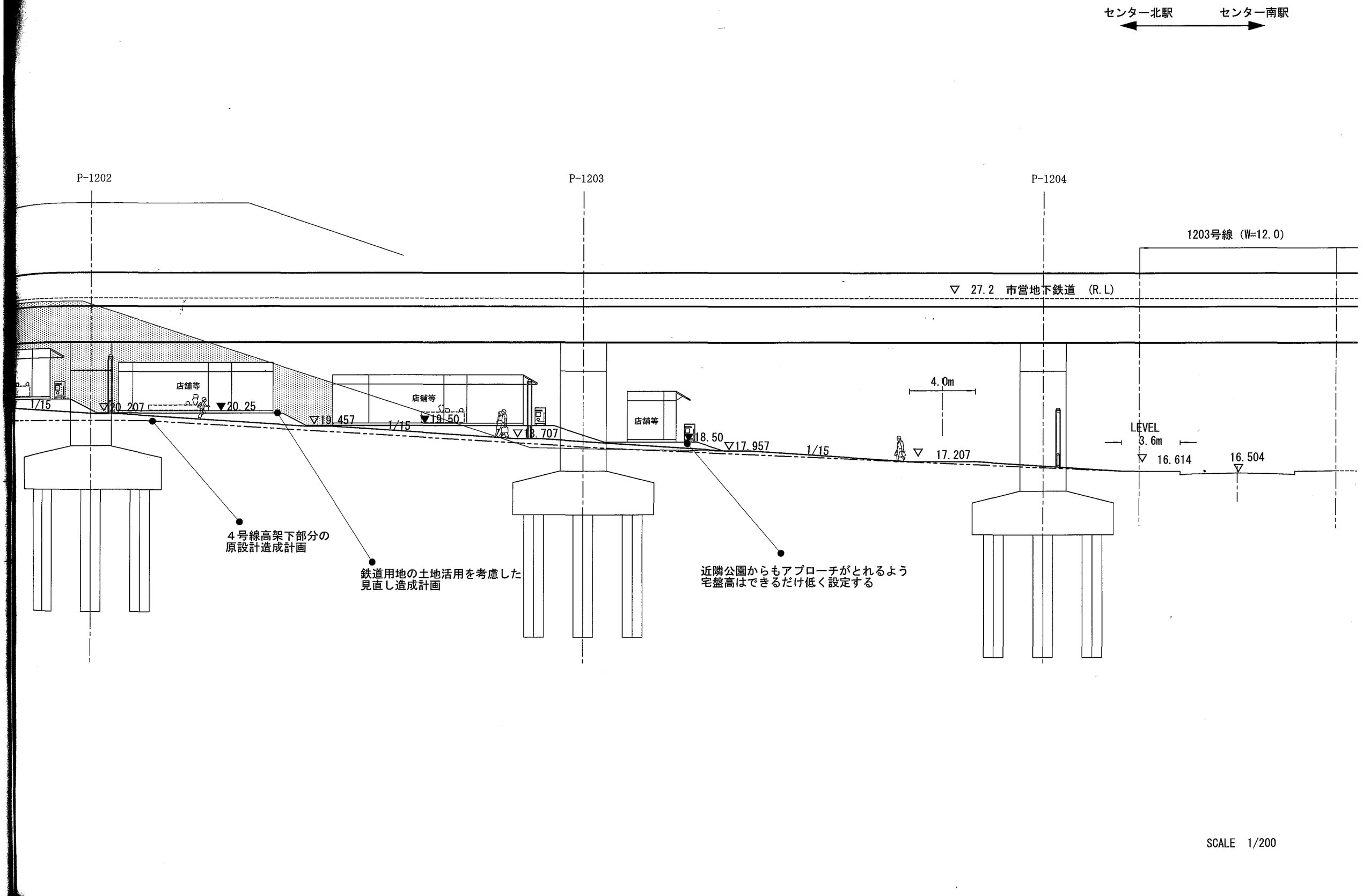
（現行造成計画ライン）

※コリドー内の排水処理

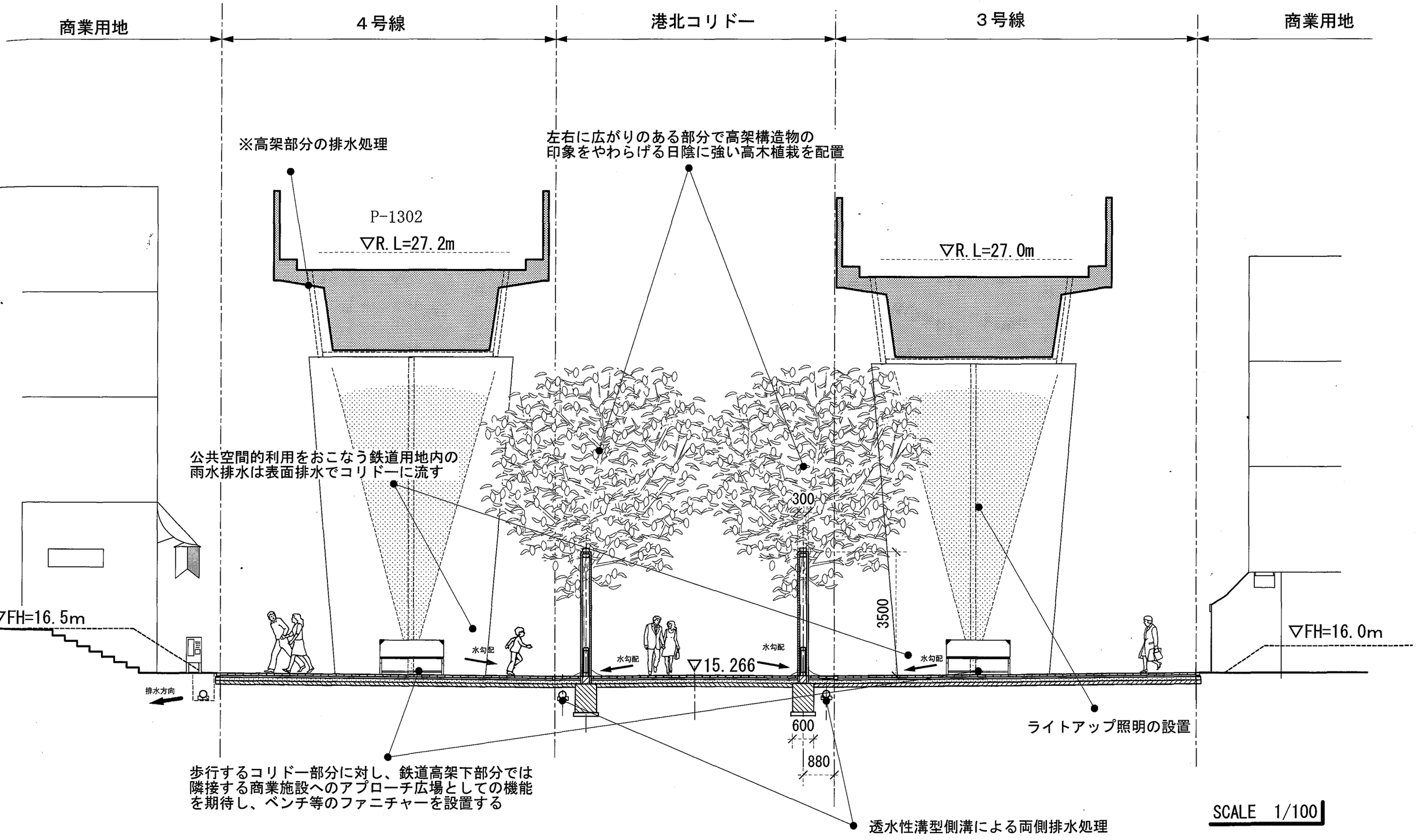
SCALE　1/100


センター北駅
センター南駅
P-1103
P-1201
近隣公園
▽33.000
近隣公園の擁壁部分
主要地方道横浜生田線(W=22.0)
▽30.000
▽27.000（擁壁の天端）
▽27.2　市営地下鉄道　(R.L)
▽25.029
1/15
R=190m
▽23.857
▽23.207
1/15
▽22.457
▽21.607
▽21.70
店舗等
▽20.957
▽20.70
店舗等
(店舗等)
▼19.70
4.70
2.50
▽19.407
▽19.472
35.6m
鉄道用地の土地活用を考慮した
見直し造成計画
４号線高架下部分の
原設計造成計画

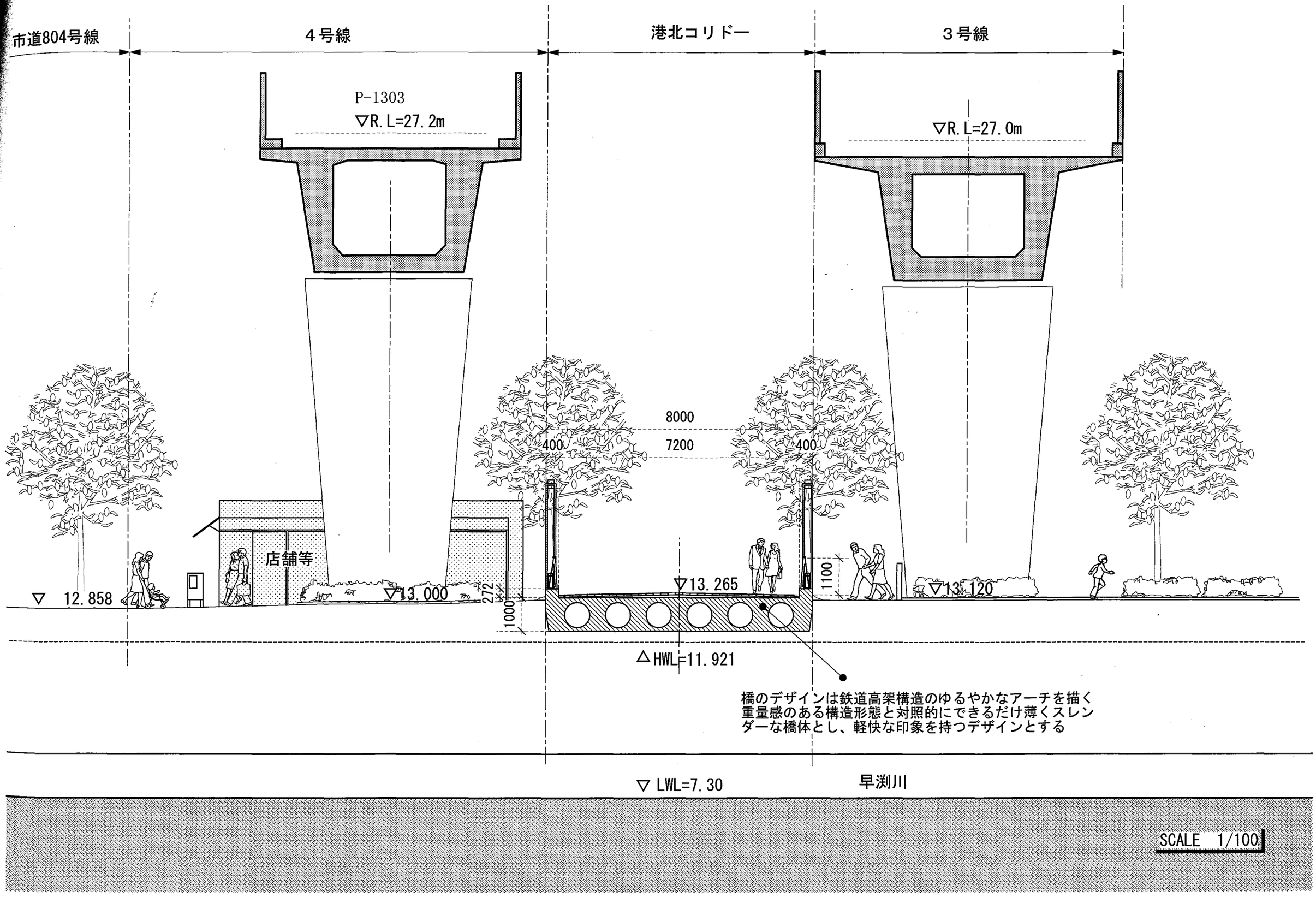
SCALE　1/200


センター北駅
センター南駅
P-1202
P-1203
P-1204
1203号線（W=12.0）
▽ 27.2 市営地下鉄道 (R.L)
店舗等
店舗等
店舗等
1/15
▽20.207
▼20.25
▽19.457
1/15
▼19.50
▽18.707
▼18.50
▽17.957
1/15
4.0m
▽ 17.207
LEVEL
3.6m
▽ 16.614
16.504
４号線高架下部分の
原設計造成計画
鉄道用地の土地活用を考慮した
見直し造成計画
近隣公園からもアプローチがとれるよう
宅盤高はできるだけ低く設定する

SCALE 1/200

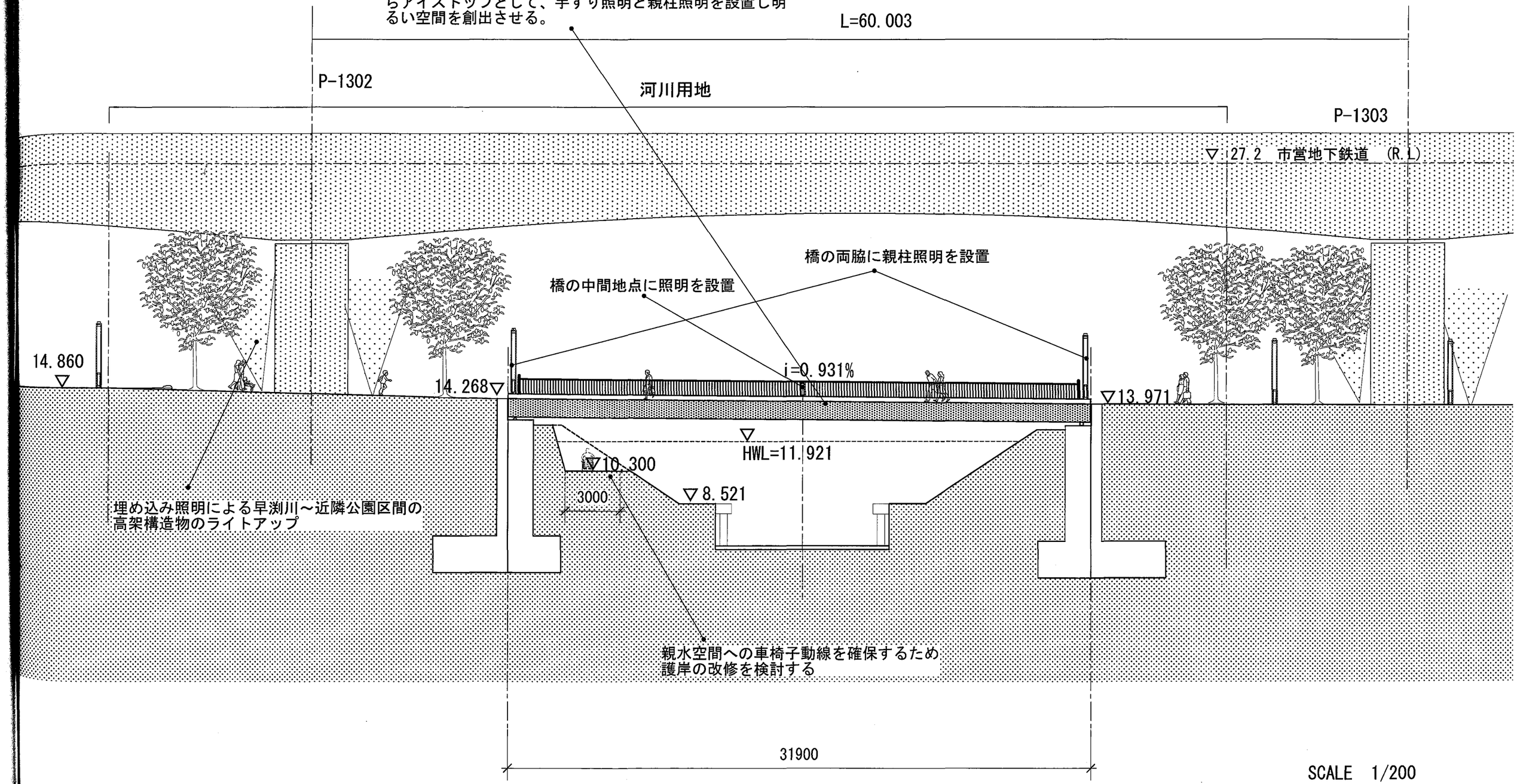

商業用地
４号線
港北コリドー
３号線
商業用地
※高架部分の排水処理
左右に広がりのある部分で高架構造物の
印象をやわらげる日陰に強い高木植栽を配置
P-1302
▽R.L=27.2m
▽R.L=27.0m
公共空間的利用をおこなう鉄道用地内の
雨水排水は表面排水でコリドーに流す
300
3500
▽FH=16.5m
▽FH=16.0m
水勾配
水勾配
水勾配
水勾配
▽15.266
排水方向
600
880
ライトアップ照明の設置
歩行するコリドー部分に対し、鉄道高架下部分では
隣接する商業施設へのアプローチ広場としての機能
を期待し、ベンチ等のファニチャーを設置する
透水性溝型側溝による両側排水処理

SCALE　1/100

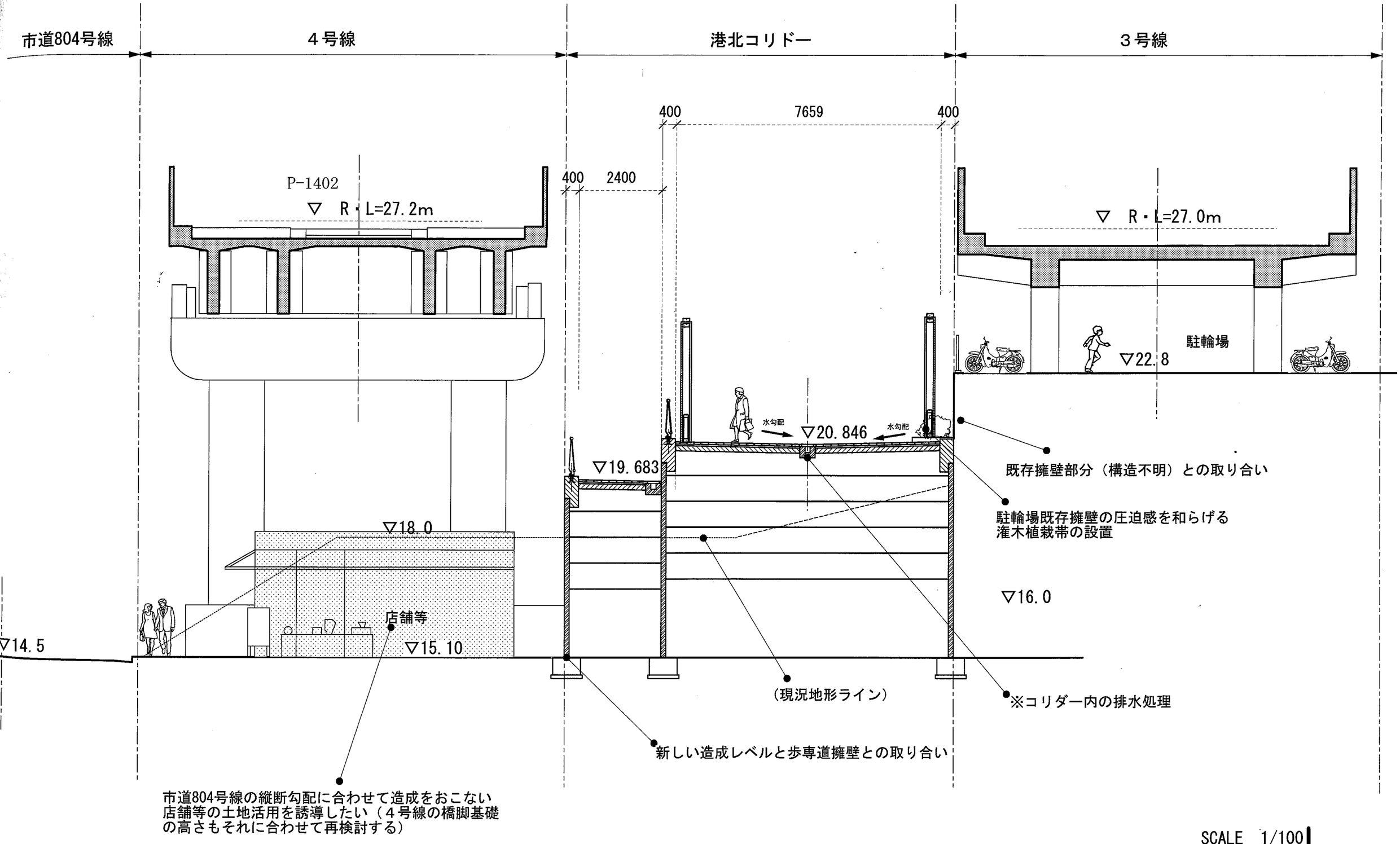

市道804号線
４号線
港北コリドー
３号線
P-1303
▽R.L=27.2m
▽R.L=27.0m
8000
400
7200
400
店舗等
▽ 12.858
▽13.000
272
1000
▽13.265
1100
▽13.120
△HWL=11.921
橋のデザインは鉄道高架構造のゆるやかなアーチを描く
重量感のある構造形態と対照的にできるだけ薄くスレン
ダーな橋体とし、軽快な印象を持つデザインとする
▽ LWL=7.30
早渕川
SCALE 1/100

センター北駅　センター南駅

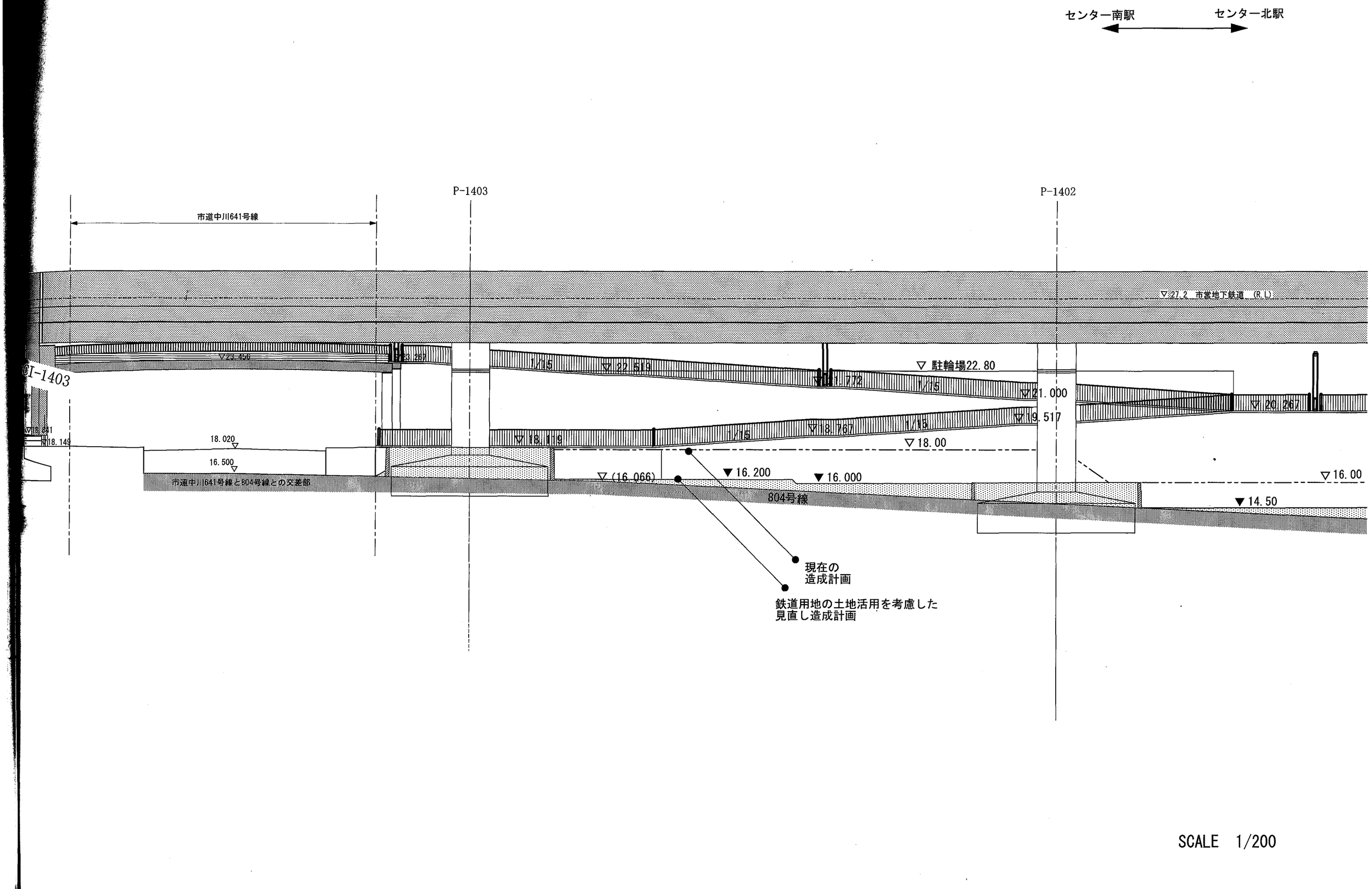
■歩道橋のデザイン
※ゆるやかなアーチを描き重量感のある鉄道高架構造物と対照的にできるだけ薄くスレンダーな橋体とし、軽快な印象を持つデザインとする。
※高欄手すりもコリドーと同じくシンプルなポストレスタイプのものを使用する。
※コリドーで最も低い位置にあり、視点が集中することからアイストップとして、手すり照明と親柱照明を設置し明るい空間を創出させる。



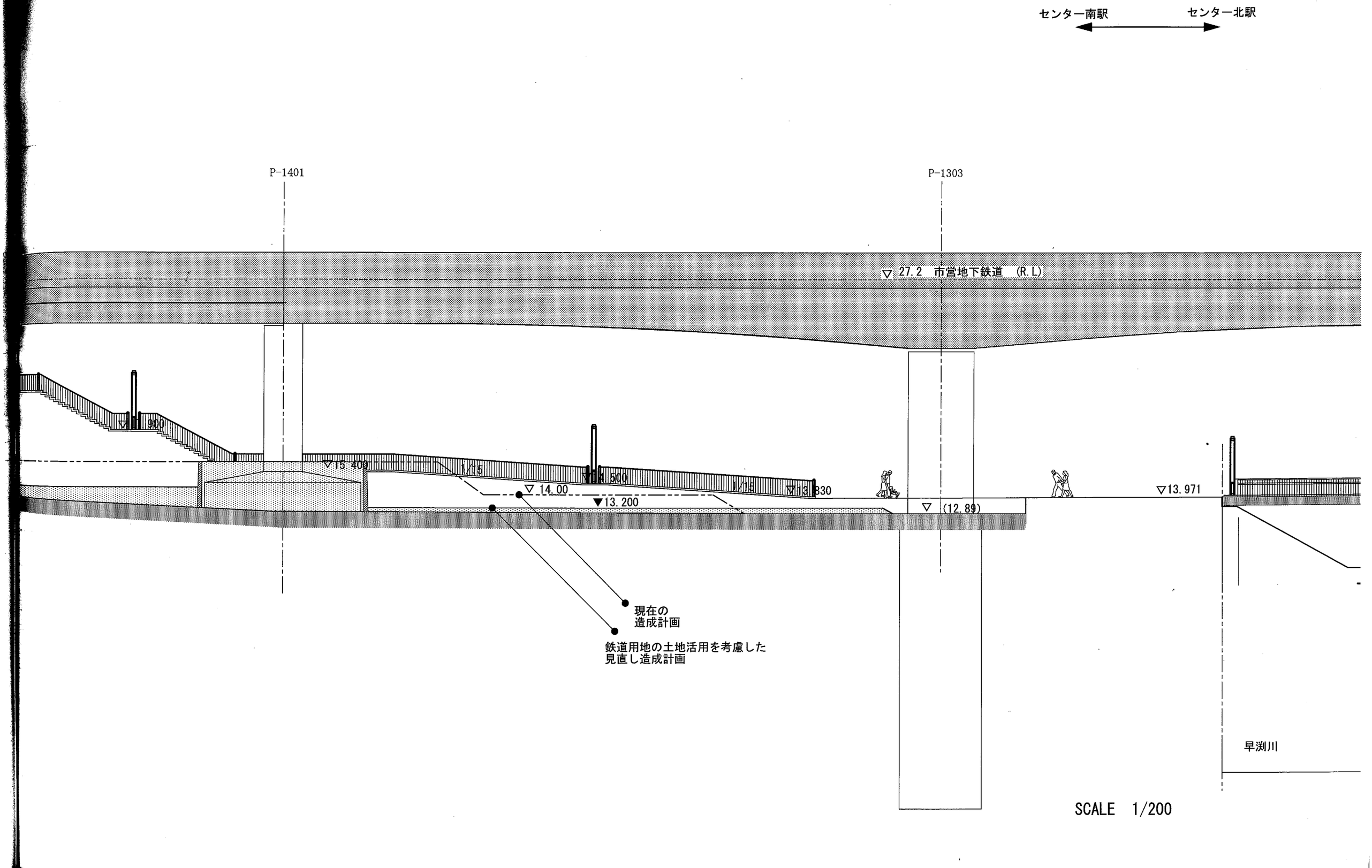

SCALE　1/200


市道804号線
４号線
港北コリドー
３号線
400
7659
400
400
2400
P-1402
▽ R・L=27.2m
▽ R・L=27.0m
駐輪場
▽22.8
水勾配
▽20.846
水勾配
▽19.683
既存擁壁部分（構造不明）との取り合い
駐輪場既存擁壁の圧迫感を和らげる
潅木植栽帯の設置
▽18.0
▽16.0
店舗等
▽14.5
▽15.10
（現況地形ライン）
※コリダー内の排水処理
新しい造成レベルと歩専道擁壁との取り合い
市道804号線の縦断勾配に合わせて造成をおこない
店舗等の土地活用を誘導したい（４号線の橋脚基礎
の高さもそれに合わせて再検討する）

SCALE　1/100


センター南駅
センター北駅
P-1403
P-1402
市道中川641号線
▽27.2 市営地下鉄道 (R.L)
▽25.450
▽23.267
CI-1403
▽駐輪場22.80
▽22.519
1/15
▽21.772
▽21.000
▽20.267
▽19.517
▽18.767
▽18.619
▽18.00
▽18.149
18.020
16.500
▽(16.066)
▼16.200
▼16.000
▽16.00
▼14.50
市道中川641号線と804号線との交差部
804号線
現在の
造成計画
鉄道用地の土地活用を考慮した
見直し造成計画

SCALE　1/200


センター南駅
センター北駅
P-1401
P-1303
▽27.2　市営地下鉄道　(R.L)
▽15.400
1/15
▽14.00
▼13.200
▽13.330
▽13.971
▽　(12.89)
現在の
造成計画
鉄道用地の土地活用を考慮した
見直し造成計画
早渕川
SCALE　1/200

コリドーの結節点となる空間であり、
高木の並木により緑化する

橋のデザインは鉄道構造物とは
対照的に軽快感のあるものとする

4 号線

港北コリドー

3 号線

▽R.L=27.2m

900

4000

900

400

▽R.L=27.0m

1100

▽23.456

550

1100

自転車駐輪場

▽21.000

▽21.000

※排水処理

店舗等

▽ 21.000

▽18.841

1/15

オートバイ置場

▽17.500

▽18.020

i =5.263%

市道中川641号線

下から見上げた時に圧迫感が生じないよう
橋体をできるだけ薄く見せ、軽快な感じを
持たせた高欄デザインとする

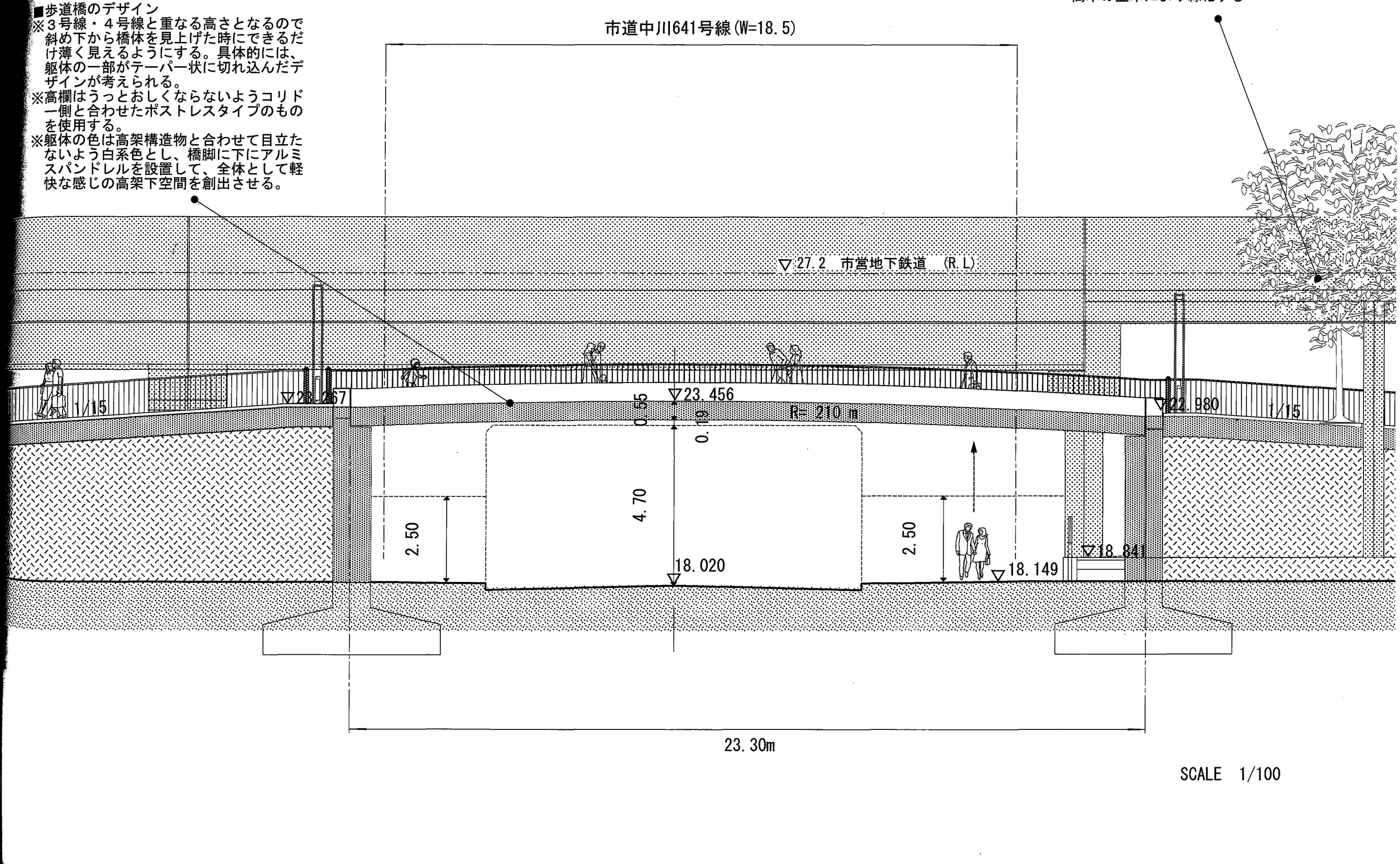
道路面に合わせて造成し、２層で床を利用できるようにしておく

SCALE 1/100

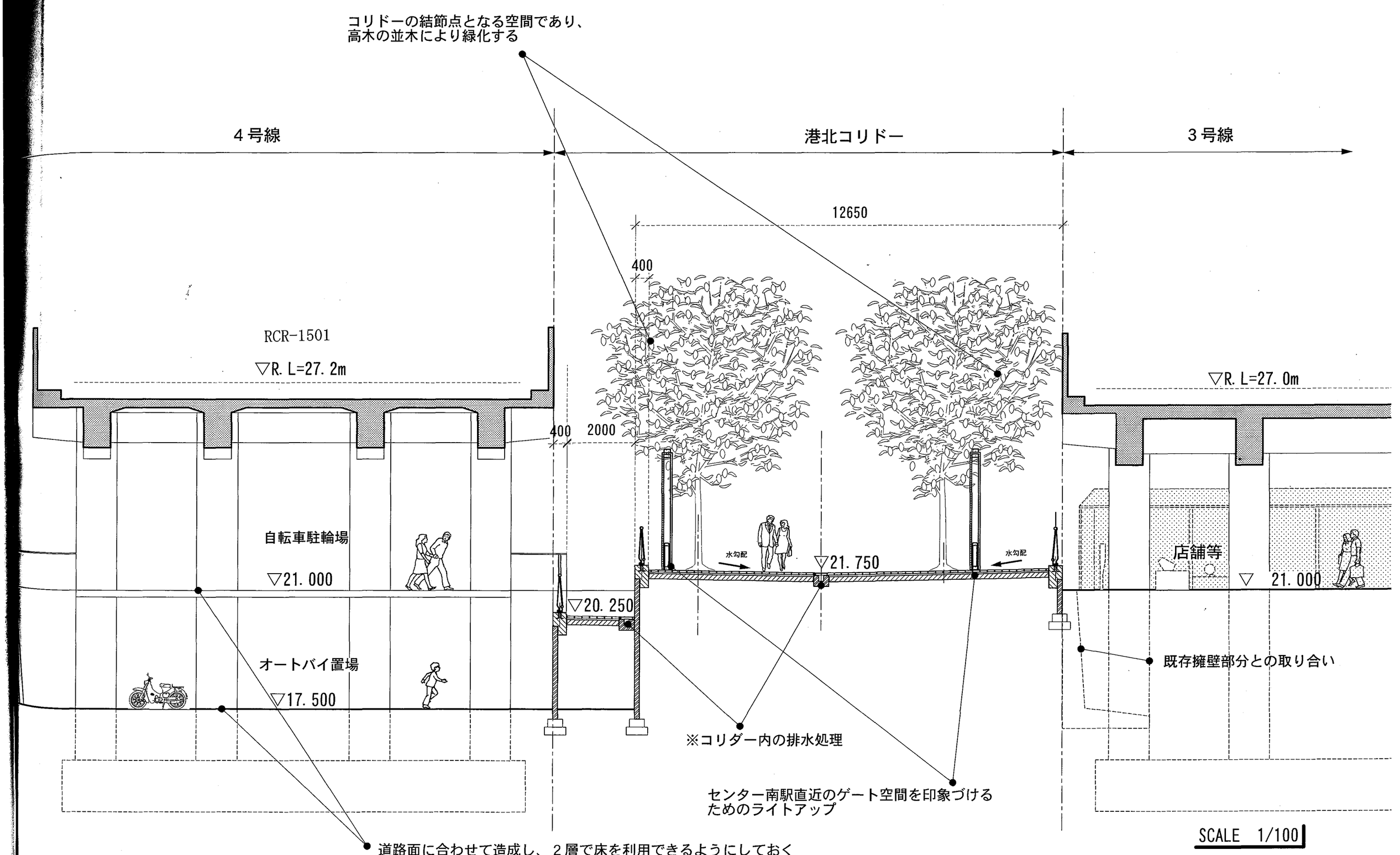
センター北駅　　センター南駅

コリドーの結節点となる空間であり、
高木の並木により緑化する

■歩道橋のデザイン
※３号線・４号線と重なる高さとなるので斜め下から橋体を見上げた時にできるだけ薄く見えるようにする。具体的には、躯体の一部がテーパー状に切れ込んだデザインが考えられる。
※高欄はうっとおしくならないようコリドー側と合わせたポストレスタイプのものを使用する。
※躯体の色は高架構造物と合わせて目立たないよう白系色とし、橋脚に下にアルミスパンドレルを設置して、全体として軽快な感じの高架下空間を創出させる。




SCALE　1/100


コリドーの結節点となる空間であり、
高木の並木により緑化する
４号線
港北コリドー
３号線
12650
400
RCR-1501
▽R. L=27. 2m
▽R. L=27. 0m
400
2000
自転車駐輪場
▽21. 000
水勾配
▽21. 750
水勾配
店舗等
▽ 21. 000
▽20. 250
オートバイ置場
▽17. 500
既存擁壁部分との取り合い
※コリダー内の排水処理
センター南駅直近のゲート空間を印象づける
ためのライトアップ
道路面に合わせて造成し、２層で床を利用できるようにしておく
SCALE　1/100



センター北駅



整備済み区間





センター南駅

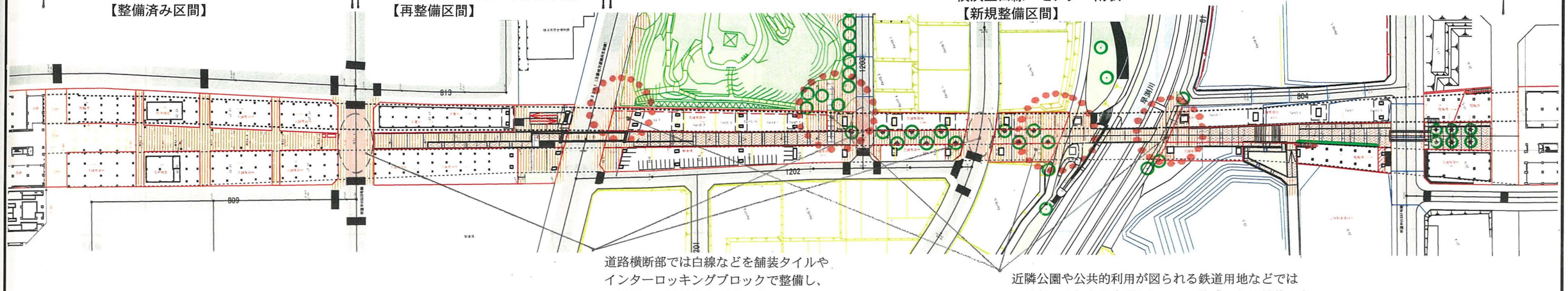
ハマレンガ+インターロッキングブロック

センター北駅～市道中川 638 号線
【整備済み区間】

市道中川 638 号線～横浜生田線
【再整備区間】

横浜生田線～センター南駅
【新規整備区間】

透水性レンガ＋透水平板
目地パターン：スロープ部分〔アジロ目地〕
地上部分〔ウマ目地〕




道路横断部では白線などを舗装タイルや
インターロッキングブロックで整備し、
コリドーの連結性を明確にする。

近隣公園や公共的利用が図られる鉄道用地などでは
コリドーのたまり空間として、一体感のある舗装とする

## ■舗装の基本的な考え方

**○両側を高架構造物に挟まれた約 800 mの歩専道という特殊な景観に配慮し、雑然とならないようコリドー全区間に一貫性を持たせた舗装デザインとする。**

・既に供用を開始しているセンター北駅～市道中川 638 号線の暖かな赤レンガを基調とし、これにあった素材を用いる。

**○鉄道施設用地のうち公共的利用が図られる用地や近隣公園の入り口部、早渕川などのオープンスペースにおいては、コリドーのたまり空間として一体的に利用できるようイメージを統一させた舗装デザインとする。**

**○コリドー横断部分の車道はハンプ化するなどしてコリドー利用者の安全性を高めるとともに、コリドーの連結性を明確に表現する。**

・横断歩道の白線などを舗装タイルやインターロッキングブロックで整備する。

○橋脚部は舗装用タイルとし、コリドー部と色調を合わせる。

## ■舗装の素材 ・ パターン等

**○レンガや擬石平板など素材感がシックなものを基本とする。**

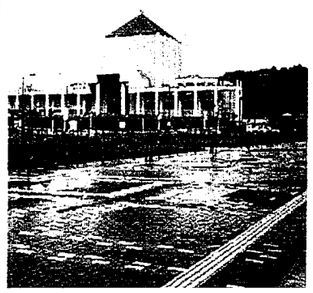
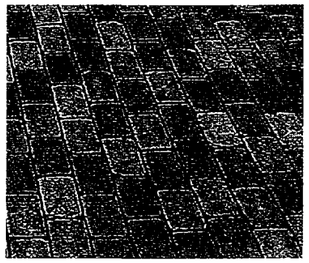
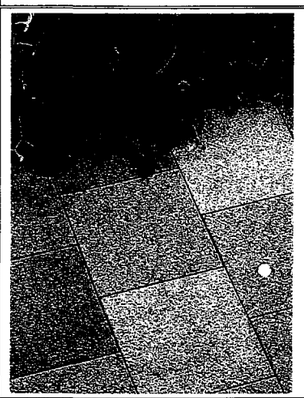
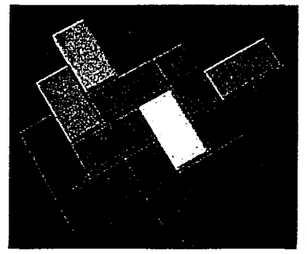
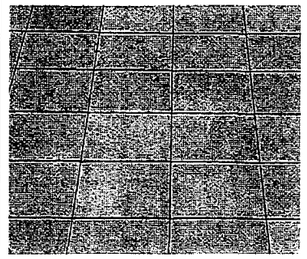
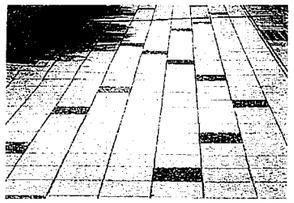
**○色彩は赤系を基調とする。**

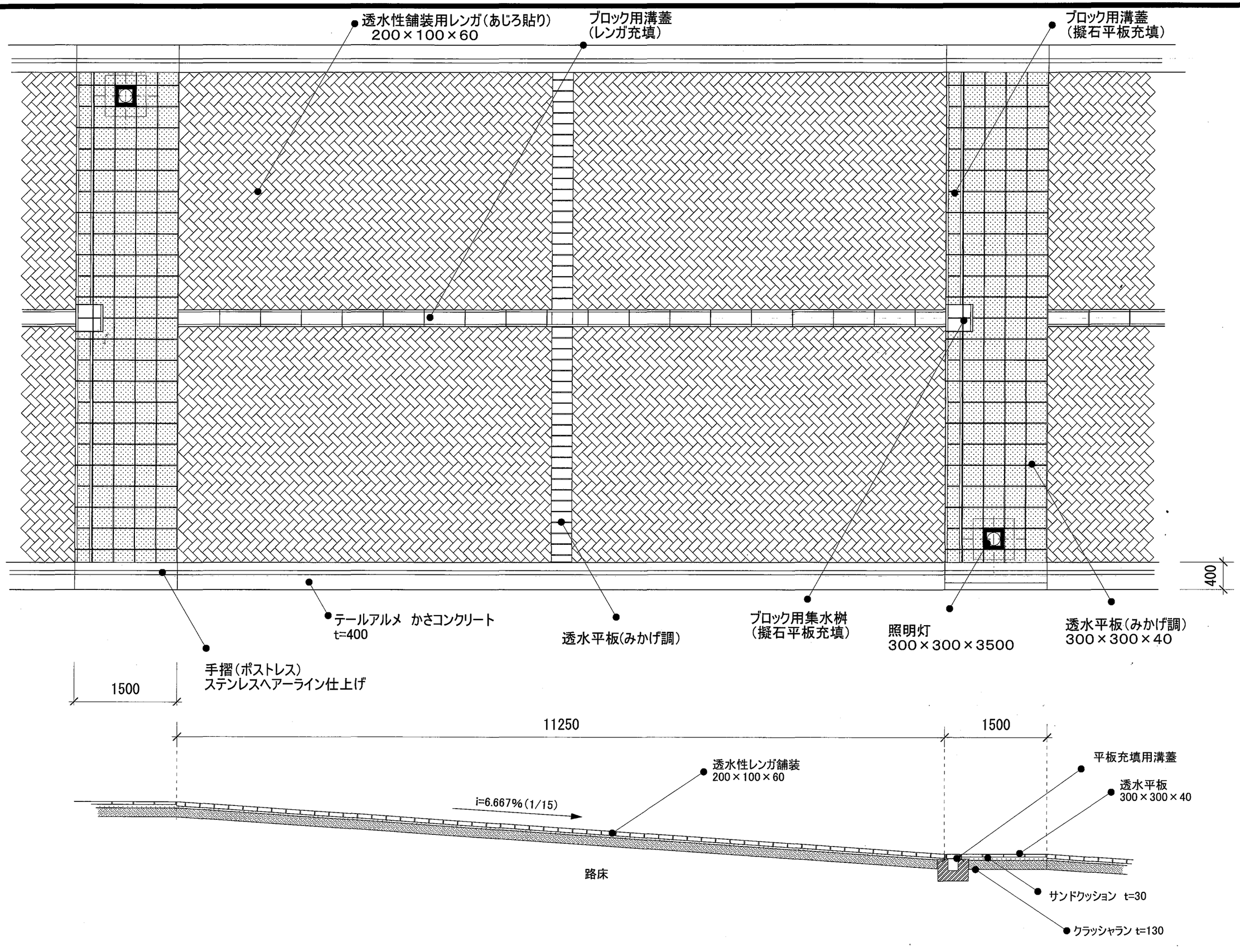
**○滑りにくい仕上げとする。**

・１／15 勾配のスロープが連続することから、特に滑らないように気をつける必要がある。このため、表面排水が少しでもスムーズにおこなえるよう舗装パターンをアジロ貼り（フィッシュボーン）とする。

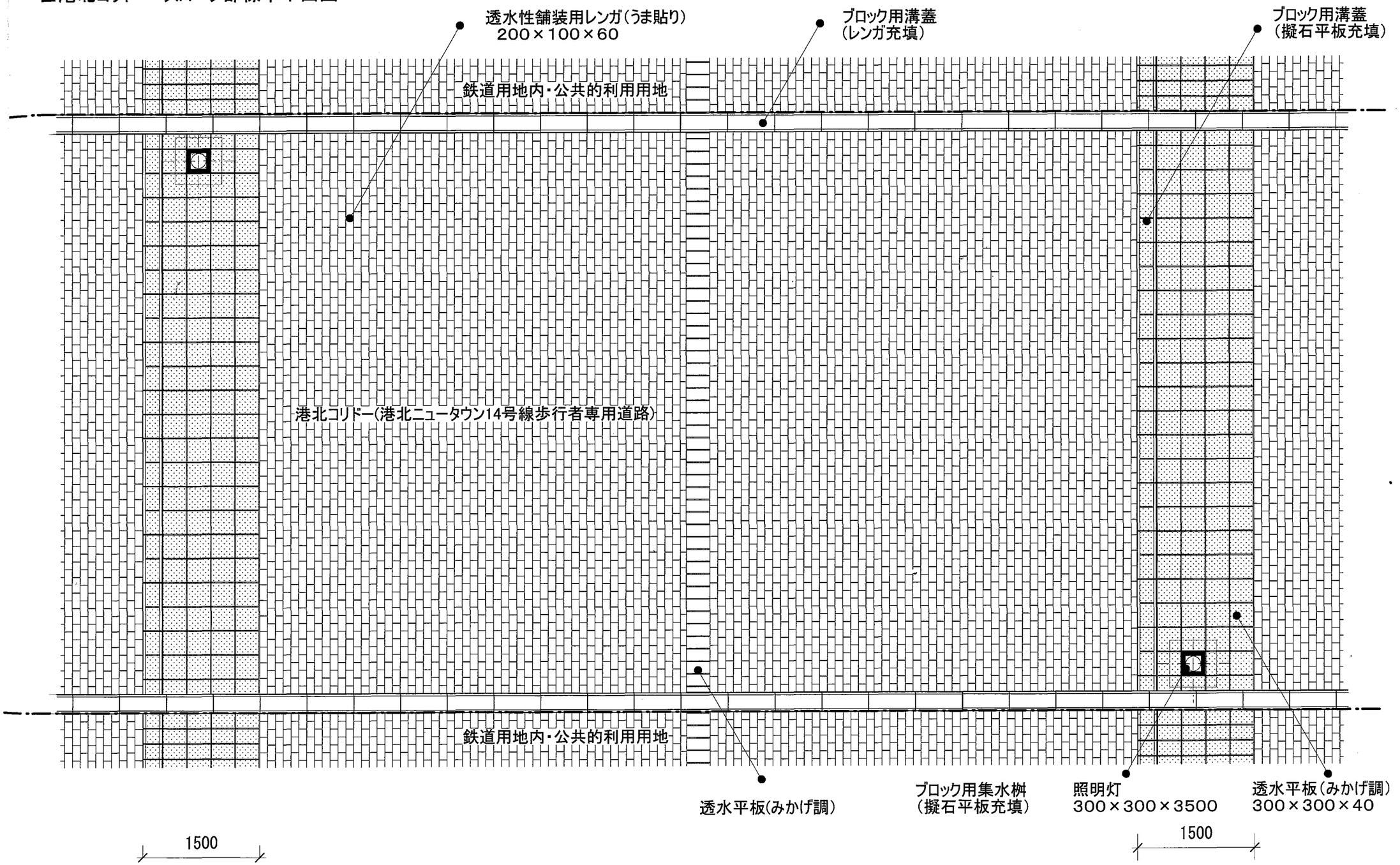
・踊り場スペースは赤系と対比する白系の擬石平板等を用いる。

・環境と防災面に配慮し、基本的に透水性のものを使用する。

| 種類 | ハマレンガ | 透水性舗装用レンガ<br>参考：西谷陶業株式会社等 | 透水性レンガ風ブロック<br>参考：東電環境エンジニアリング株式会社 | 透水性セラミックブロック<br>参考：ジャニス工業株式会社 | 透水インターロッキングブロック<br>参考：アイエルビー株式会社等 | 保水性土系舗装材<br>参考：株式会社 INAX | 透水平板<br>参考：株式会社ヤマウ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| |  |  |  |  |  |  |  |
| 特徴 | 下水処理の際に発生する汚泥の焼却灰を使用し焼成。 | 土を焼成。 | 廃棄物をセメント等と合わせて特殊固化。リサイクル。 | 廃棄物を焼成。 | セメント固化。 | 土を水熱反応で固化。 | 多孔質性の透水平板 |
| 吸水率（%） | 3.0 以下 | 3.0～7.0 程度 | 5.0 以下 | 2.0 以下 | － | 13.0 程度 | |
| 滑り抵抗値（ＢＰＮ値） | 45 以上<br>※60～80 程度<br>（ヒアリングより） | 乾燥：119～125<br>湿潤：113～116 | 乾燥：84～85<br>湿潤：74～80 | 乾燥：90～100<br>湿潤：60 程度 | 70 程度 | 70 程度 | 70 程度 |
| 現場着値（材料設計価格） | 3,750 円／㎡ | 9,800～12,000 円／㎡程度 | 6,800 円／㎡程度 | 9,000～10,000 円／㎡ | 3,500～11,000 円／㎡<br>（建設物価本　参考） | 7,500～8,000 円／㎡ | 7,000～8,000 円／㎡ |
| 備考 | ※多摩プラーザ駅周辺の歩道ですべり抵抗の改良品を施工した実例あり | | ※今井川でハマレンガとミックスした実例あり | | | | ※白色の平板を部分的に使用してリズム感を出す |


透水性舗装用レンガ（あじろ貼り）
200×100×60
ブロック用溝蓋
（レンガ充填）
ブロック用溝蓋
（擬石平板充填）
400
テールアルメ　かさコンクリート
t=400
透水平板(みかげ調)
ブロック用集水桝
（擬石平板充填）
照明灯
300×300×3500
透水平板（みかげ調）
300×300×40
手摺（ポストレス）
ステンレスヘアーライン仕上げ
1500
11250
1500
透水性レンガ舗装
200×100×60
i=6.667%（1/15）
平板充填用溝蓋
透水平板
300×300×40
路床
サンドクッション　t=30
クラッシャラン t=130

■港北コリドー　スロープ部標準平面図




スロープ部分　標準平面図

1/50

## ■照明の基本的な考え方

**○センターの賑わいを演出し、北地区・中央地区・南地区を結ぶ軸線として強調するため、一般歩専道よりも若干照度を明るめに設定する。**

・床面平均照度５ルクスを目安に照明灯の基本ピッチを10～15ｍ程度で配置する。
・スロープ部分では、安全性を確保するため踊り場ごとで左右交互に連続して配置する。
・地上レベルでの道路との交差部では、歩専道がより認識しやすくなるよう照明灯を積極的に配置する。
・早渕川や近隣公園などの人の往来が多いところでは、鉄道高架構造物をライトアップすることで明るく演出性の高い空間を創出させる。
・センター南駅前から市道中川641号線の間の上りのスロープ区間では、南駅のゲート性を演出するため植栽を下から照らす埋め込みアッパーライトの設置を検討する。
・ヴィスタにリズム感を創出する意図から、３つの橋脚の高欄には小規模のスポット照明を設置する。

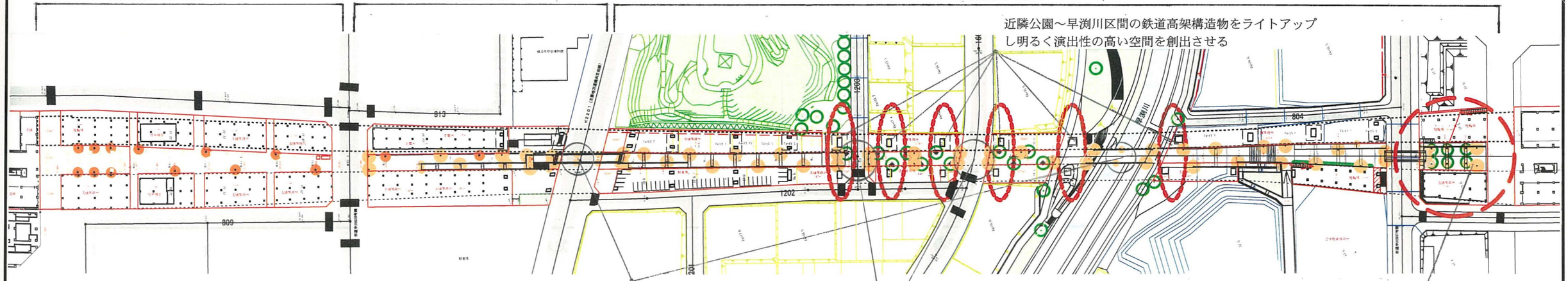
## ■照明灯

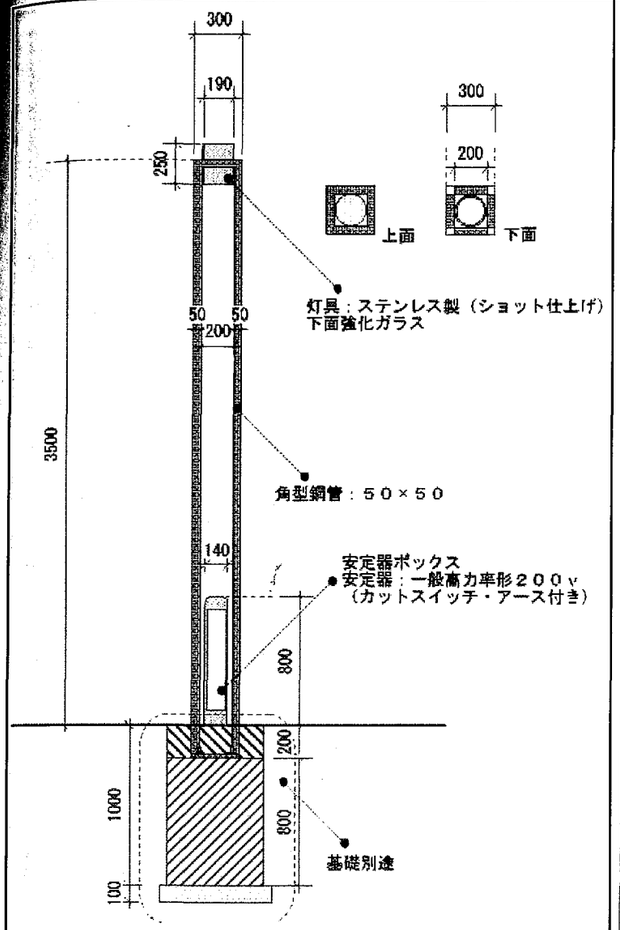
**○ヴィスタに配慮し、意図的にガラス等のカバーがついた光源の見える灯具とする。**
**○照明灯の高さは４ｍもしくは５ｍ程度とし、全体で統一感を持たせる。。**

センター北駅～市道中川638号線
【整備済み区間】

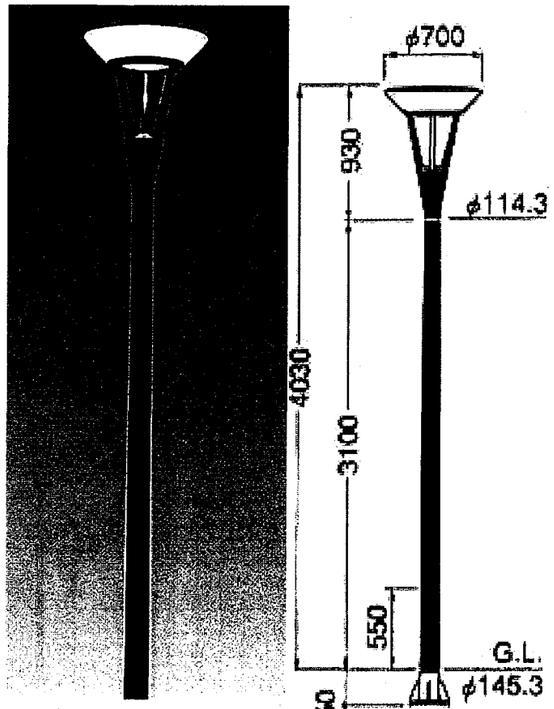
市道中川638号線～横浜生田線
【一部再整備区間】

横浜生田線～センター南駅
【新規整備区間】






メーカー：岩崎電気株式会社




HIDランプ70W～150W　防雨形

## H5828 ミーティス C

金方向配光

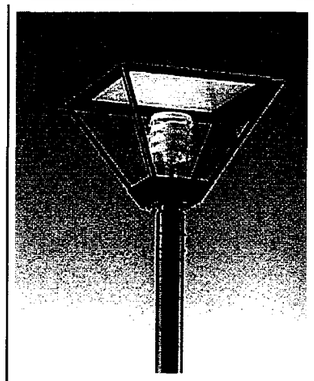
組み合わせ参考価格 ¥346,700

灯　具：H5828 ¥135,000
ランプ：NHT100SDX ¥13,500
安定器：NH51CCP2A(B)353 ¥19,200
ポール：PN3101BG/A30/BK △¥179,000

適合ランプ
- ハイラックス NHT70～150SDX　MT70～150SDW　MT70～150SW　MT70～150D
- FECサンルクスエース NHT70LS
- 水銀ランプ HF80～100X

仕様
本体：アルミダイカスト
反射板：アルミ
セード：ステンレス
グローブ：強化ガラス（クリア）、アクリル（乳白）
仕上色：黒色塗装（マンセルN2近似）
質量：12.1kg
ポール挿入寸法：φ89.1×130mm
適合ポール：埋込ベースプレート式＝PN3101BG/A30/BK
埋込式＝PN3101G/A30/BK
※ポールはP407掲載

メーカー：岩崎電気株式会社




HIDランプ110W～250W　防雨形

## H5664

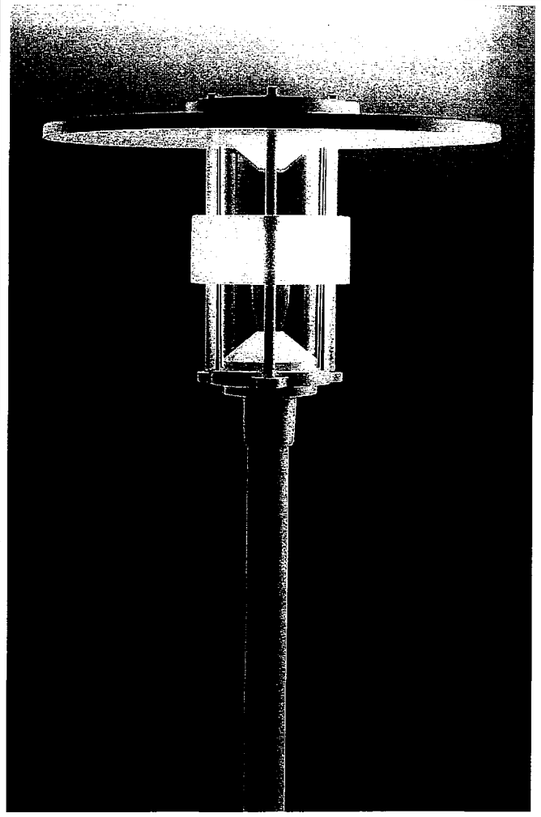
組み合わせ参考価格 △¥207,000

灯　具：H5664 ¥150,000
ランプ：HF250X ¥4,600
安定器：H2.5CC2A(B)352 ¥11,700
ポール：EYE12 △¥40,700

適合ランプ
- FECマルチハイエース MF250LS/BDP
- FECサンルクスエース NH110～220FLS
- アイ スペシャルクス NH150～250FDX
- 水銀ランプ HF200～250X

仕様
本体：枠=ステンレス、ベース=鋳物
グローブ：強化ガラス（グレーベン）
仕上色：ブラック
質量：11.0kg
ポール挿入寸法：φ89.1×140mm
適合ポール：EYE12（錆止め塗装）
※ポールはP410掲載

メーカー：岩崎電気株式会社



## U-811 (G･W) (灯具) ¥112,000 (ラ別)
## U4835 (G･W) (ポール) ¥84,000 (受注品)

合計 ¥196,000 NEW

●E26 普通ランプシリカ 150W×1

## H-020 (G･W) (灯具) ¥112,000 (ラ･安別)
## U4835 (G･W) (ポール) ¥84,000 (受注品)

合計 ¥196,000 NEW

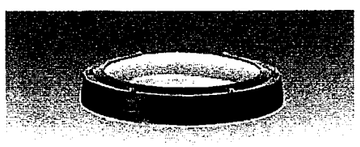
●E26 蛍光水銀ランプ 80W×1

●高･3920 巾･φ660 全長･4620㎜ 重･40.1kg
●アルミダイキャスト アルミ 塗装仕上 ポリカーボネート
●ポール:鋼 塗装仕上 ●埋込型
●ポール納期45日 ●防雨型 ●デンマーク製

メーカー：ヤマギワ株式会社

## ■センター南駅前植栽ライトアップ用　アッパーライト


HCW131B



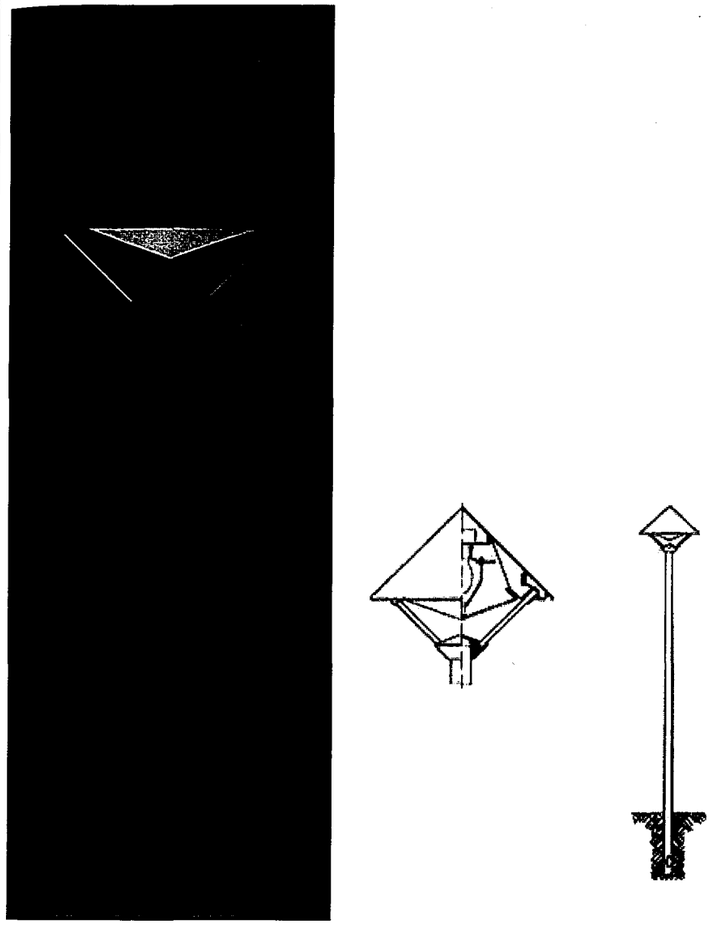
水銀ランプ100W 安定器内蔵形　防雨形

HCW131B-1TA (100V50Hz)
HCW131B-1TB (100V60Hz)

地中埋込ウォールウォッシャ配光

△¥80,700 (ランプ別･内蔵安定器付)

メーカー：岩崎電気株式会社



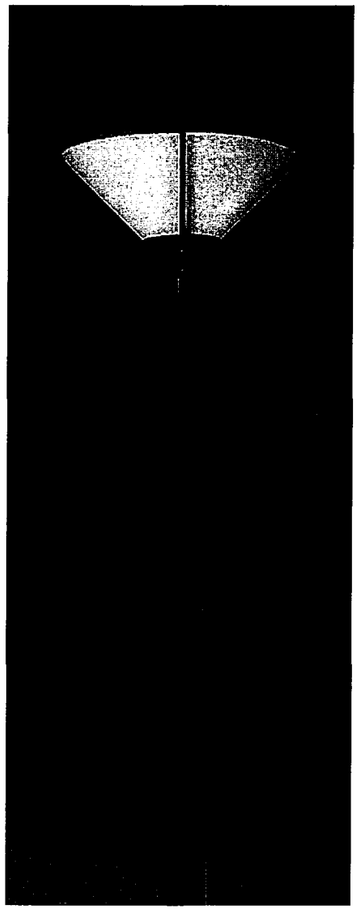


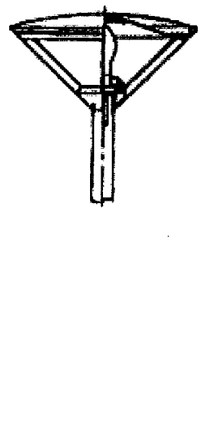


POLE TOP TECHNICAL SHADE IP44 防雨型

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| H4578B＋U4858B | E26 HID 100W×1 | φ650 | 3980 | 4680 | T | 対称配光 | ラ別 | 安別 | 受 | ¥308,000 |
| H4579B＋U4858B | E26 HID 100W×1 | φ650 | 3980 | 4680 | T | 非対称配光 | ラ別 | 安別 | 受 NEW | ¥322,000 |
| H4578B | 適合ポールリスト | U4858B(PH3500.T) | U4862B(PH4000.T) | U4865B(PH4500.T) | | | | | | |
| H4579B | 適合ポールリスト | U4858B(PH3500.T) | U4862B(PH4000.T) | U4865B(PH4500.T) | | | | | | |

メーカー：ヤマギワ株式会社

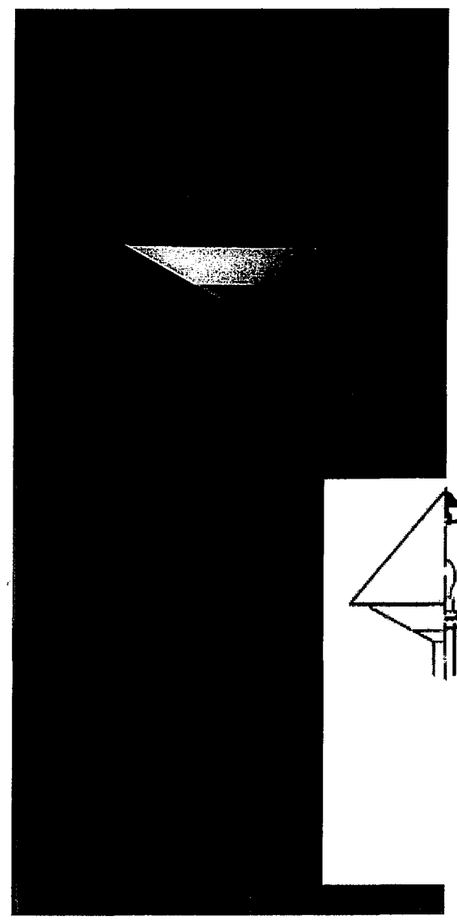


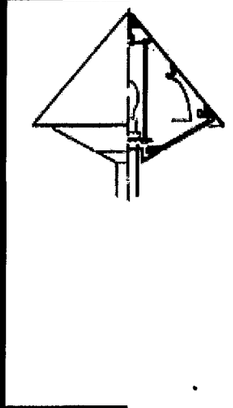




| 組み合わせ例 | | 幅 | 高 | 奥行 | 全高 | ポール | 特記 | | | 合計価格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| POLE TOP SHADE IP44 防雨型 | | | | | | | | | | |
| H4580B＋U4865B | E39 HID 250W×1 | φ710 | 4805 | 5505 | T | | 乳白プラスチック | ラ別 | 安別 受 | ¥313,800 |
| H4581B＋U4868B | E39 HID 400W×1 | φ850 | 5385 | 6185 | T | | 乳白プラスチック | ラ別 | 安別 受 NEW | ¥431,000 |
| H4580B | 適合ポールリスト | U4862B(PH4000.T) | U4820B(PH4500.S) | U4837B(PH4500.D) | U4865B(PH4500.T) | | | | | |
| | | U4868B(PH5000.T) | | | | | | | | |
| H4581B | 適合ポールリスト | U4868B(PH5000.T) | | | | | | | | |

メーカー：ヤマギワ株式会社





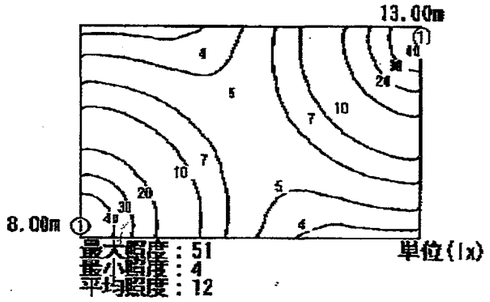


| 組み合わせ例 | | 幅 | 高 | 奥行 | 全高 | ポール | 特記 | | | 合計価格 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| POLE TOP TECHNICAL SHADE IP44 防雨型 | | | | | | | | | | |
| H4574B＋U4858B | E26 HID 100W×1 | φ650 | 3935 | 4635 | T | | 非対称配光 | ラ別 | 安別 受 NEW | ¥237,000 |
| H4573B＋U4865B | E39 HID 250W×1 | φ650 | 4935 | 5635 | T | | 対称配光 | ラ別 | 安別 受 | ¥253,000 |
| H4574B | 適合ポールリスト | U4858B(PH3500.T) | U4862B(PH4000.T) | U4865B(PH4500.T) | | | | | | |
| H4573B | 適合ポールリスト | U4862B(PH4000.T) | U4865B(PH4500.T) | U4868B(PH5000.T) | | | | | | |

メーカー：ヤマギワ株式会社

○条件
■照明器具　ヤマギワ株式会社　POLE　TOP　SHADE　IP44
　　Ｈ４５０８Ｂ
■光源　水銀灯 200W
■取り付け高さ　４ｍ
■ランプ光束　9900lm
■配置パターン　コリドー両側で交互に千鳥配置

①最小照度４～５ルクス時の照明灯のピッチ



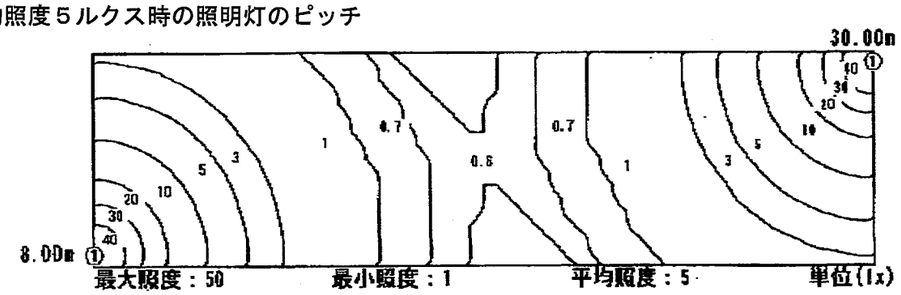

| 器具記号 | ① |
|---|---|
| 器具名 | H4580B |
| ランプ名 | HF200W |
| ランプ光束(lm) | 9900.0 |
| 保守率 | 0.70 |
| 器具台数 | 4 |
| 光源高(m) | 3.70 |

商業施設間の歩行者専用道路であることに配慮し、普通の歩専道よりも照度を高く確保することを考えた場合は10～15ｍピッチで十分な照度が得られる。

器具@13.0m

参考値

②平均照度５ルクス時の照明灯のピッチ




| 器具記号 | ① |
|---|---|
| 器具名 | H4580B |
| ランプ名 | HF200W |
| ランプ光束(lm) | 9900.0 |
| 保守率 | 0.70 |
| 器具台数 | 4 |
| 光源高(m) | 3.70 |

平均照度５ルクス（最小照度１ルクス）の確保で考えた場合、最長ピッチは約30ｍほどである。

器具@30.0m

参考値

## ■植栽の考え方

**○近隣公園～早渕川区間ではそれぞれのオープンスペースを結ぶ“緑の軸線”として、コリドーの両脇に樹木を植える。**

・近隣公園や早渕川の自然やそこでの活動形態と同じく四季の移り変わりが感じられる花木・落葉樹種（ハナミズキなど）を選定する。

・２つの鉄道高架構造物に挟まれているため、日陰に強い樹種を選定する。

**○センター南駅～市道中川 641 号線区間では、センター南駅のゲート性を演出するためコリドーの両脇に樹木を植える。**

・インパクトがあり、四季の移り変わりのわかる花木・落葉樹種（エゴノキなど）を選定する。

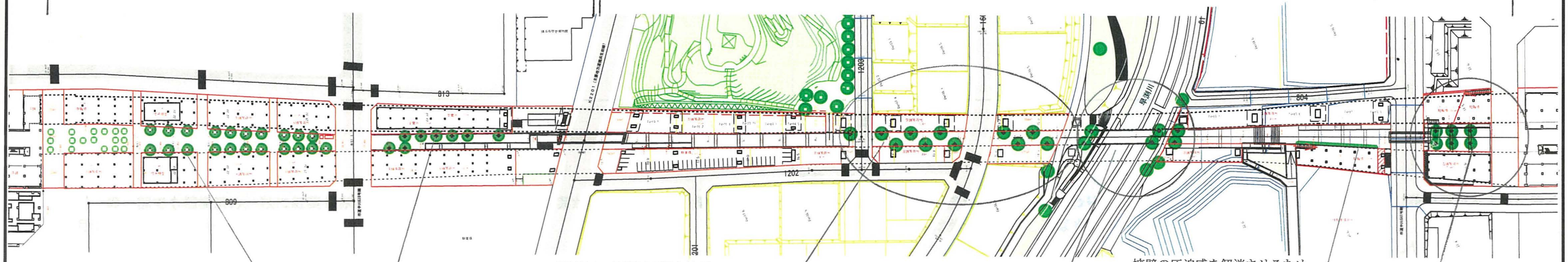
**○早渕川部分は河川沿いの歩専道との交差部でもあり、親水空間も整備されることから、コリドー側もこれに合わせて樹木を植える。**

・鉄道高架構造物があまり目立たないよう常緑の高木を選定する。

**○センター南駅から北側の駐輪場施設の脇には２m近い直擁壁ができることから、これに面して圧迫感を緩和するサツキツツジ等の潅木植栽帯を設置する。**

センター北駅～横浜生田線
【整備済み区間】

横浜生田線～センター南駅
【新規整備区間】





## ハナミズキ

落葉・高木
既にコリドーの一部でも植樹済み。秋に紅葉し赤い実がなる、４月には白・桃・赤色の花が咲く。

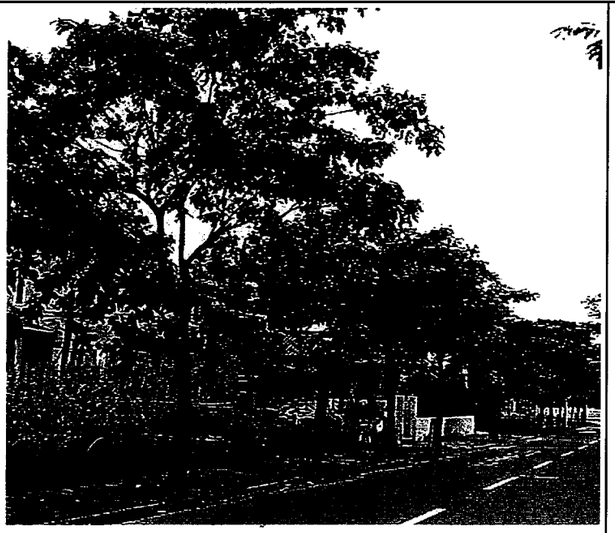
→既にコリドーの一部で供用済みであり、近隣公園～早渕川区間の“緑の軸”に植えることが考えられる。、



## オオモミジ

落葉・高木
葉が大振りで新緑や紅葉が美しい。性質強健で成長も早い。

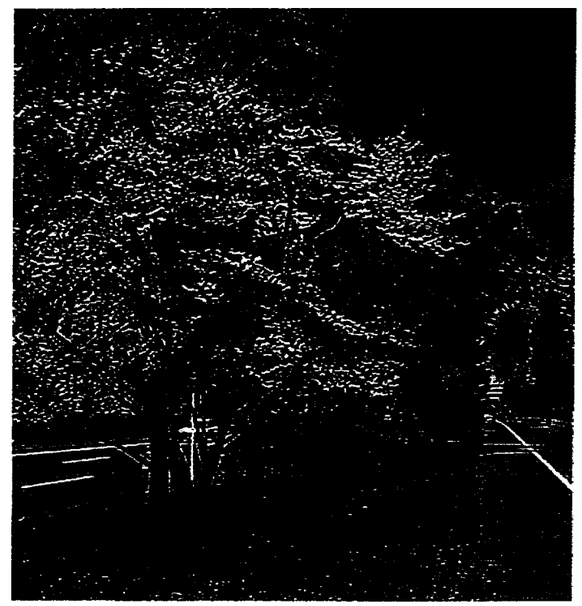
→四季の移　り変わりを鮮やかに表現したい近隣公園～早渕川の自然環境空間で植えることが考えられる。



## ネムノキ

落葉・高木
６月～８月ごろ、刷毛の先のようなふんわりとした淡紅色の花が咲く。性質は強健で土壌を選ばず旺盛に生育する。

→枝葉がまばらで緑陰範囲が狭いことから、高架構造物等の構造物の圧迫感を低減するセンター南駅前のゲート空間や早渕川～近隣公園区間で植えることが考えられる。



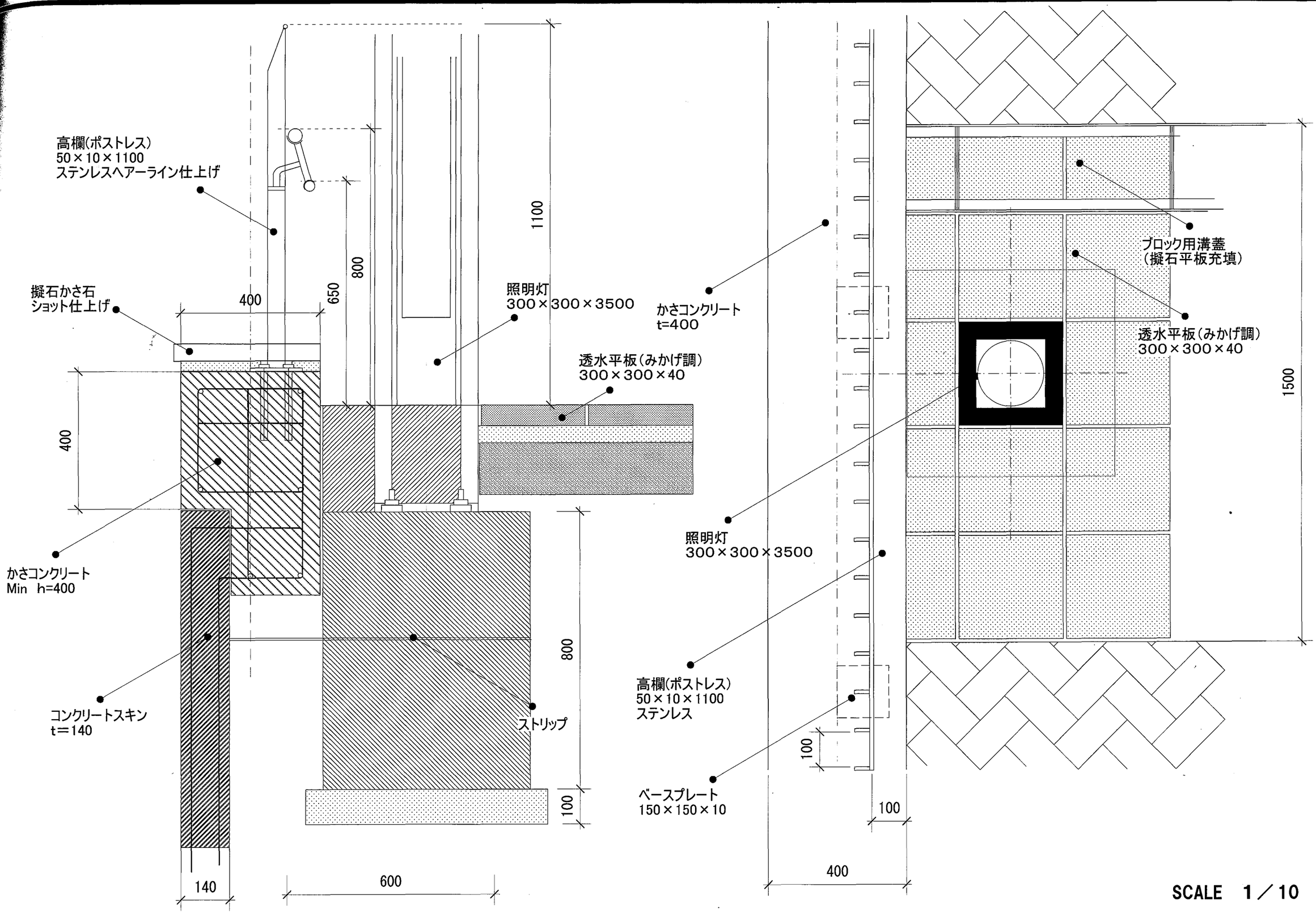
## エゴノキ

落葉・高木
５月～６月ごろ、葉の下に白い花が群がるように咲く

→樹高が高くならず枝分かれしやすい樹形と群がって美しい花を咲かせる性質を活かしてセンター南駅前のゲート空間などで植えることが考えられる。

# 7．　高欄のデザイン及び擁壁等との取り合い図①

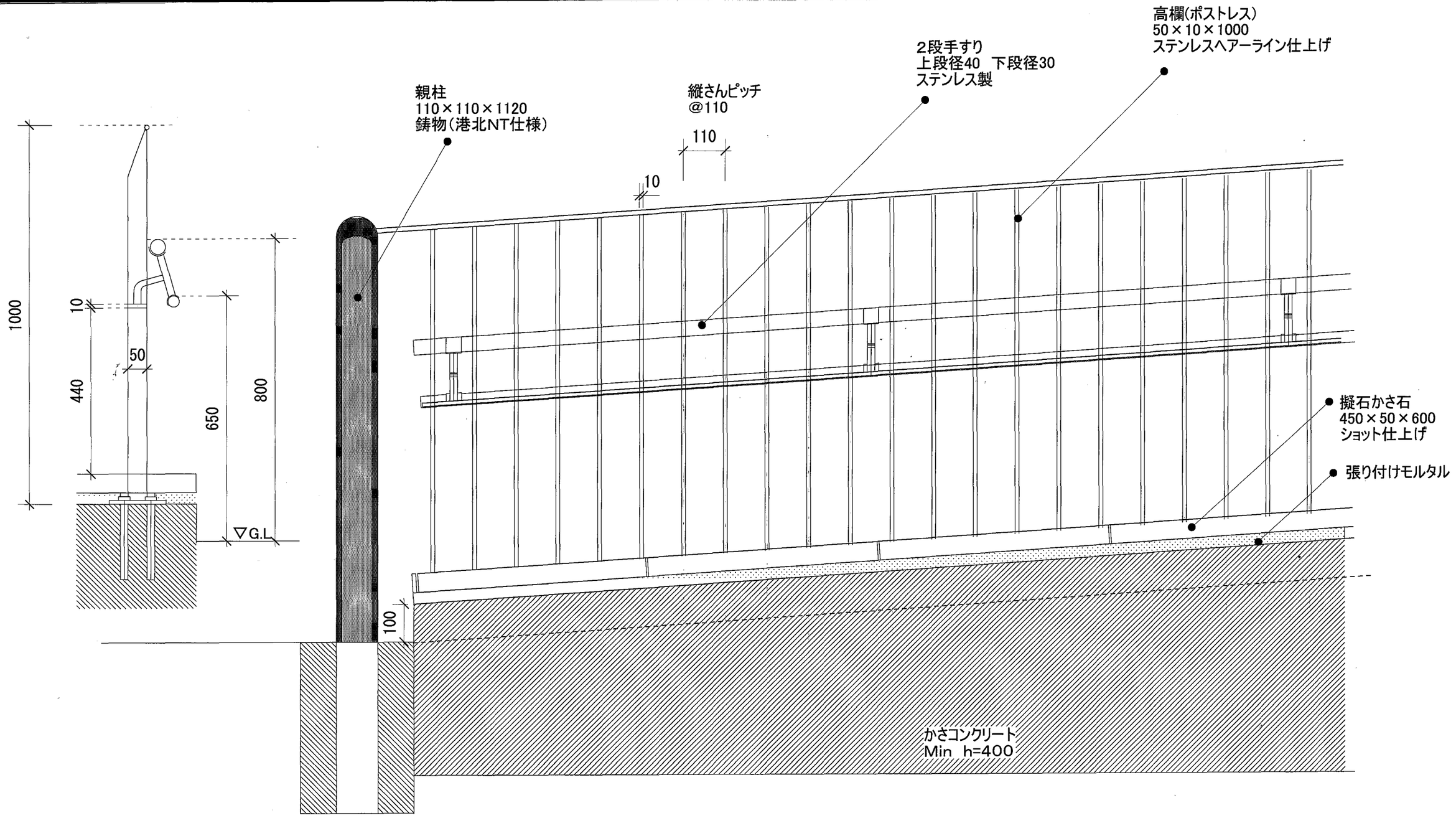





SCALE　1／10

# 7．　高欄のデザイン及び擁壁等との取り合い図②






SCALE　1／10

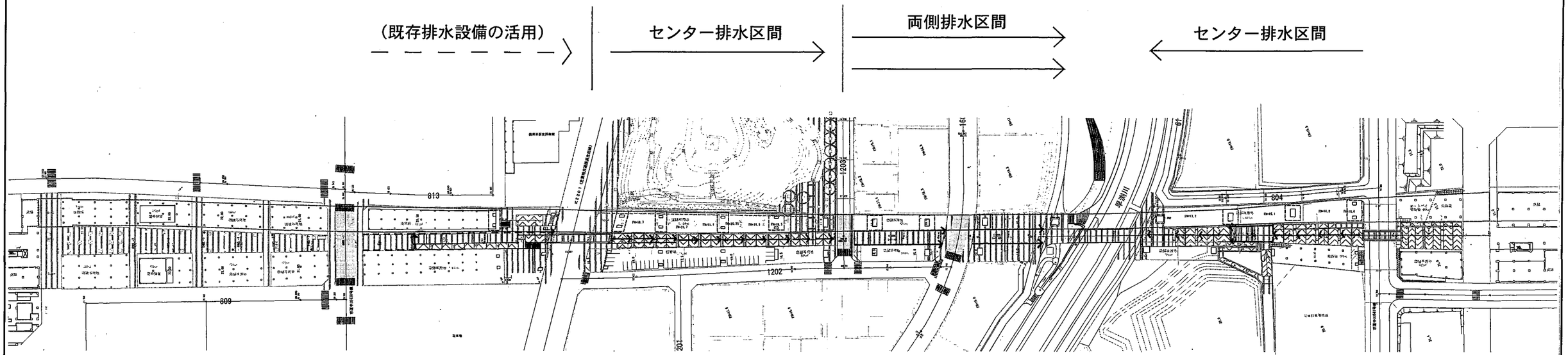
## ■排水の考え方

**○鉄道用地内の店舗等への影響に配慮し、コリドー内は既設の整備箇所および地上部の一部を除いてセンター排水形式とする。**

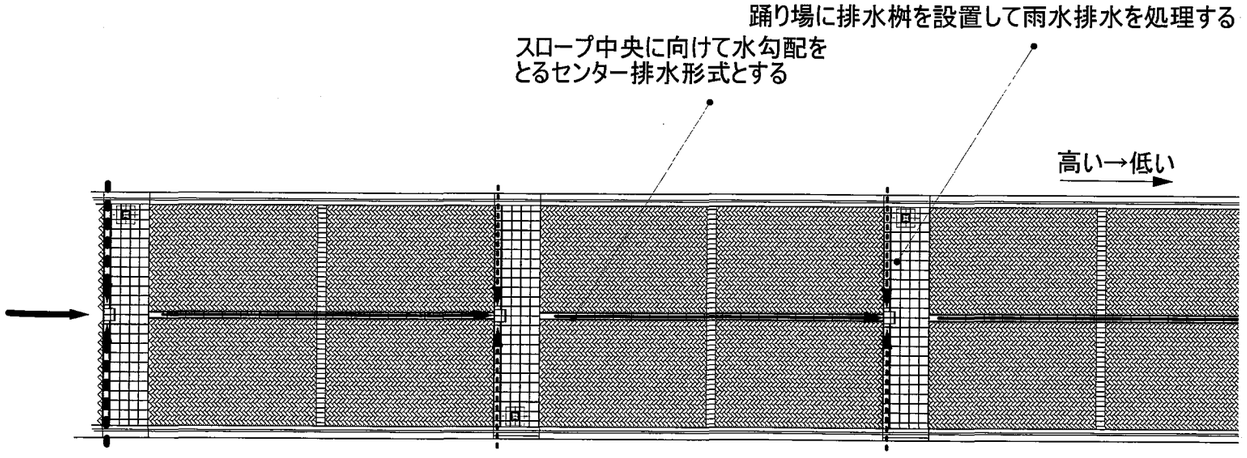
・地上部分は舗装材に勾配をつけた溝型側溝を基本とする。

・スロープ部分は舗装材が充填できる溝蓋とする。

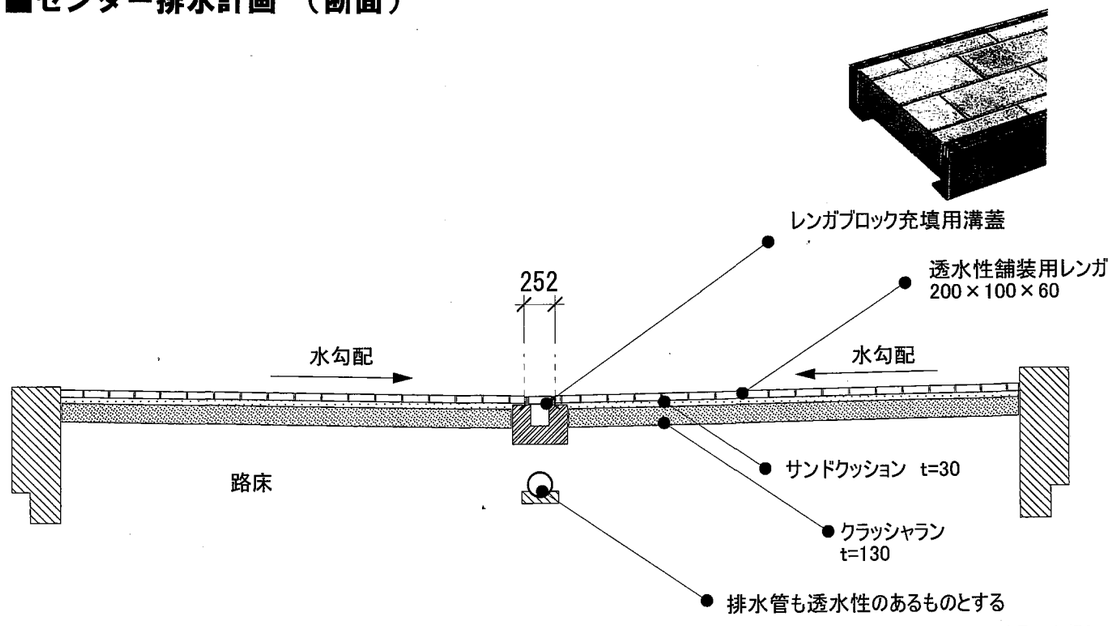
**○スロープ部分は踊り場に集水マスを設置する。**




## ■センター排水計画　（平面）




## ■センター排水計画　（断面）

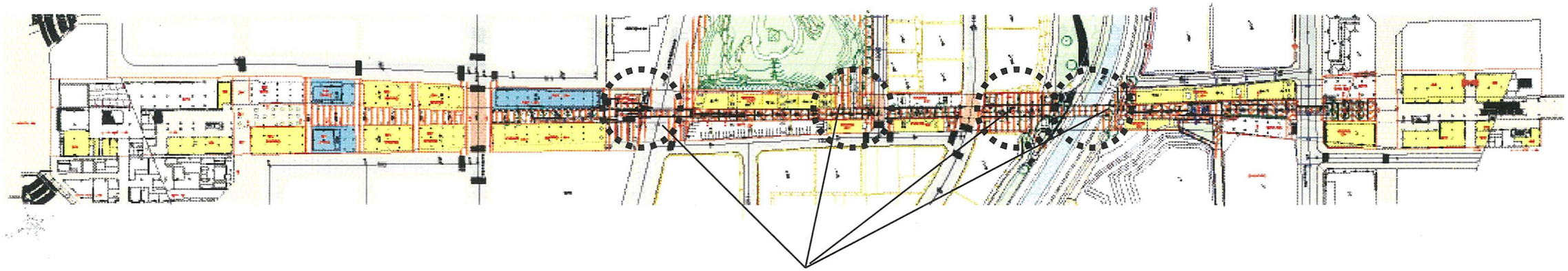


## ■ストリートファニチュア設置の考え方

○コリドーは幅員が８ｍ未満の狭い区間が長く、またスロープ勾配区間がほとんどであることから、ストリートファニチュア等をコリドー内に設置すると逆に自転車の通行などに支障をきたす可能性が高い。よって、あくまで通行を目的とするコリドー内には基本的に設置せず、鉄道用地と合わせて広大なスペースが確保される早渕川～近隣公園区間で部分的に擬木ベンチを設置するに留める。

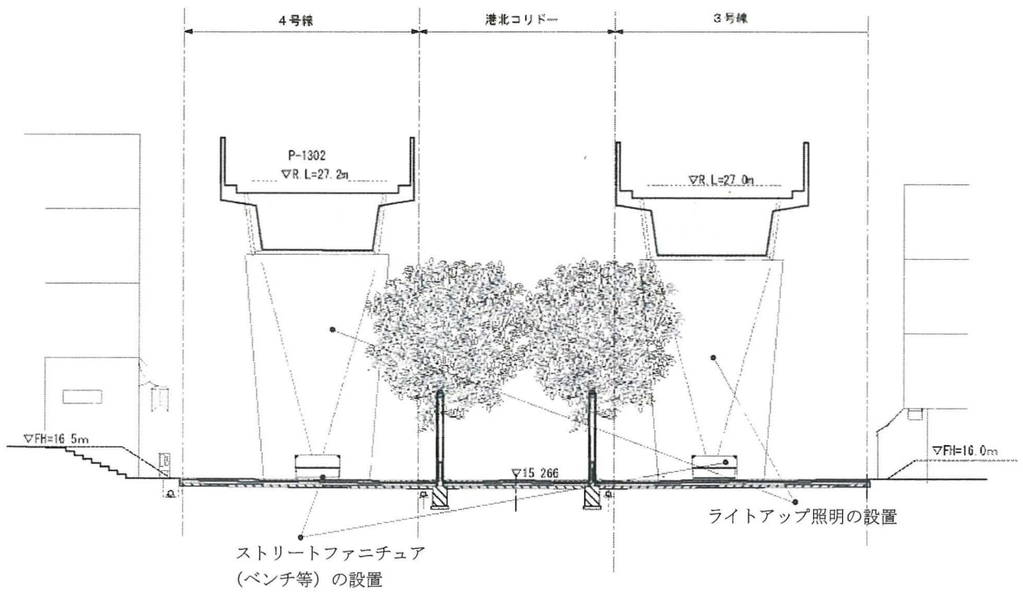
・ベンチは暖かみのある擬木製品とする。

・単体で断続的に置くのではなく、ポイントをしぼって２～３個の群で設置する。

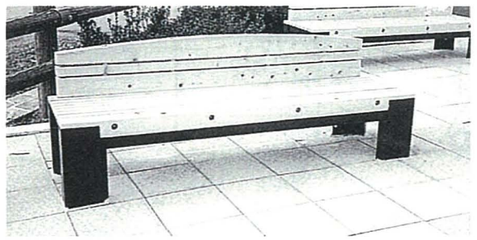


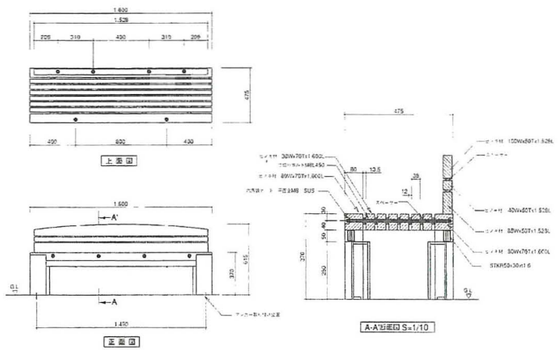
コリドーと一体的な公共利用スペースが得られる場所の
鉄道用地側にベンチを設置する

## ■ベンチの設置イメージ

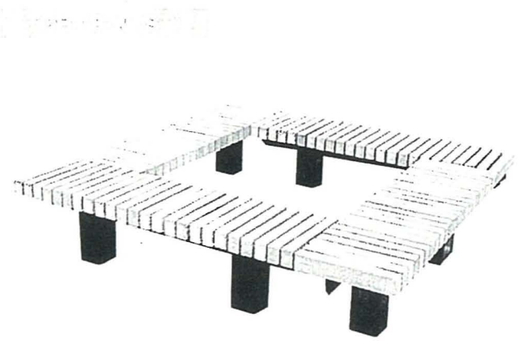



## ■ベンチのデザインイメージ



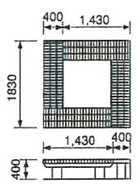


早渕川親水空間と一体的な利用が図れる場所では、サークルベンチの設置も考えられる。ただし、デザインは擬木でシンプルなものとする。



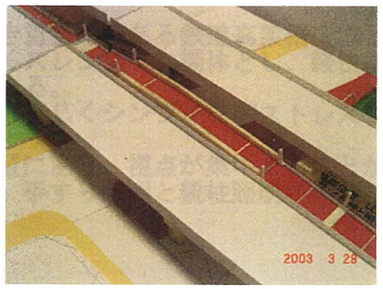
●標準仕様／足部:角鋼
座部:木製（ジャトバ材）
●レギュラー品の座部はボルト露出となります。
●写真の木部は旧タイプです。

基礎埋込タイプ



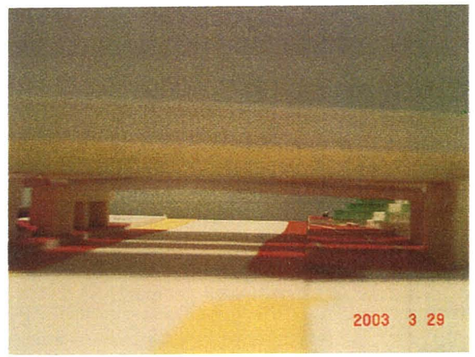
# 10.　歩道橋計画図①　（主要地方道横浜生田線横断部）





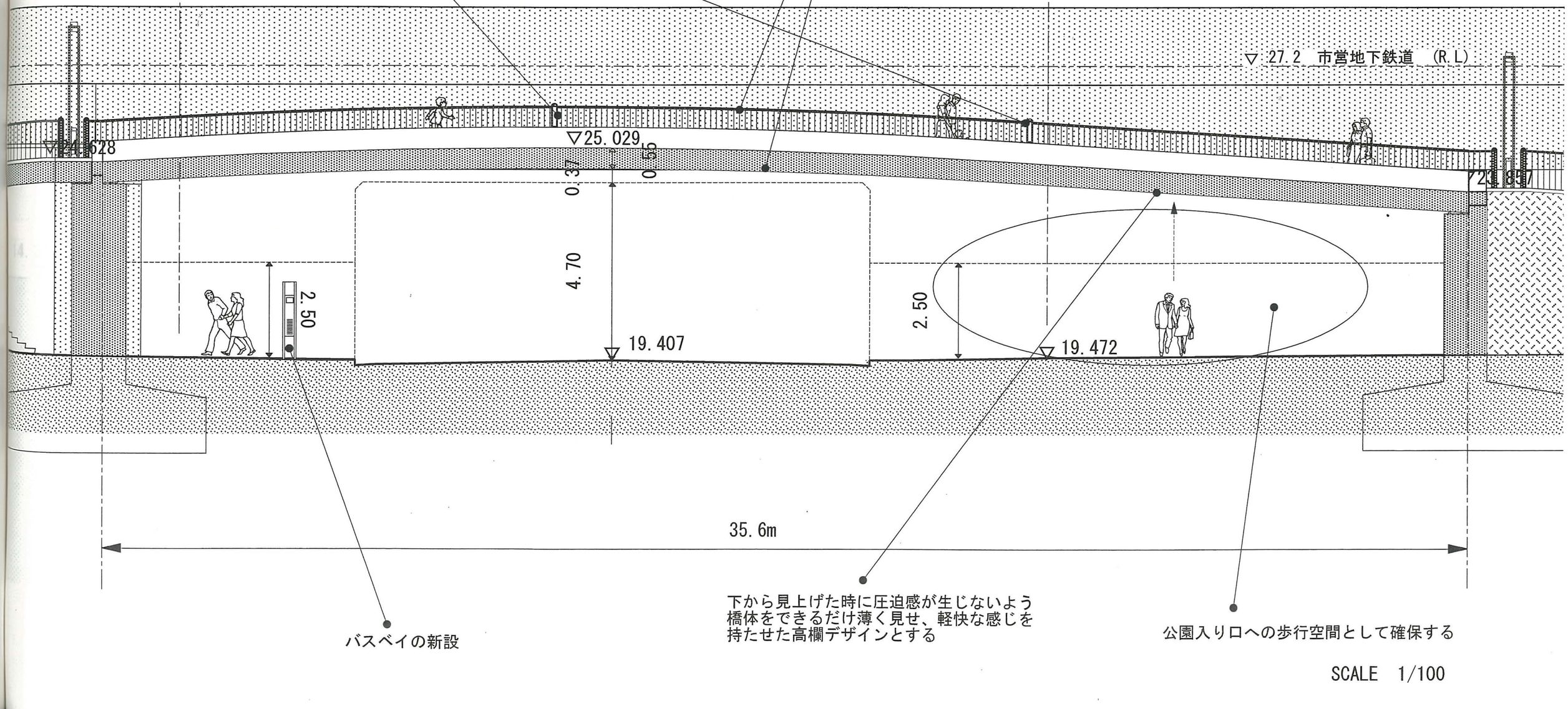

センター北駅　　センター南駅

■歩道橋のデザイン
※３号線・４号線と重なる高さとなるので斜め下から橋体を見上げた時にできるだけ薄く見えるようにする。具体的には、躯体の一部がテーパー状に切れ込んだデザインが考えられる。
※高欄はうっとおしくならないようコリドー側と合わせたポストレスタイプのものを使用する。
※躯体の色は高架構造物と合わせて目立たないよう白系色とし、橋脚に下にアルミスパンドレルを設置して、全体として軽快な感じの高架下空間を創出させる。




手すり照明の設置

主要地方道横浜生田線(W=22.0)




バスベイの新設

下から見上げた時に圧迫感が生じないよう橋体をできるだけ薄く見せ、軽快な感じを持たせた高欄デザインとする

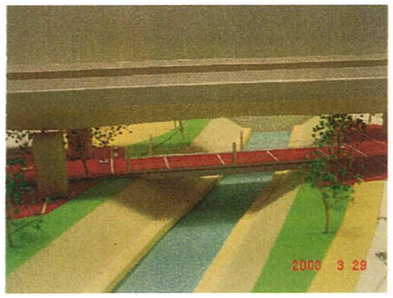
公園入り口への歩行空間として確保する

SCALE　1/100

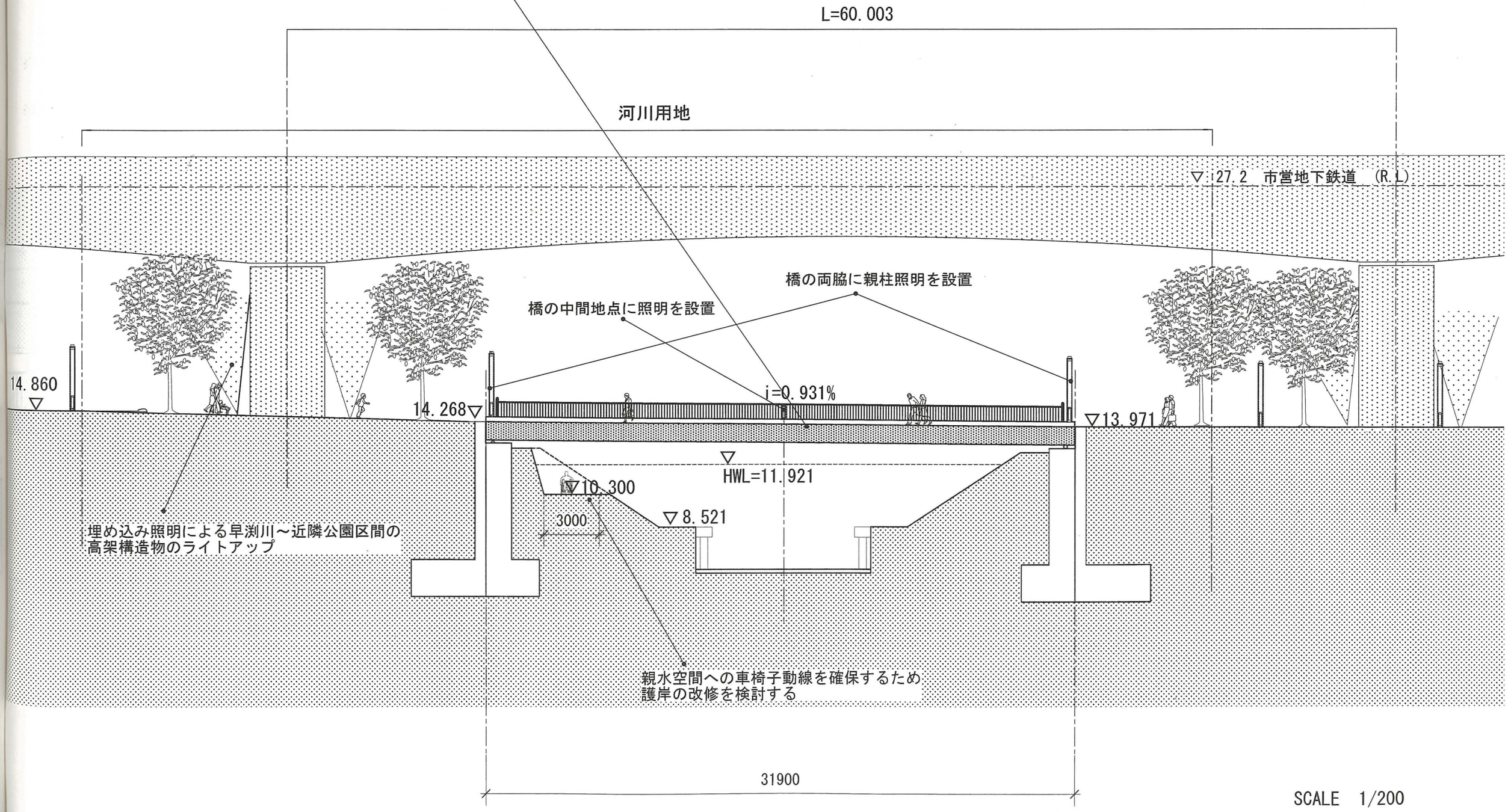
# 10.　歩道橋計画図②　（早渕川横断部）



■歩道橋のデザイン
※ゆるやかなアーチを描き重量感のある鉄道高架構造物と対照的にできるだけ薄くスレンダーな橋体とし、軽快な印象を持つデザインとする。
※高欄手すりもコリドーと同じくシンプルなポストレスタイプのものを使用する。
※コリドーで最も低い位置にあり、視点が集中することからアイストップとして、手すり照明と親柱照明を設置し明るい空間を創出させる。




センター北駅　←→　センター南駅

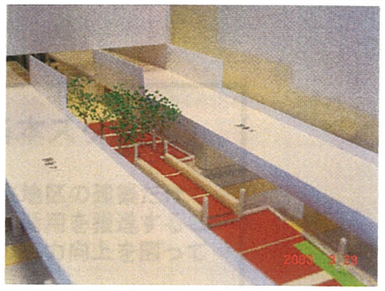



SCALE　1/200

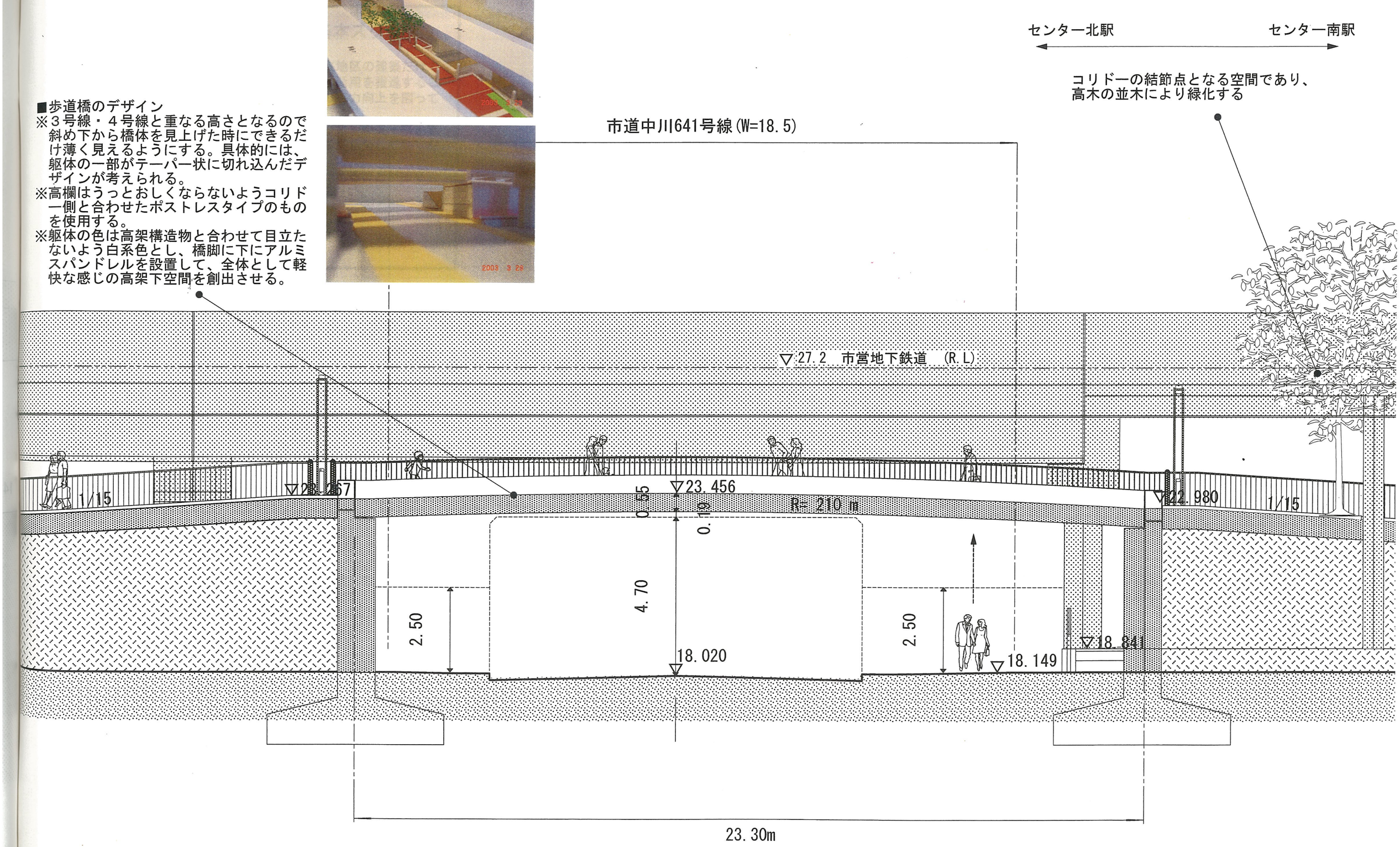
# 10.　歩道橋計画図③　（市道中川 638 号線横断部）



■歩道橋のデザイン
※３号線・４号線と重なる高さとなるので斜め下から橋体を見上げた時にできるだけ薄く見えるようにする。具体的には、躯体の一部がテーパー状に切れ込んだデザインが考えられる。
※高欄はうっとおしくならないようコリドー側と合わせたポストレスタイプのものを使用する。
※躯体の色は高架構造物と合わせて目立たないよう白系色とし、橋脚に下にアルミスパンドレルを設置して、全体として軽快な感じの高架下空間を創出させる。





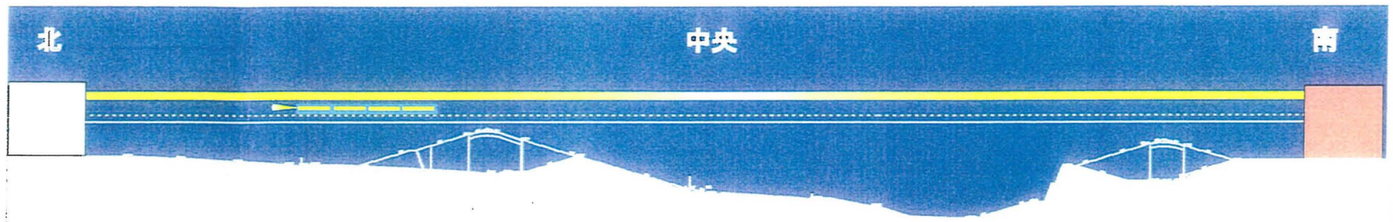


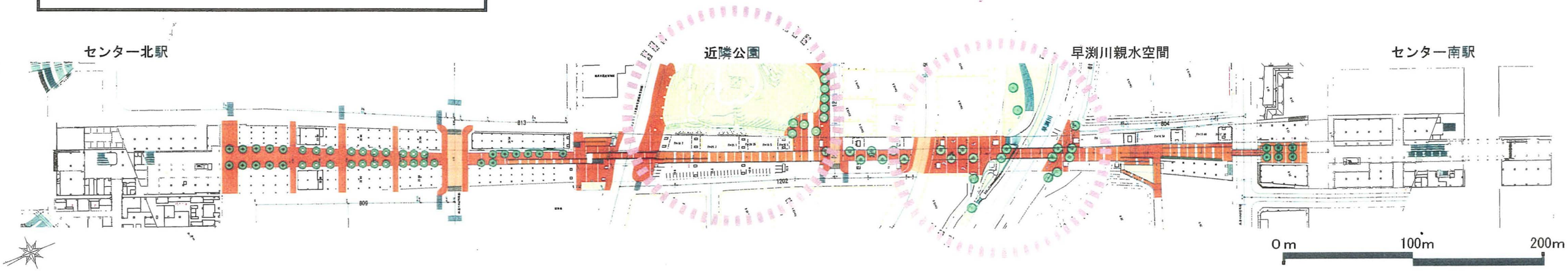

SCALE　1/100

## 魅力活性化に向けた提案の基本スタンス

○港北コリドーのハード整備と港北中央地区の建築だけでなく、港北コリドーそのものの多様な活用を推進することにより、港北タウンセンター地区の魅力向上を図っていく必要がある。
○港北コリドーは港北タウンセンターの北・中央・南を貫く共通の公共空間であり、３つの地区が共働して取り組む仕掛けの構築を検討したい。
○地元の行事として、継続しておこなわれることが望ましく、地元地権者の共働の取り組みとしたい。

また、港北ニュータウンの完成を記念したモニュメントの設置も考えられる。
（例えば、北・南・中央地区を貫く“光のレーザービーム”）




## 活性化案１．タウンセンター　野外アートフェスティバル

○南北シンボル広場やコリドー、近隣公園、早渕川親水広場等の広大なオープンスペースを舞台とした若手新進アーティストの作品発表の場（彫刻・舞踏・映像・音楽等）として、例年開催する。

（EX.　ポートサイド地区のアート縁日、関内の街灯芸術展、野毛大道芸）




写真はイメージ

## 活性化案２．フラワーフェスティバル（港北ニュータウン園芸博覧会）

○やはり南北シンボル広場・コリドー・近隣公園・早渕川親水広場等の広大なオープンスペースを使って、花壇づくり、各種花卉栽培品の展示即売、フラワーアートコンテスト花絵コンクールなどを例年（５月など）開催する。

（EX.　山手チューリップアートプロムナード、新潟花絵フェスティバル）




写真はイメージ

## 活性化案３．ランタンフェスティバル

○南北を一直線に結ぶコリドーの特性を生かして、コリドー沿いに港北ニュータウン住民手づくりのランタンを掲げるイベントを開催する。
○これに合わせて、南北シンボル広場等で高架構造物を使った夜の野外映写会やダンスパフォーマンスなどをおこなうことも考えられる。

（EX.　鎌倉・鶴岡八幡宮のぼんぼり等）




写真はイメージ

■港北ニュータウン14号線歩行者専用道路　概算工事費

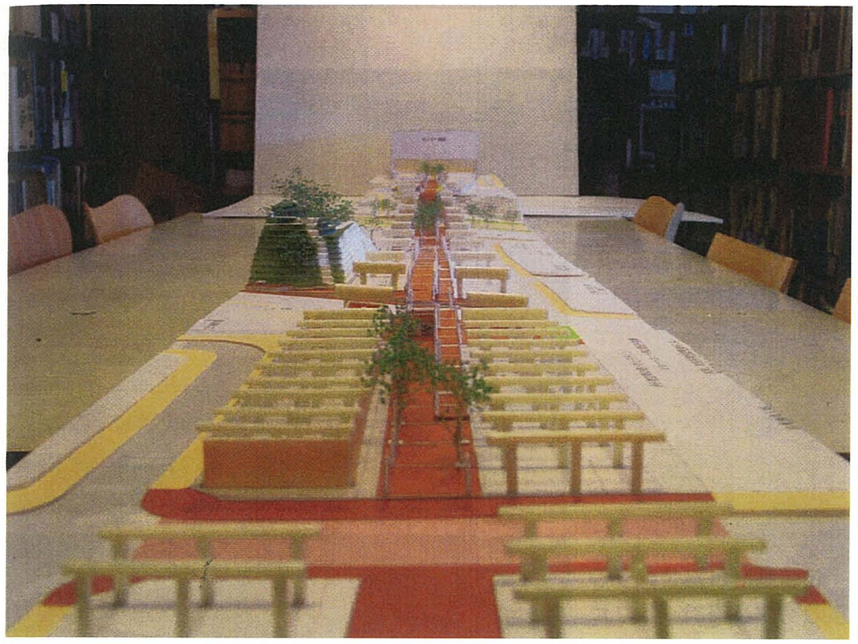
| 項目・仕様 | | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 舗装工 | 透水性レンガ風ブロック | 5,300 | ㎡ | 5,000 | 26,500,000 | |
| | 透水性平板 | 700 | ㎡ | 7,000 | 4,900,000 | |
| | ブロック充填用溝蓋 | 650 | m | 50,000 | 32,500,000 | 受枠込み |
| | ブロック充填用集水桝 | 50 | 箇所 | 40,000 | 2,000,000 | 受枠込み |
| | 路盤整備工 | 6,000 | ㎡ | 5,000 | 30,000,000 | |
| | 小計 | | | | 95,900,000 | |
| 雨水排水工 | 側溝工（U型のみ） | 650 | m | 10,000 | 6,500,000 | センター排水形式 |
| | 配管工 | 370 | m | 20,000 | 7,400,000 | センター排水形式 |
| | 小計 | | | | 13,900,000 | |
| 照明工 | 照明灯 | 54 | 基 | 200,000 | 10,800,000 | |
| | 照明器具工 | 54 | 基 | 40,000 | 2,160,000 | 立て込み・接地工含む |
| | 管路布設工 | 700 | m | 7,000 | 4,900,000 | |
| | ケーブル配管工 | 700 | m | 1,000 | 700,000 | |
| | 小計 | | | | 18,560,000 | |
| 植栽工 | 高木（エゴノキ　h=3.5） | 23 | 本 | 10,000 | 230,000 | |
| | 植付け工 | 23 | 本 | 40,000 | 920,000 | |
| | 潅木 | 80 | ㎡ | 8,000 | 640,000 | 植付け工含む |
| | 木製支柱 | 23 | 箇所 | 4,000 | 92,000 | 設置工含む |
| | 小計 | | | | 1,882,000 | |
| 柵工（高欄） | 普通工（溶融亜鉛メッキ仕上げ） | 820 | m | 30,000 | 24,600,000 | 設置工含む |
| | | | | | 24,600,000 | |
| | | | | | | |
| 直接工事費 | | | | | | |
| | 舗装工 | | | | 95,900,000 | |
| | 雨水排水工 | | | | 13,900,000 | |
| | 照明工 | | | | 18,560,000 | |
| | 植栽工 | | | | 1,882,000 | |
| | 柵工（高欄） | | | | 24,600,000 | |
| | 小計 | | | | 154,842,000 | |
| 諸経費 | | | | | 77,421,000 | 直接工事費の約50% |
| 合計 | | | | | 232,263,000 | |

港北中央地区

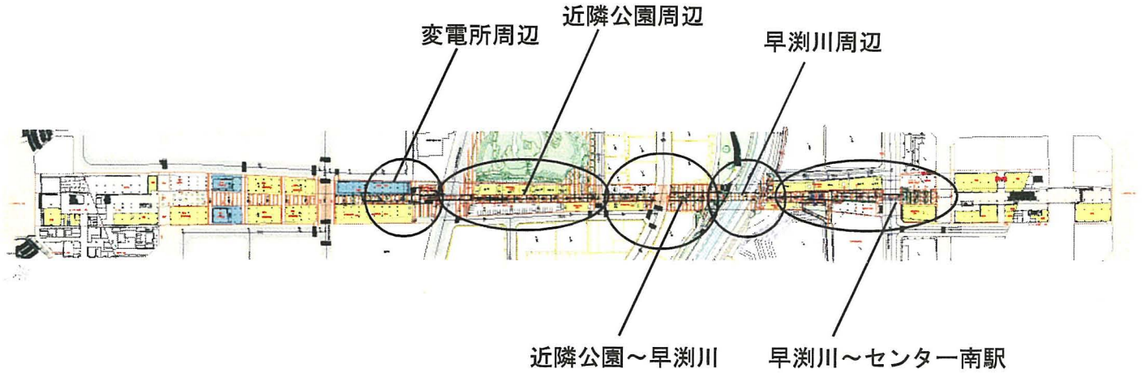
港北ニュータウン１４号線歩行者専用道路デザイン他設計業務　報告書

# 参考資料

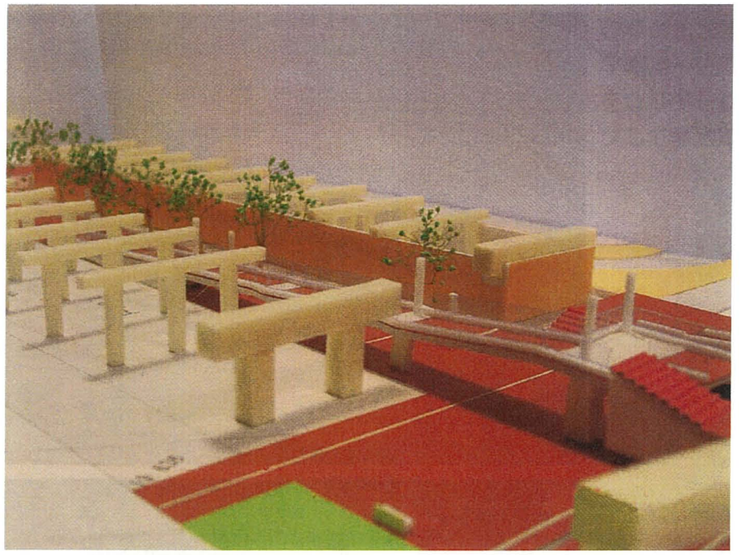
参考資料①. 港北コリドー全体模型による検討
参考資料②. 港北コリドーに関わる交通局用地の整備方針
参考資料③. 港北コリドーに関わるデザイン調整
参考資料④. テールアルメ擁壁上における照明・手すりのイメージ



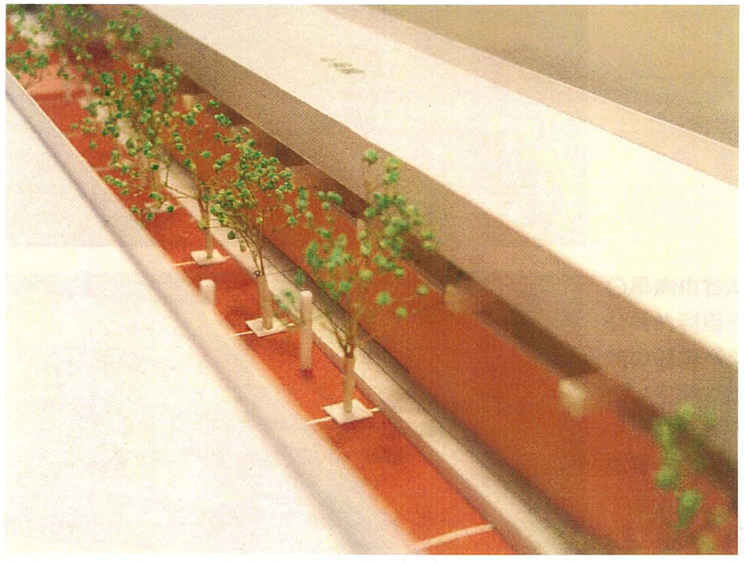
○港北コリドーの全体像
（センター北駅側からセンター南駅方面を見る。手前は市道中川 638 号線）




①変電所周辺

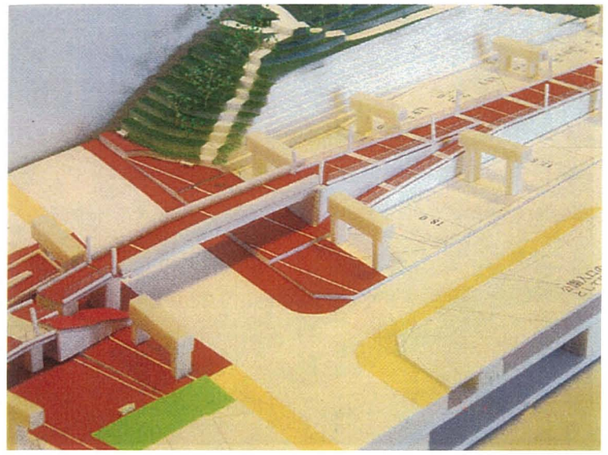


コリドーの横浜生田線寄りのスロープ部分では、広い空間を確保するため下を歩行者が通り抜けられるようにする。

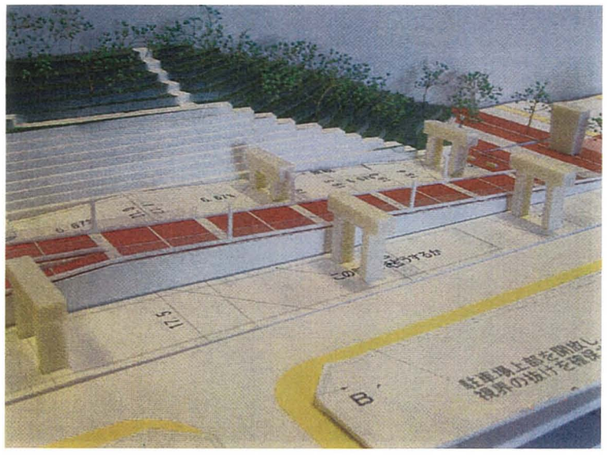


変電所の外壁は圧迫感を生じさせないよう、セットバックして緩衝帯を確保し、外壁素材はコリドーと合わせて落ち着いたものを選ぶ
（ガラスブロック・レンガタイル等）

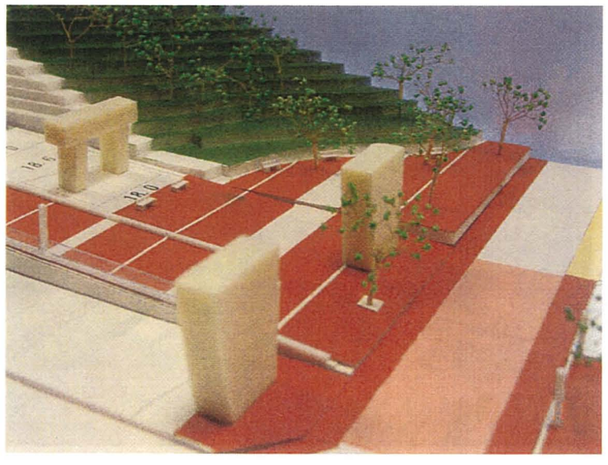
②近隣公園周辺



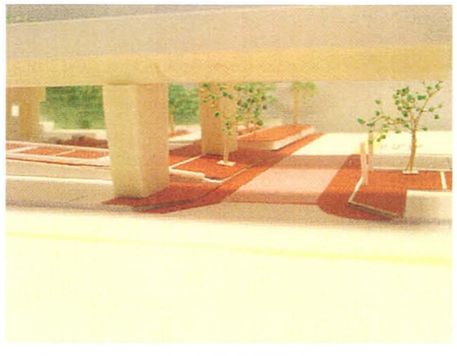
〇横浜生田線側の近隣公園入り口
コリドーの舗装パターンを公園入り口まで連続させる。



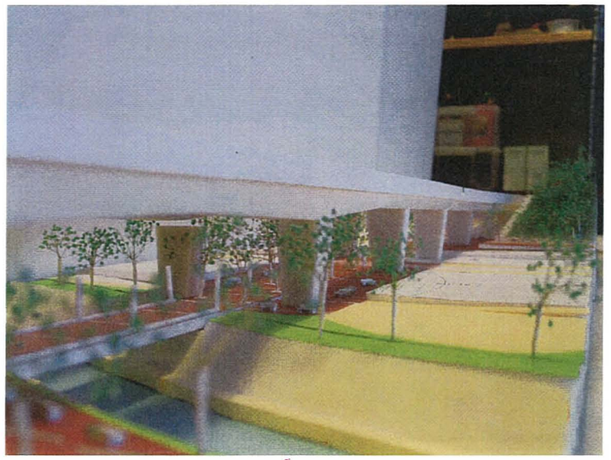
〇近隣公園の擁壁部分
コリドーに面して、鉄道用地側では店舗等の土地活用を図る。手前は駐車場用地を想定。



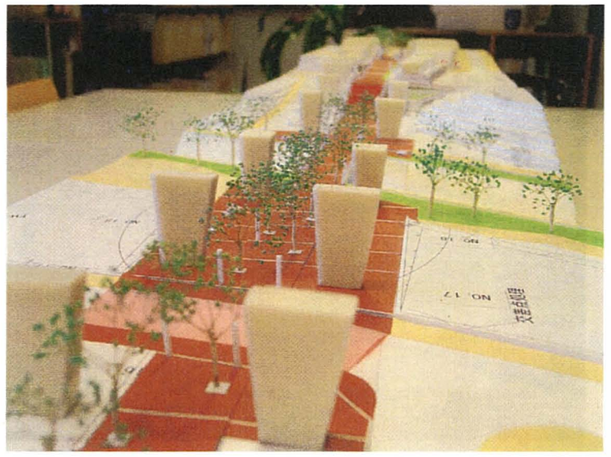
〇早渕川側の近隣公園入り口
公園の入り口とコリドーの舗装を統一させるとともに早渕川～近隣公園から連続する街路樹をコリドー内にも植える。また、コリドーと区画道路の交差部分では道路の舗装をカラーにするなどしてコリドー歩行者の安全性を高める。



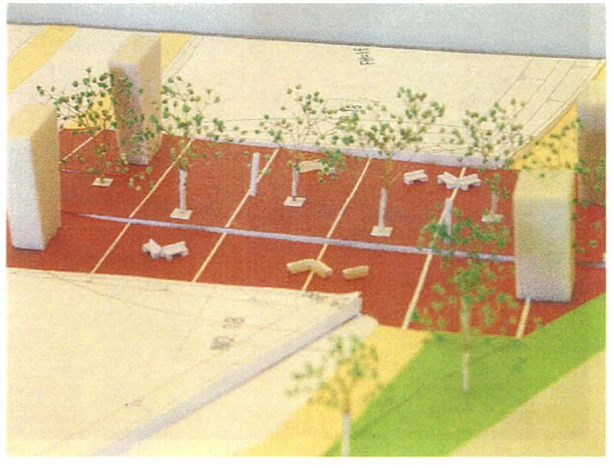
③近隣公園～早渕川



〇早渕川左岸から近隣公園方面を見る
早渕川～近隣公園の区間でハナミズキ等の街路樹をコリドーに植え、鉄道高架構造物をライトアップして早渕川周辺でにぎわいと自然の創出を図る。

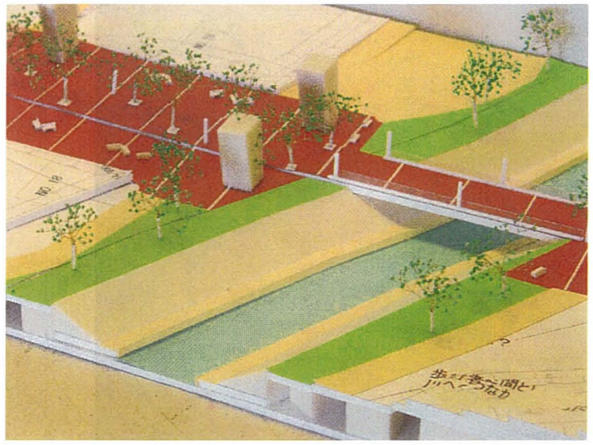


〇近隣公園から早渕川方面を見る
近隣公園～早渕川区間コリドー内の街路樹による“緑の軸”

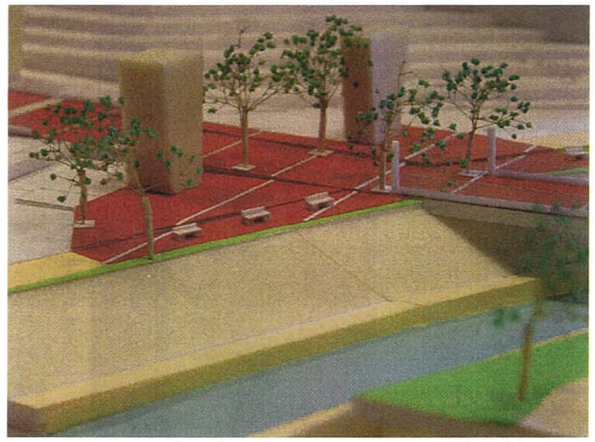


〇早渕川右岸のコリドー
公共的利用を図る鉄道施設用地の舗装はコリドー側の舗装パターンと統一させる。また、こうした広い空間では鉄道用地側にベンチ等のストリートファニチュアを設置し、商業施設と河川空間とともに寄与するにぎわいの創出を図る。

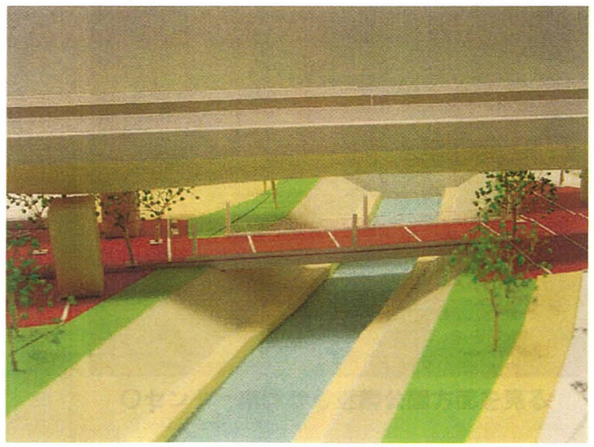
④早渕川周辺



○早渕川親水空間周辺
鉄道用地側の舗装パターンをコリドーと一体的にしベンチ等のストリートファニチュアを置いて、河川親水空間との調合を図る。

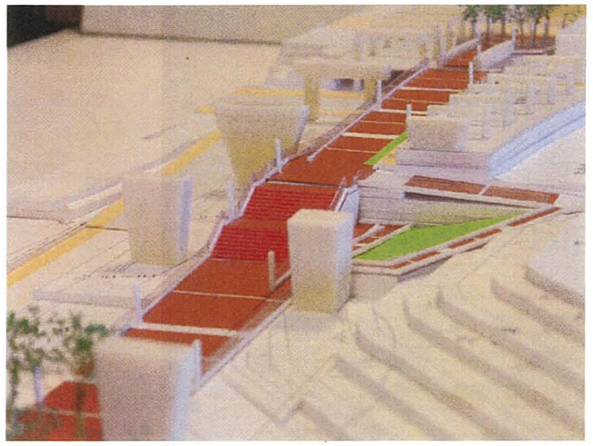


○早渕川左岸
河川プロムナードとの交差部分でもあり、部分的にベンチ等を配置して、人のたまりによるにぎわいの創出を図る。

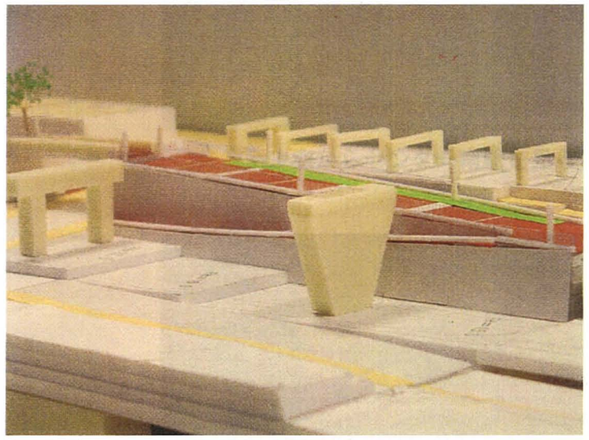


○早渕川側の近隣公園入り口
高架構造物がかなり高い位置に通っているが、河川周辺には圧迫感の強い橋脚が建っている。このため、街路樹・植栽を多く配置してその印象を弱める努力をおこなう必要がある。

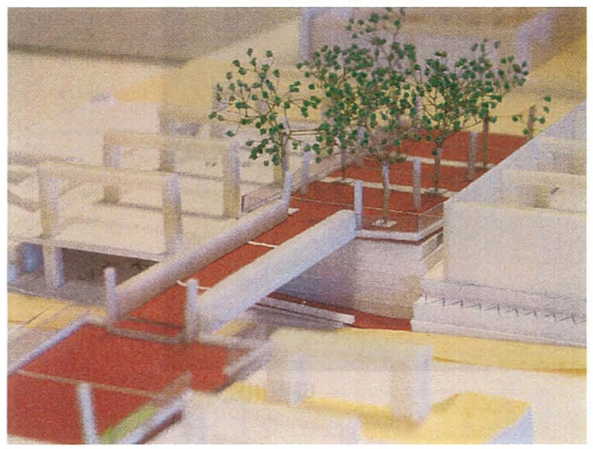
⑤早渕川～センター南駅



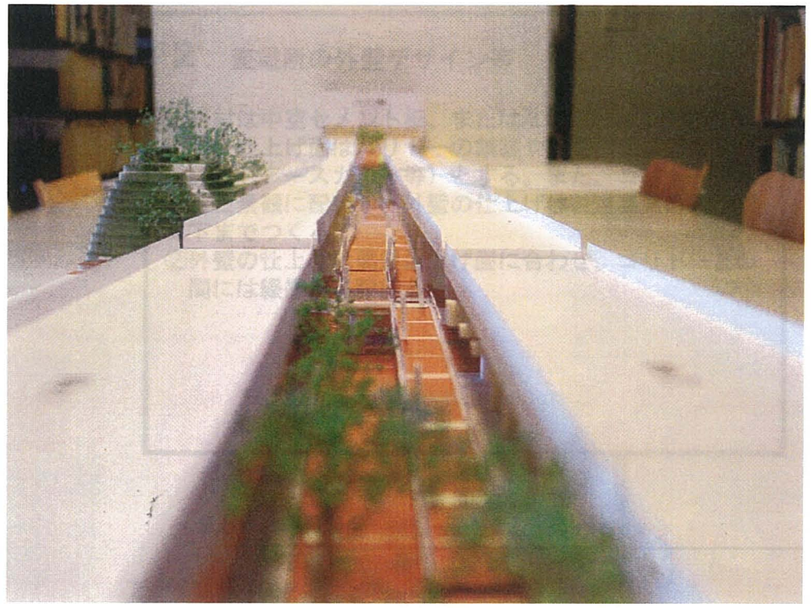
○早渕川からセンター南駅方面へ
途中で階段とそれを迂回するスロープ部分がある



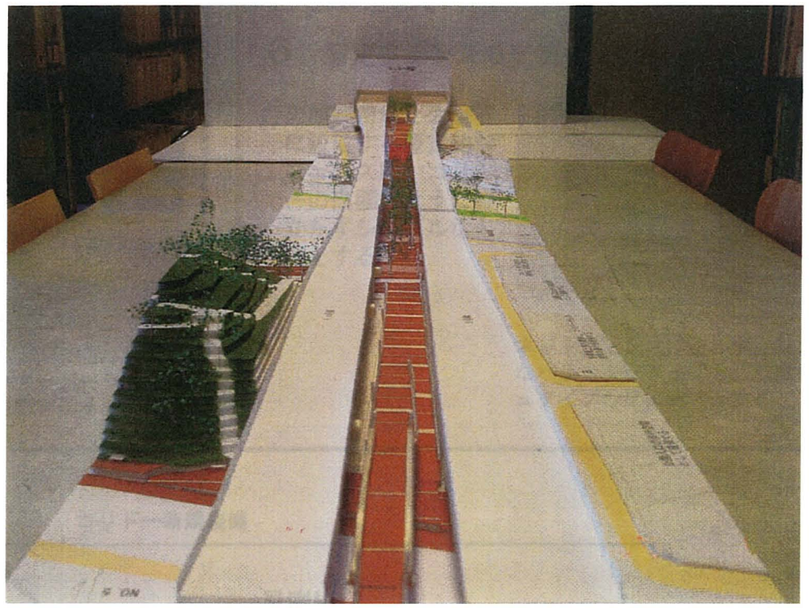
○センター南駅前の店舗等用地
前面道路（幅員８ｍ）の道路高に合わせて宅盤高を設定し、店舗等の土地活用を図る。



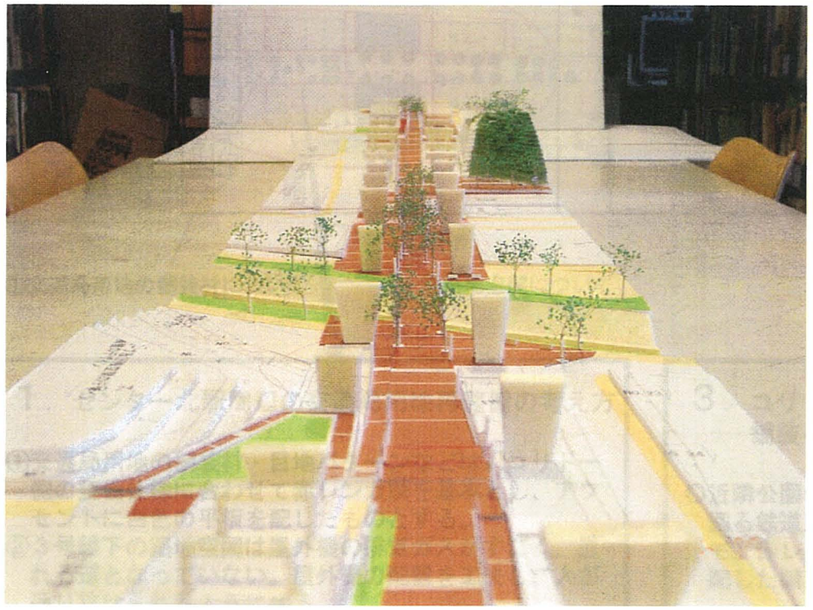
○センター南駅前のゲート空間
センター南駅側の入り口部分はコリドーの幅員も広いことから、コリドー入り口のゲート空間としてエゴノキ等による街路樹を植栽する。



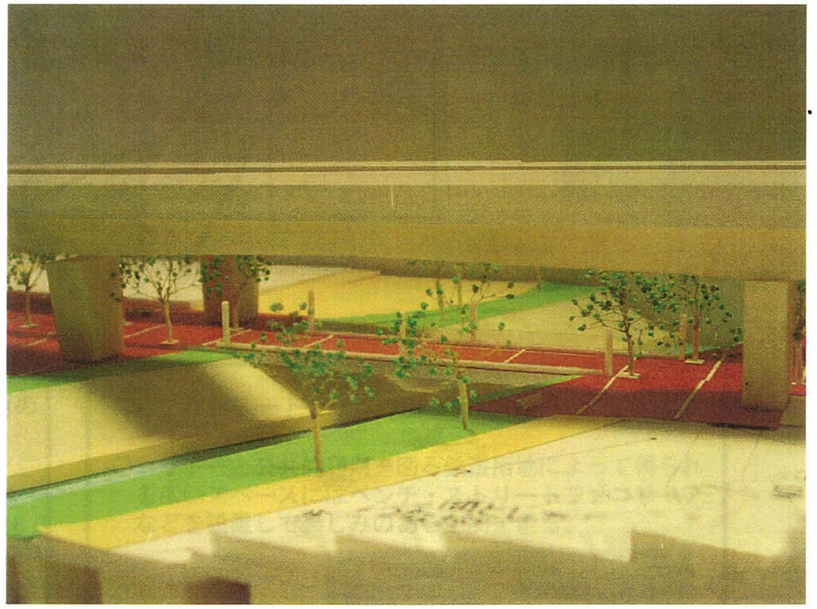
〇変電所周辺からセンター南駅を見る



〇変電所上空からセンター南駅を見る



〇センター南駅から近隣公園方面を見る



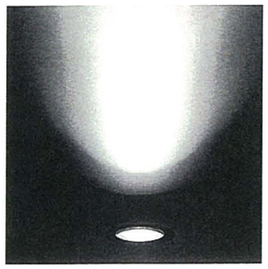
〇早渕川周辺

## ２．変電所の外壁デザイン等

①素材は中空セメント板、またはALCパネルなどを使用し、仕上げ面はコリドーの舗装や空間構成に適合した配色（アースカラー等）とする。また、コリドーから見た景観に配慮し、外壁の仕上げは鉄道高架のスラブ下までつくる。
②外壁の仕上げは側壁仕上げ面に合わせ、コリドーとの間には緩衝帯を設ける。

## ４．高架構造物のライトアップ

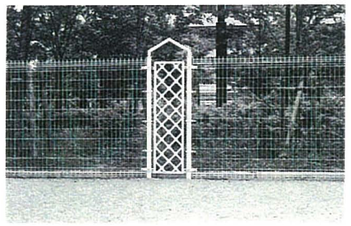
○人の往来が多そうな近隣公園～早渕川区間は、鉄道高架構造物が比較的高い位置にあり、橋脚をライトアップして明るく演出性の高い空間を創る。



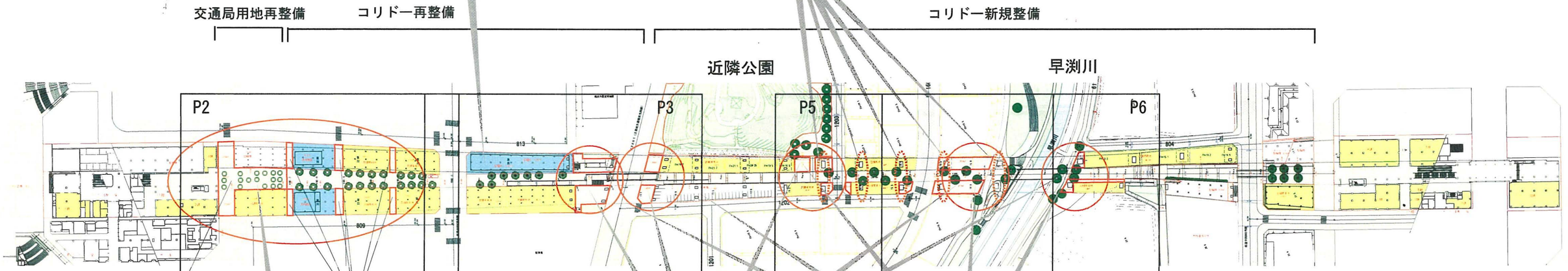
埋め込みアッパーライトで高架構造物をライトアップ

## ６．暫定フェンスのデザイン方針

○店舗等用地との境界に設置する暫定的なフェンスは、コリドーの高欄のように目立たずシンプルなものとする。



ネットフェンスは使わず、シンプルなバラスタータイプもしくはメッシュタイプのフェンスとする




## １．センター北駅周辺の交通局用地再整備の考え方

①交通局用地の舗装材・目地パターンなどは、コリドー側の整備仕様に合わせて赤レンガ調を基本とし、アクセントに白色の平板を配したものとする。
②３号線下の路地空間は屋外機の排気ガスがすごく、通れる道となっていない。屋外機の配置を工夫し、人が通り抜けられるようにする。

## ３．コリドーと一体感を持たせた公共的利用用地の舗装イメージ

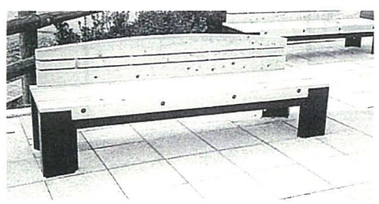
○近隣公園の入り口部分や早渕川周辺等の公共的利用を図る鉄道用地は隣接するコリドーの整備仕様に合わせて、赤レンガ調を基本としアクセントに白色の平板を配した舗装パターンとする。





## ５．ストリートファニチュアの設置

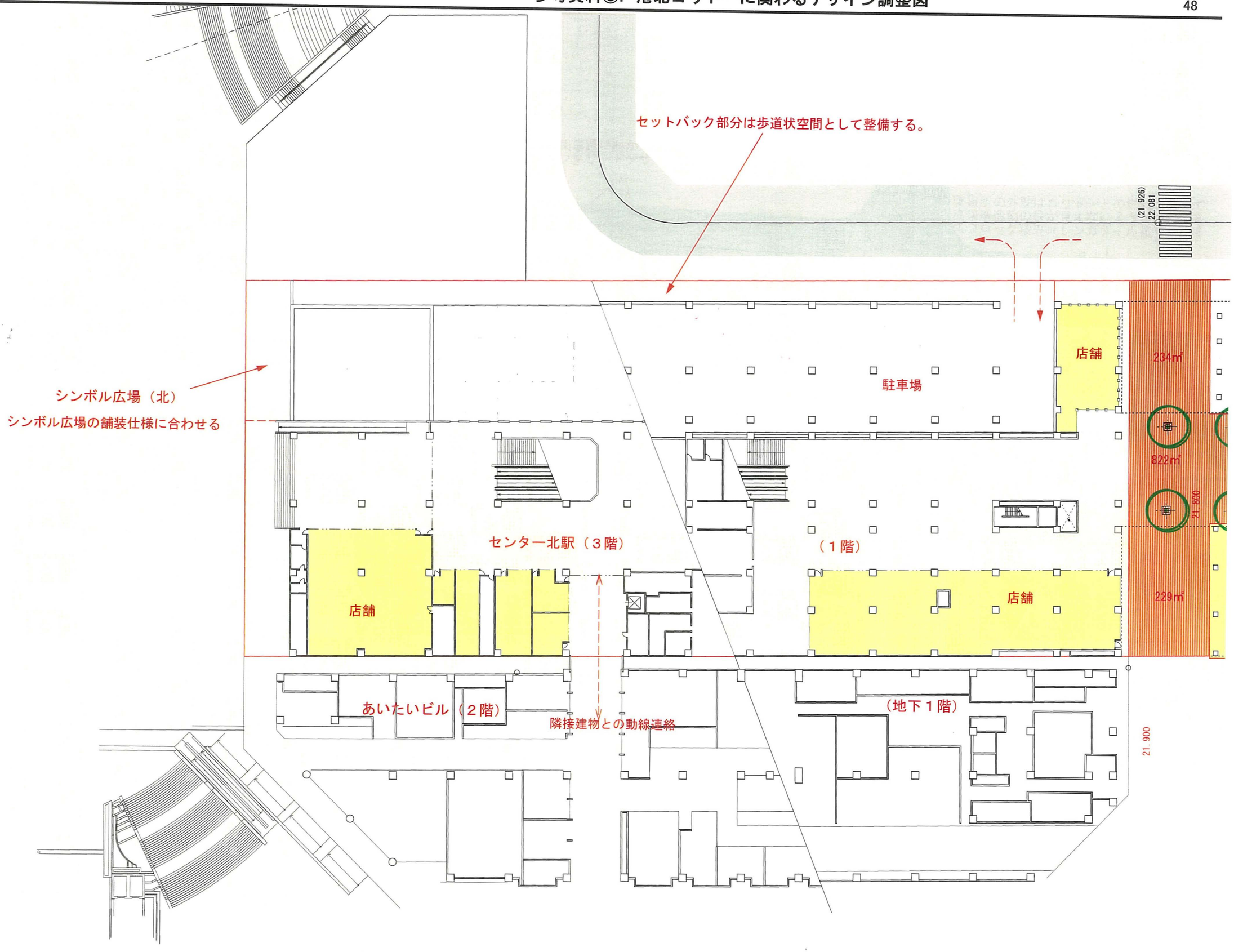
○コリドーと公共的利用を図る鉄道用地によって得られる広いスペースにはベンチ・ストリートファニチャアなどを設置して楽しみのある空間を創る。



主に商業施設用地の前や早渕川周辺など人の集まりやすい箇所に設置する

# 参考資料③. 港北コリドーに関わるデザイン調整図





# 参考資料③．港北コリドーに関わるデザイン調整図



鉄道用地界の囲障デザインは
ペデの賑わいに寄与するよう
に工夫し、統一する

屋外機置場の位置を工夫し、人が快適に
歩ける路地空間とする

歩行者専用道路に向かってオープンな造りの
ショップファサードデザインとする

コリドー歩行者が市道中川638号線をスムーズに
かつ安全に横断できるようハンプにするなど工夫する

※例えば、横断歩道の間の車道をマウンドアップ
し舗装材を歩専道に準じた仕上げとする
（横浜市内では日本大通り・大通り公園・
イセザキモール等で先例あり）

変電所の外壁はコリドーとの調和を考えて
高架構造物の柱が見えないよう外面にガラ
スブロック積みorレンガタイル貼りを施す

759㎡
駐輪場

612㎡
信号機室
22.00

663㎡
店舗等用地
22.00

605㎡
店舗等用地
21.00

変電所 1,205㎡
20.50

763㎡
店舗等用地

619㎡
信号機室
22.00

686㎡
店舗等用地
22.00

639㎡
店舗等用地
21.00

809

市道中川638号線

交通局用地の舗装材・ストリート
ファニチュアの整備もコリドーの
仕様に合わせる

屋外機の排気ガスで歩行者が
通行しにくくなっているので
改善したい

横断歩道の新設

# 参考資料③. 港北コリドーに関わるデザイン調整図



横浜市歴史博物館

K2201（主要地方道横浜生田線）

変電所とコリドーの間には潅木植栽を植える

敷地境界沿いの緑化

４号線整備に伴い、橋脚に当たるスロープの付け替えをおこなう

コリドーの橋脚位置を３号・４号線と揃える。

バスベイの新設

鉄道用地及び公園擁壁の管理用通路として鉄道用地及び公園用地の双方から用地を出しあいW＝3.0ｍを確保する。

歩道橋の橋脚位置を３号・４号線と揃える。

店舗等用地 1,159㎡ FH=21.7

FH=19.7

FH=21.1

FH=20.25

FH=19.5

FH=18.5

217㎡

144㎡

142㎡

駐車場 1,172㎡

店舗等用地 1,641㎡

4.0m

ベンチ・ストリートファニチュアの設置

将来、市民利用施設整備時には、通行できるようにする。

敷地境界沿いの緑化

駐車場

・スロープ下を地上歩行者や自転車がスムーズに通行できるよう、階段・スロープの位置を再検討し、図のようにする
・将来、歩道橋が市道中川638号線の上をまたげるように余地を計画しておく

歩道橋のデザインに配慮する
※３号・４号線高架構造と重なる高さとなるので橋体の厚さをできるだけ薄く見せるようにする

近隣公園とコリドーとが一体となるように統率のとれた舗装パターンする。

駐車場上部を開放し、コリドーからの視界の抜けを確保する

1202

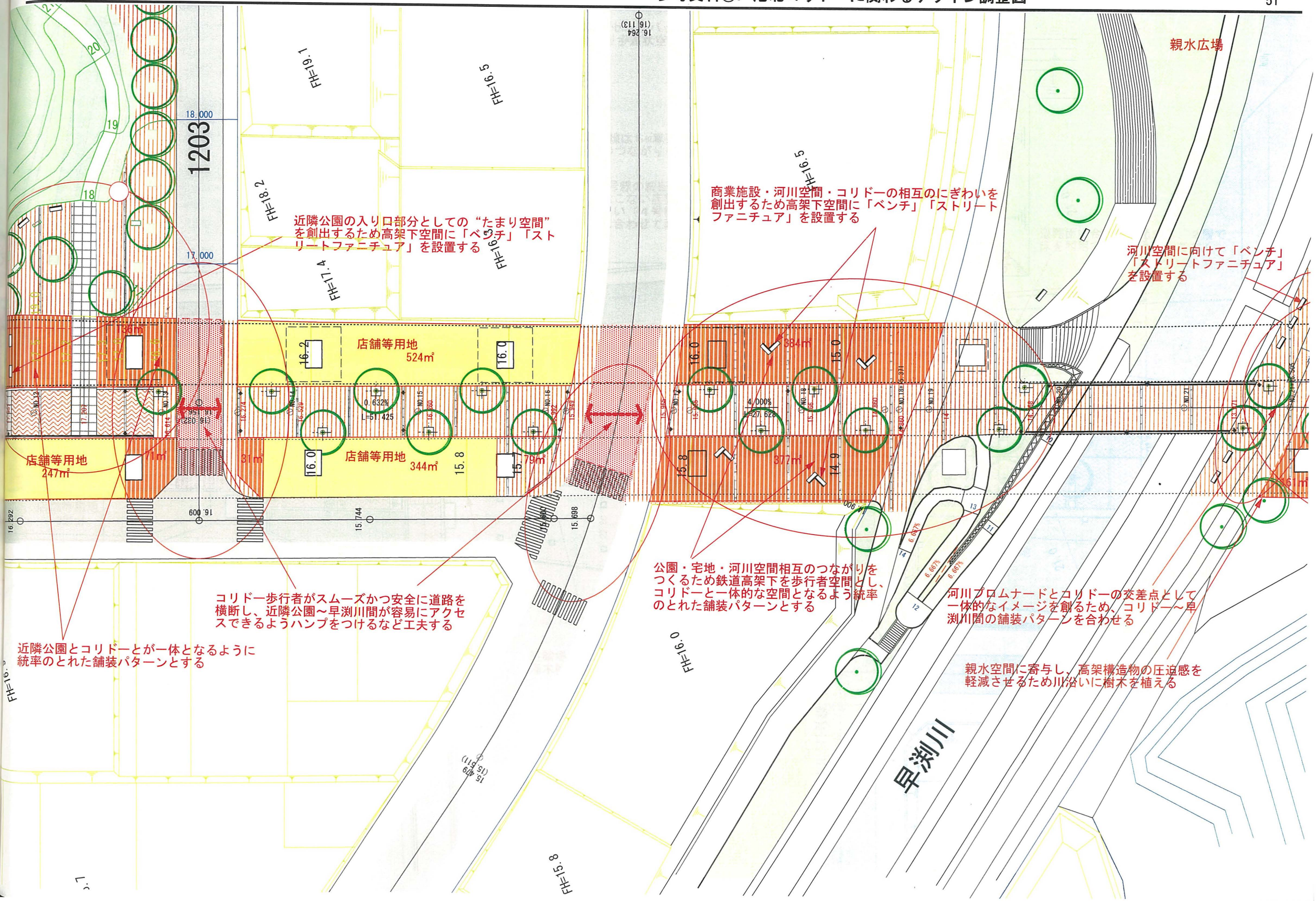
1201

FH=18.8

FH=17.9

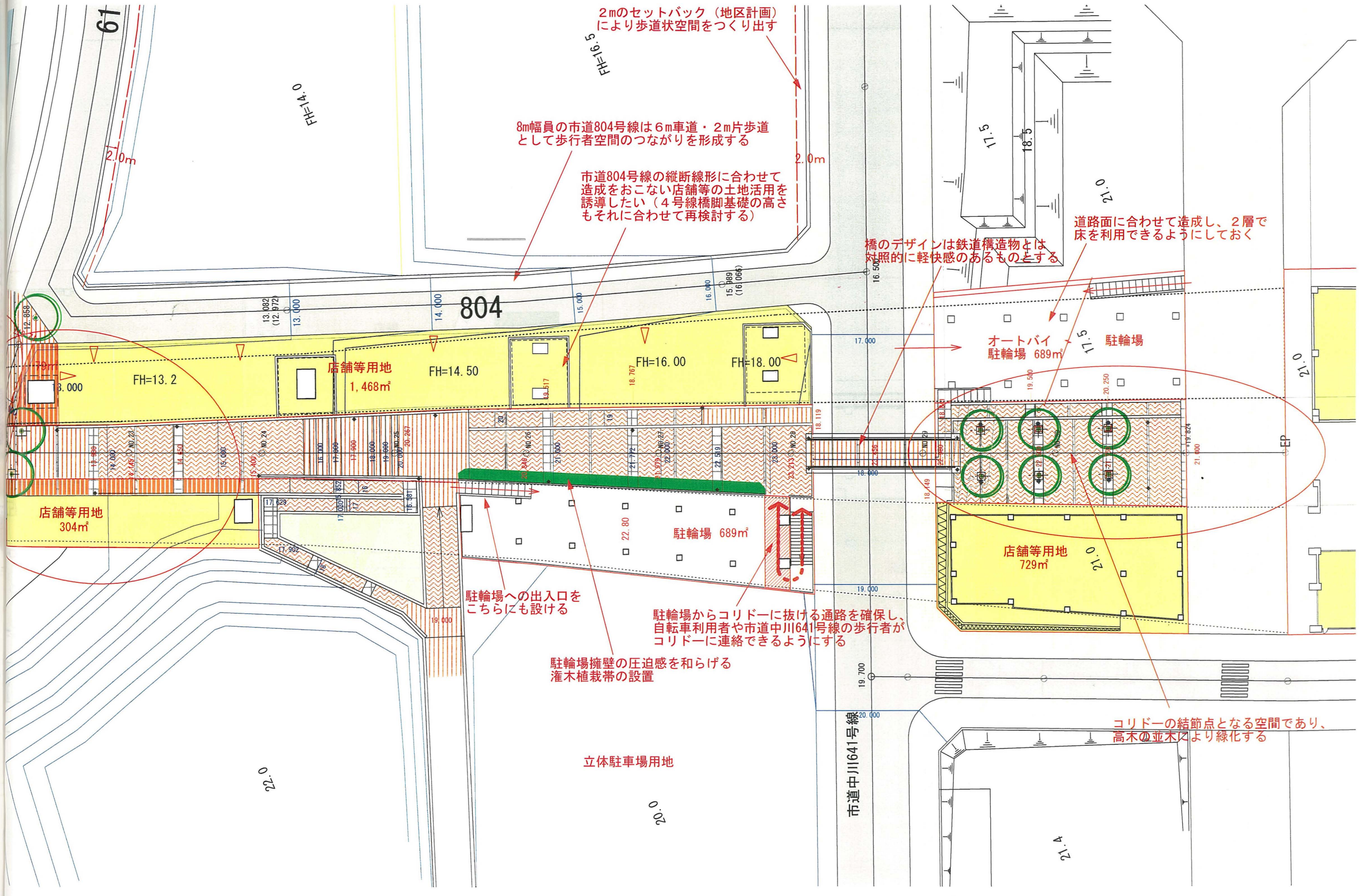
# 参考資料③．港北コリドーに関わるデザイン調整図

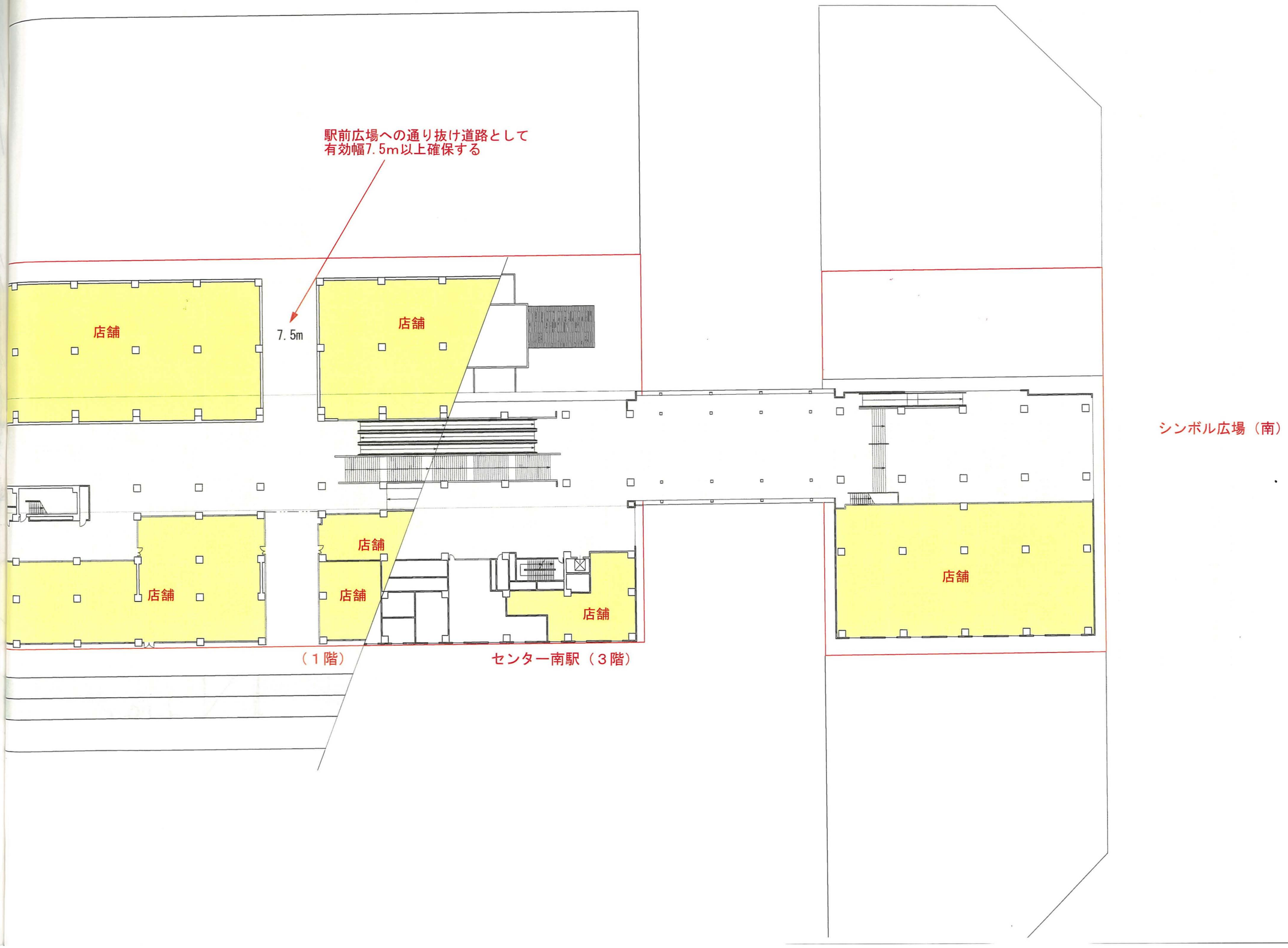


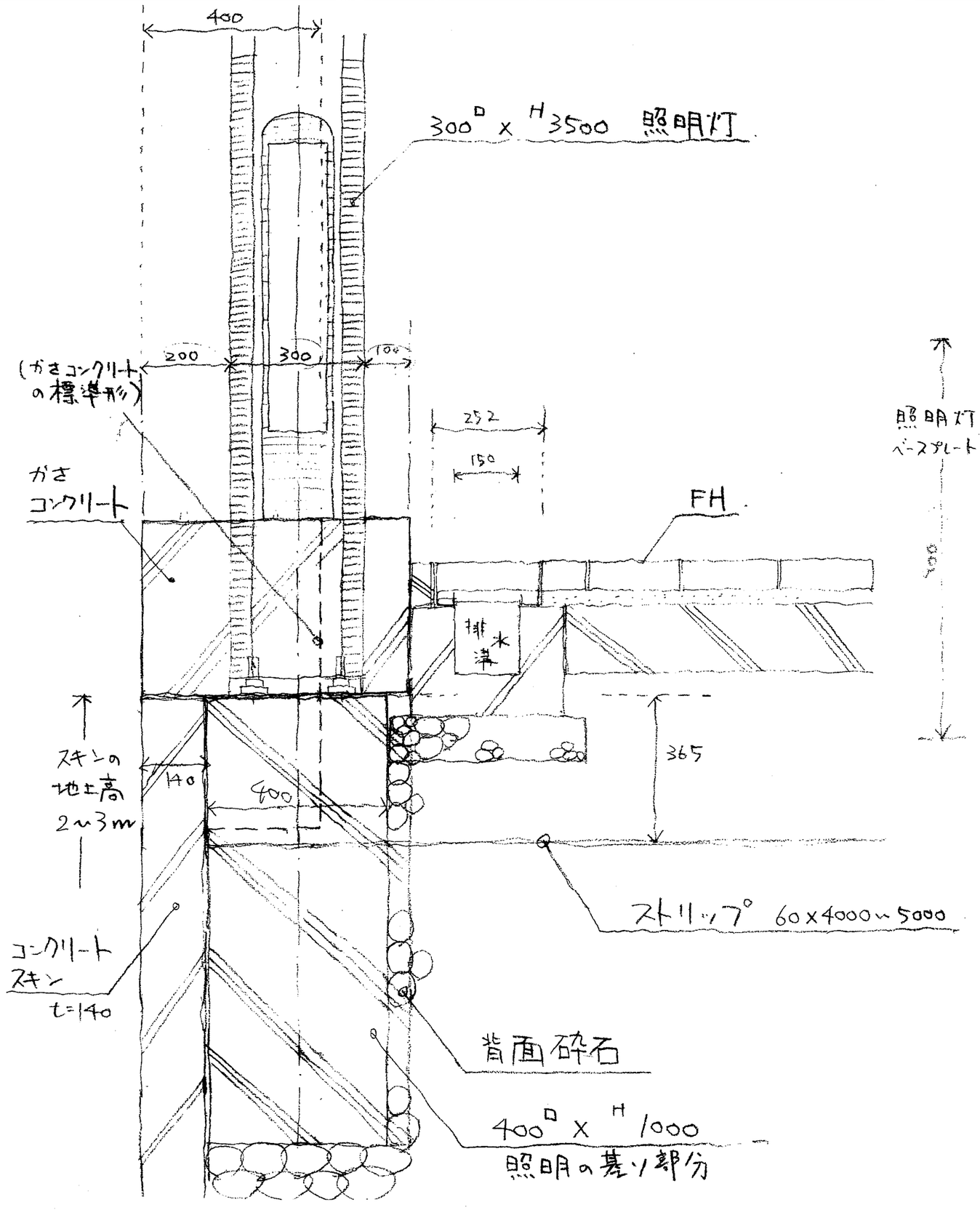


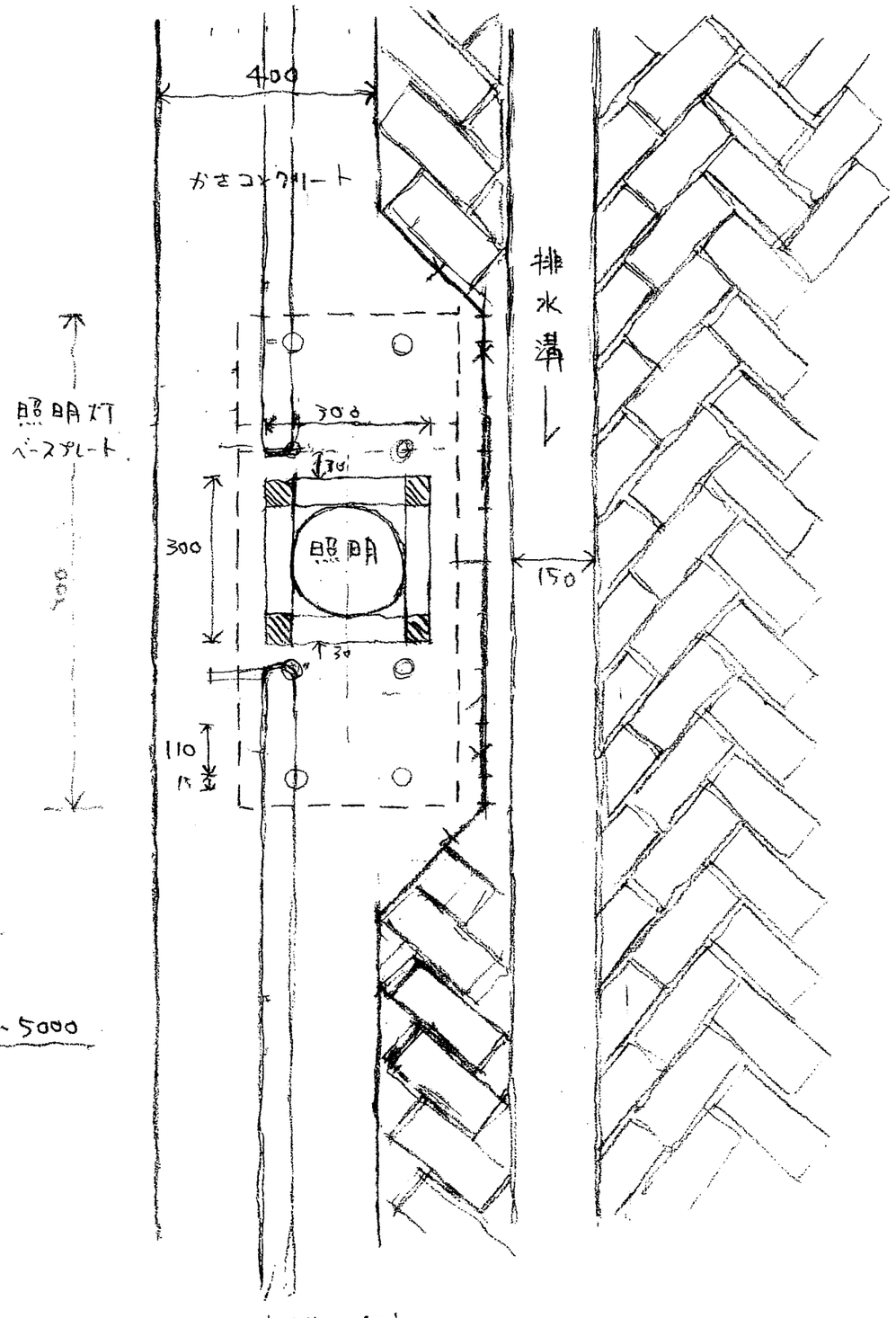
# 参考資料③．港北コリドーに関わるデザイン調整図





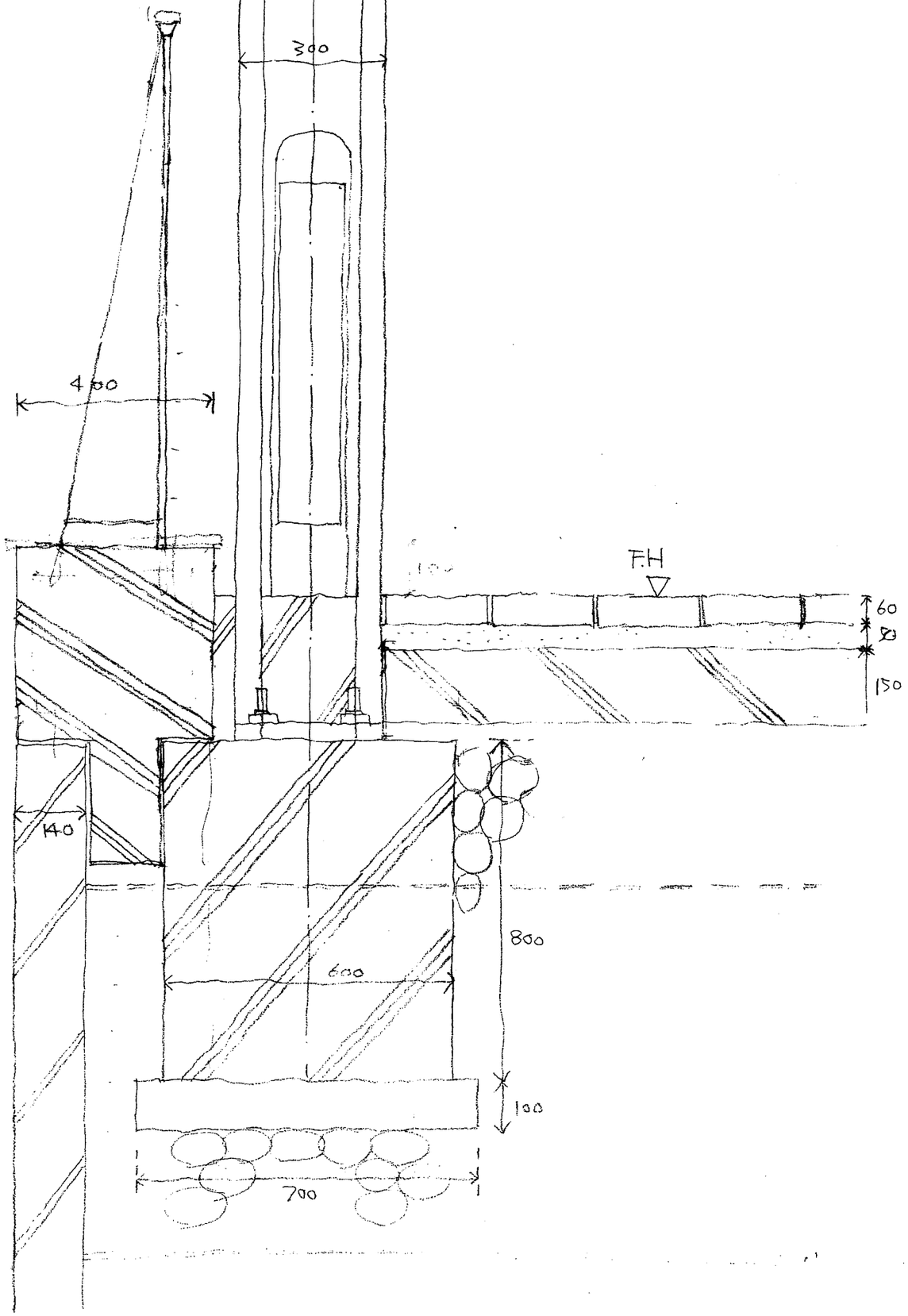

駅前広場への通り抜け道路として
有効幅7.5m以上確保する
7.5m
店舗
店舗
店舗
店舗
店舗
店舗
店舗
店舗
（１階）
センター南駅（３階）
シンボル広場（南）

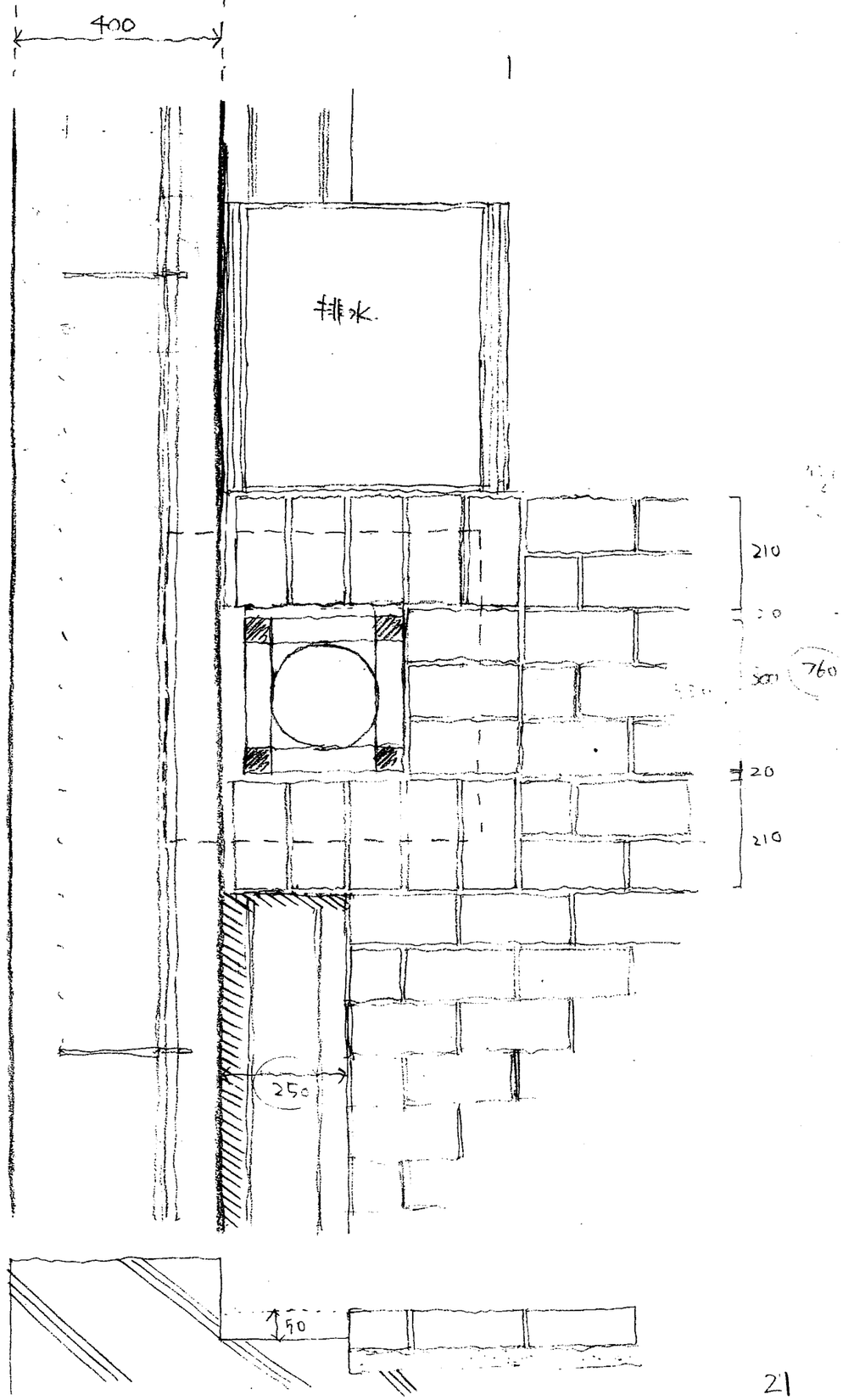

400
300D x H3500 照明灯
200
300
100
(がさコンクリートの標準ガン)
がさコンクリート
252
150
FH
排水溝
365
スキンの地上高 2～3m
140
400
ストリップ 60x4000～5000
コンクリートスキン t=140
背面砕石
400D x H1000
照明の基礎部分


照明灯ベースプレート
400
がさコンクリート
排水溝
300
150
照明
110
1本1本が独立

# 参考資料④．テールアルメ擁壁上における照明灯・手すりのイメージ





# 参考資料④．テールアルメ擁壁上における照明灯・手すりのイメージ



